

度量衡取締要項

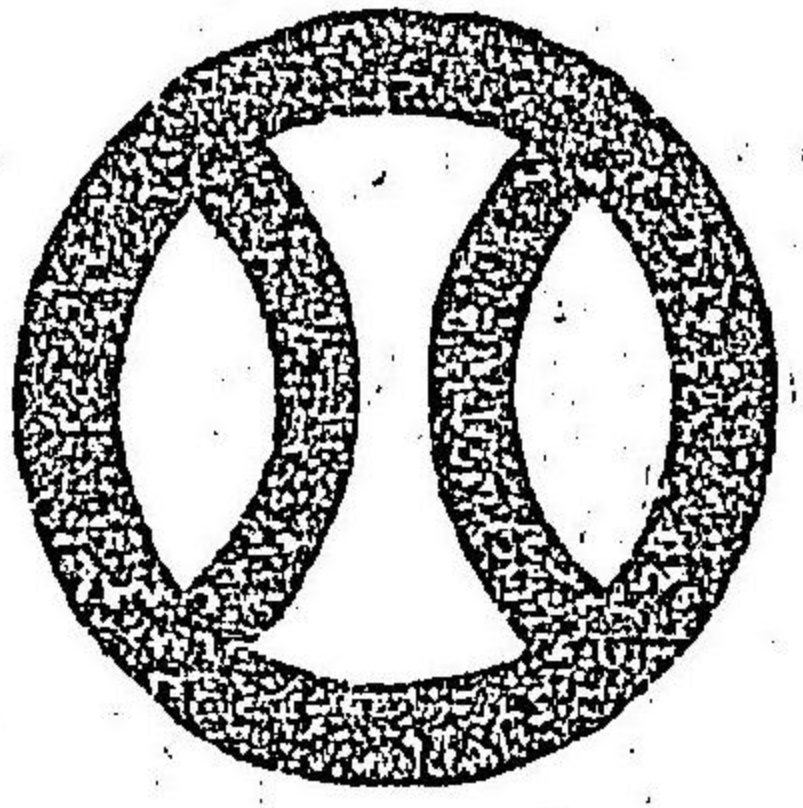
附使用者心得

發行所伊勢新聞社活版部

261

273

66  
835



株式會社

四日市銀行

津支店

津市大門町

電話長一四番

度量衡ノ名稱命位	.....	六
檢定	.....	一
檢定証印	.....	一
檢定消印	.....	三
公差	.....	四
變造	.....	六
構造	.....	七
度量衡器ノ取締	.....	七
第二種取締ニ於テ取締者ノ爲スヘキ取締事項	.....	七
(營業者ニ對スル取締)	.....	二
全上(使用者ニ對スル取締)	.....	二
全上(一般ニ對スル取締)	.....	八
罰則	.....	〇
全上(營業者ニ對スル罰則)	.....	三
全上(使用者ニ對スル罰則)	.....	三
全上(營業者ニ對スル罰則)	.....	四
全上(使用者ニ對スル罰則)	.....	二



全上(一般ニ對スル罰則)……………四五

度量衡器ノ使用ノ制限……………四九

取締ヲ行フヘキ職業……………五五

度量衡器購入ニ關スル注意事項……………五七

度量衡器使用並保存方法……………六〇

衡器ノ差狂ヲ容易ニ見ル方法……………六六

樹ノ寸法……………六九

度量衡器取締規則……………七二

度量衡器取締規則施行手續……………一〇〇

「ヤード、ポンド」法度量衡比較表……………一〇〇

諸願届書様式……………一一六

度量衡器圖面……………一一七

附録……………

正 誤

廿二頁及廿八頁

十一行目「檢定証印ナキ度量衡器(檢定証印ヲ除去セラレタルモノ云々)ヲ(檢定ヲ受ケス又ハ檢定ニ合格セザルモノ又ハ檢定証印ヲ除去セラレタルモノ云々)ニ

廿三頁及廿八頁

二行目「修覆ヲ爲シタル後其ノ檢定ヲ受ケサル度量衡器」ヲ「修覆ヲ爲シタル後其ノ檢定ヲ受ケス又ハ檢定ニ合格セサル度量衡器」ニ

三十五頁

九行目「(度量衡法第八條第五號)度量衡法第十三條」ヲ「(度量衡法第八條第五號)」ニ

「度量衡法第十三條」ニ

四十六頁

五行目「罰金又ハ科料ニ處セラルヘキ行爲ニ當該官吏」ヲ「罰金又ハ科料ニ處セラルヘキ行爲」ニ

「二、當該官吏」ト

世人貨幣ノ貴クシテ其ノ通用力ノ廣汎ナルニ驚ク者多シト雖  
モ未タ其貨幣ノ貨幣タル所以ヲ知ラス只徒ニ尊重スルノミ然  
ラハ何ヲ以テ貨幣ハ尊重スヘキヤ即チ「社會カ交換ノ媒介、  
價格ノ標準本位トナス上ニ於テ國家カ之ヲ強制シテ通用力ヲ  
有セシメ法貨トシテ公認シタルモノ」ナルヲ以テナリ  
國家カ公認シテ通用力ヲ與フルハ貨幣其物ハ何處ニ於ケルモ  
其值ハ一定タルコトヲ証スルナリ其一定ヲ証スルハ之レ何ニ  
依リテ得ラル、ヤ即チ本書ニ於テ説カントスル度量衡器ニ據  
ラスンバアラズ知ラスヤ今尙支那及緬甸、交趾支那等ノ諸國  
ニ於テハ秤量貨幣制度（政府ノ定メシ秤量ノ制度ニ從ヒ貨幣  
トシテ採用セラレタル金屬ヲ其交換ノ度毎ニ一々秤量器ニ懸  
ケ其價格ヲ秤量シテ授受スルニアリ）ノ行ハレツ、アルヲ然  
レトモ文明國タル本邦其他歐米各國ニ於テハ秤量貨幣制度ニ  
代フルニ計量貨幣制度ヲ採用シツ、アルモ之レ亦政府カ貨幣  
ヲ鑄造スルニ方リ其ノ金屬ノ純分及重量（衡）長短（度）大

小(量)ヲ一定シ唯其ノ貨幣ノ計數ニ依リテ授受セシムルニ  
外ナラスシテ其ノ重量長短大小ヲ定ムルニ秤量貨幣制度ヨリ  
尙一層度量衡器ノ力ヲ借ラサルヘカラサルニ至レルモノナリ  
是ヲ以テ之ヲ見レハ度量衡器ハ尊重スヘキ貨幣ノ本源ニシテ  
誠ニ百貨計量ノ本位、標準物タルヤ明カナリ、見ヨ地上ニ於  
テ人カテ以テ作成セラレタルモノニシテ此貴重ナル度量衡器  
ノ庇護ニヨラサルモノアリヤ軍艦ヲ作ラントスレハ先ツ其ノ  
長サ何呎主砲ノ圓徑何呎其彈丸ノ重量何々一日ニ幾噸ノ石炭  
ヲ消費スルヤ尙進ンテ卑近ナル例証ヲ舉ケレハ菓子商アリ豫  
定ノ菓子ヲ作ラントスレハ其ノ原料幾多ヲ要シ其ノ大サ何程  
等ヨリシテ吾人ノ住居スル家屋ヲ始メトシ日常使用スル膳碗  
茶碗ニ至ル迄一トシテ度量衡器ノ補助ヲ借ラスシテ作成セラ  
レタルモノナク其ノ使用範圍ノ廣汎ナル言語ニ絶スルニ堪ヘ  
タリ更ニ進ンテ精密ヲ要スル方面ニ付觀察スレハ人禽生命救  
護ノ点ヨリ興リタル醫學アリ或ハ人類奢侈欲望ヲ基点トシテ

立テル寶石商アリ前者ノ使用スル秤ニシテ差狂アリトセンカ  
克ク人命ヲ殫シ後者ニアリテハ壹厘ノ寶石克ク數百圓ヲ值ス  
ルモノアリ是レ即チ度量衡器ノ精密ヲ要スル所以ナリ然ルニ  
世人ハ金錢ヲ貴重シ度量衡器ヲ輕視ノ弊アリ之レ本末ヲ辨セ  
サルノ甚敷モノナリ之ヲ例セハ物品ヲ購入スルニ當リ其使用  
ニ供スル度量衡器ノ差狂有無ニ留意セス只管其值ノ廉ナラン  
コトヲ希フ此度量衡器ニシテ幾分ノ差狂アレハ其值少シ安價  
タリトシテ益ヲ得タリト云フヘクモアラサルヘシ是ニ於テカ  
奸商人等ハ之ヲ利用シ巧ニ機ニ投シ度量衡器ヲ不正ニ使用シ  
謂所「濡手に粟の攫み取り」チナシ以テ私利ヲ貪ル購入者恬ト  
シテ之ヲ顧ミス寧ロ彼等ノ巧言令色ニ絆サレ却リテ之ヲ喜フ  
者アリ誠ニ遺憾ノ至リナリ今卑近ナル事例ヲ左ニ記スレハ  
一、繭糸商茶商薪炭商肥料商等ノ不正手段ヲ以テ相手方ヲ籠  
絡スルコト

一、古物商カ反古新聞等ヲ高價ニ見積リ其目方ヲ瞞着スルニ

一、米穀商カ枴ノ内面ニ糟糠ヲ附着セシメ其ノ量ヲ減スルコ

ト  
其他枚舉ニ違アラス

如斯不正ナル行爲ヲ膺懲スルト共ニ一面正行爲ヲ保護スルハ  
國家ノ義務ニシテ若シ之ナクンハ社會ノ秩序ハ紊亂シ又救フ  
ヘカラサルニ至ル之ニ於テ政府ハ法令ヲ制定シ極力取締ヲ行  
ヒツ、アリ今參考ノ爲度量衡ニ關スル諸法令ヲ左ニ掲クレハ

- 一、度量衡法
- 二、明治四十二年三月八日公布法律第四號  
度量衡法施行令
- 三、全四十二年六月廿五日公布勅令第六十九號  
度量衡法施行細則
- 四、全四十二年六月廿六日公布農商務省令第二十八號  
本縣度量衡取締規則

全四十三年一月十五日發布本縣令第六號

五、全施行手續

全四十三年一月十五日發布本縣訓令第一號

六、營業免許及檢定ニ關スル手数料徴收ノ件

全四十二年七月一日公布勅令第七十九號

七、免許狀ニ關スル手数料

全四十二年七月一日發布農商務省令第三十一號

八、度量衡器及計量器比較檢査規則

全四十二年四月十三日發布農商務省令第五號

九、甲種檢定請求者及度量衡器又ハ計量器ノ比較檢査依頼者  
心得

全四十二年七月廿二日農商務省告示第三百三十二號

一〇、一斗枴使用ニ關スル件

全十九年三月廿四日發布農商務省令第二號

一一、免許料(出願手数料)及檢定料(手数料)トシテ納ムル收

五

入印紙消印ノ件

- 全三十年九月六日發布農商務省令第十四號
- 一、間接國稅犯則者處分法
- 全三十三年三月十七日公布法律第六十七號
- 一三、全施行規則
- 全三十三年三月廿三日公布勅令第五十二號
- 一四、政府ニ納ムヘキ保証金其ノ他ノ擔保ニ充用スル國債ノ價格ニ關スル件
- 全四十一年十一月廿八日公布勅令第二百八十七號

度量衡ノ名稱命位

度量衡ノ名稱命位トハ基本及準基本タル名稱單位ノ倍單位又ハ分單位ヲ云フ  
 吾國ニ於ケル度量衡ノ名稱命位ハ度量衡法第三條第四條及度量衡法施行令第一條ニ規定サル則チ左ノ如シ（括弧内ノ文字ハ名稱ノ略字）

度	量	衡
毛尺ノ萬分ノ一	勺升ノ百分ノ一	毛貫ノ百萬分ノ一
厘尺ノ千分ノ一	合升ノ十分ノ一	厘貫ノ十萬分ノ一
分尺ノ百分ノ一	六萬四千八百二十七立方分	分貫ノ一萬分ノ一
寸尺ノ十分ノ一	斗十升	分貫ノ千分ノ一
尺	石百升	
丈十尺		
間六尺		
町三百六十尺		
里一萬二千九百六十尺		斤百六十匁
地積		
勺歩ノ百分ノ一		
合歩ノ十分ノ一		
步又ハ坪三十六平方尺		
畝三十步		
段三百步		



町三千步

八

「メートル」法		「ヤードポンド」法	
度	量	度	量
「ミリメートル」 (耗又ハMM) 「メートル」ノ千分ノ一 「センチメートル」 (糲又ハCM) 「メートル」ノ百分ノ一 「デシメートル」 (粉又ハDM) 「メートル」ノ十分ノ一 「メートル」 (米又ハM) 尺ノ十分ノ三十三 「デカメートル」 十「メートル」 「ヘクトメートル」 百「メートル」 「キロメートル」 (秆又ハKM) 千「メートル」 地積 「センチアール」 「アール」ノ百分ノ一 「アール」 歩ノ四分百二十一 「ヘクタール」 百「アール」 鯨尺 鯨尺 分 鯨尺尺ノ百分ノ一 鯨尺 寸 鯨尺尺ノ十分ノ一 鯨尺 尺 尺ノ四分ノ五 鯨尺 丈 十鯨尺尺	「センチリットル」 (漚又ハCL) 「リットル」ノ百分 「デシリットル」 (粉又ハDL) 「リットル」ノ十分 「リットル」 (立又ハL) 升ノ二千四百〇二ス 千三百三十一 「デカリットル」 十「リットル」 「ヘクトリットル」 百「リットル」 (十分ノ一)「センチリットル」ノ畧字ヲCCトス	「インチ」 (吋又ハin) 「ヤード」ノ三十六分ノ一 「フット」 (呎又ハft) 「ヤード」ノ三分ノ一 「ヤード」 (碼又ハya) 尺ノ一萬二千五百分ノ 三萬七千七百十九 「チェーン」 (鎖) 二十二「ヤード」 「マイル」 (哩) 千七百六十「ヤード」	「ガロン」 升ノ五萬分ノ十萬四千九百二十三



# 檢 定

度量衡器ノ檢定トハ度量衡器カ法律ノ規定ニ適合スルヤ否ヤヲ審査シ其適合スルモノニ對シテハ一定ノ形式ニ依リ証明ヲ與フル行政處分ナリ

## 檢定証印

檢定ニ合格シタル度量衡器ニハ法律第七條第二項ニ依リ檢定証印ヲ附シ之ヲ証明ス

檢定証印ノ種類及雛形ハ左ノ如シ

甲種檢定（農商務大臣カ精密ナル器物ニ對シ行フ檢査）ニ

合格シタル証印

打込印及押印  
大一分二厘平方  
中六厘平方  
小四厘平方



摺附印  
大四分平方  
中二分平方  
小一分平方

乙種檢定（地方長官ノ普通吾人ノ使用スル器物ニ對シ行フ  
 檢査）ニ合格シタル証印



打込印及摺附印  
 大一分二厘平方  
 小六厘平方  
 烙印及摺附印  
 大四分平方  
 小二分平方

現行法ニ依ル檢定証印ハ右列記ノ通ナルモ舊法ニ依ル檢定証  
 印ニシテ今尙其効力ヲ有スルモノ及檢定証印ノ代用トシテ効  
 力ヲ有スル檢定証書ノ種類及雛形ヲ左ニ示セハ

改

打込印  
 大二分平方  
 中一分二厘平方  
 小六厘平方  
 烙印  
 大四分平方  
 小二分平方  
 押印

製作人	檢定之證
-----	------

檢定證書

年號	番號	物質	形狀	種類	何府縣	明治 年 月 度量衡檢定所印
----	----	----	----	----	-----	----------------

大小  
 二樣アリ

檢定消印

施行令第十一條ニ檢定証印アル度量衡器ニシテ檢定ニ合格セ

サルトキハ其ノ檢定証印ヲ除去シ又ハ之ニ消印ヲ附ストアリ  
今此消印ノ種類及雛形ヲ左ニ記スレハ

一四

打込印及烙印  
大長徑 二分 短徑 一分三厘  
小長徑 六厘 短徑 四厘

### 検査済印

施行令第十五條ニ第一種取締ニ於テハ度量衡法第八條各號ニ  
該當セサル度量衡器ニ検査済印ヲ附ストアリ今此ノ検査済印  
ノ種類及雛形ヲ左ニ記スレハ



輪廓内ノ數字ハ  
毎年其ノ年ノ下  
位ノ數字ヲ用フ

大 徑一分五厘  
中 徑一分  
小 徑五厘

### 公差

度量衡器ノ公差トハ文字ノ通り公ノ差則チ其表ハス値ニ多少  
ノ増減アルモ法律上公認スル一定ノ差ヲ云フ凡ソ度量衡器ノ

材料ハ價ノ不廉及粗雜ナル使用上ノ便宜ニ適切ナラサル關係  
等ヨリ變化ノ極メテ尠キ物質ノミヲ撰擇セシムルコトハ至難  
ニシテ況ンヤ種多ノ物質ヲ用キ多岐ノ方法ニ依ルヲ以テ寸毫  
ノ差ナキモノヲ求ムルカ如キハ實ニ不可能ノ事ニ屬ス世人ノ  
極メテ平等視スル貨幣ニアリテモ亦然リ法律ヲ以テ純分ノ公  
差金貨千分ノ一銀貨一千分ノ三ヲ認ムルニ非ラスヤ貨幣ノ如  
ク貴金屬ヲ用ヒ國家ノ事業トシテ作成スルモノスラ尙公差ヲ  
認ムル以上ハ變化ノ割合ニ多キ木竹等ヲ用ヒ一個人トシテ製  
作シ其使用モ雜駁ナルヲ以テ一定ノ器差ヲ公認スルハ當然ノ  
結果ニシテ敢テ疑フヘキニアラス

### 檢定ニ於ケル公差及取締ニ於ケル公差

公差ノ規定ニモ檢定當時ニ於ケル公差ト取締ニ於ケル公差ト  
ノ二種アリ則チ

檢定ニ於ケル公差ハ施行令第三表及第四表ヲ以テ規定セラ  
レ

取締ニ於ケル公差ハ施行令第十六條ニ規定セラルル則チ左ノ  
如シ

度量衡法第八條第四號ノ公差ハ第三表又ハ第四表ノ公差  
ノ二分ノ三トス但シ陶器樹、磁器樹、珐瑯塗リ樹ニ在リ  
テハ第三表ノ公差ノ四分ノ五、木製樹ノ雜用ノモノ及自  
働秤ニ在リテハ第三表又ハ第四表ノ公差ノ二倍瓦斯「メ  
ートル」及水量「メートル」ニ在リテハ其ノ表ハ分量ノ  
百分ノ三トス

### 變 造

變造トハ定規ヲ増減スル目的ヲ以テ原形ニ施コシ及定規ノ増  
減ニ關係スル所ナキモ原形ヲ變更シ又ハ原形ニ種々ノ手工ヲ  
施スヲ云フナリ例ハ

中間ニ節ヲ有スル二尺ノ度器アリ其節ノ左方ノ端ニ於ケル  
角カ最小目盛ノ一度目以上磨滅シタルヲ以テ規定違反ノ

器物ニテ取扱ハル、ヲ悞レ其中間ノ節ヲ利用シテ之ヲ二分  
シテ使用スルカ如キ或ハ樹ノ底尙一ツノ底ヲ置キ（所謂上  
ゲ底）或ハ秤ニ附屬スル錘ヲ増減スルカ如キ皆之レナリ

### 構 造

法第八條ニ命令ノ定ムル構造ヲ具備セサルニ至リタルモノ云  
々トアリ其構造ヲ具備セサルニ至リタルモノトハ則チ左ニ列  
記スルモノニシテ之カ一ニ該當スルモノヲ使用スルハ罰セ  
ラレ検査ニ於テハ不合格トナルモノナリ

- 一 度量衡器ニシテ其ノ要部カ毀損磨滅又ハ腐蝕シタルモノ
- 二 度量衡器ニシテ檢定証印、記號其ノ他表記ノ文字又ハ目  
盛ノ識別シ難キニ至リタルモノ
- 三 度器ニシテ扞撓又ハ縊レアルモノ
- 四 端目盛ノ度器ニシテ其ノ端ニ於ケル角カ最小目盛ノ一度  
目以上磨滅シタルモノ其ノ端目盛ニ非サルモノニ在リテ

ハ最端ノ目盛ヲ超ユルニ至ル迄磨滅シタルモノ  
五材料ヲ剝合セ又ハ繼合セテ作りタル度器及連接部ヲ分離  
シ得サル構造ノ疊尺ニシテ其ノ目盛アル部分ニ於ケル繼  
目ニ間隙ヲ生シ且材料又ハ連接部カ分離シ易キニ至リタ  
ルモノ

六麻製度器ニシテ目盛アル部分カ切斷シ易キニ至リタルモノ

七度器ニシテ其ノ目盛アル部分カ缺損シ又ハ甚シク割レタ  
ルモノ

八曲リ尺又ハ徑ヲ度ルニ用ウル直尺ニシテ其ノ角度ノ著シ  
ク差ヲ生スルニ至リタルモノ又ハ副枝ノ緩ミタルモノ

九樹ニシテ甚シク變形シ又ハ其ノ口縁ニ緊著シタル材料又  
ハ鉄帶ニ緩ミヲ生シ又ハ其ノ口縁ノ缺損(全量ノ目盛ア  
ルモノニシテ其ノ口縁ノ缺損カ全量ノ目盛ニ達セサルモ  
ノヲ除ク)シタルモノ若ハ金屬製樹ノ繼目ノ離レタルモノ

十樹ニシテ其ノ口縁又ハ内面カ著シク磨滅シ若ハ反リヲ生  
シ又ハ其ノ内面ニ於ケル塗料ノ剝落シタルモノ

十一液類ノ計量ニ使用スル樹ニシテ漏水スルニ至リタルモノ  
又ハ材料ヲ二重トシタル金屬製樹ニシテ其ノ内面漏水  
スルニ至リタルモノ

十二斗概ニシテ反リ又ハ著シク凹凸ヲ生シタルモノ

十三化學用量器ニシテ重要ナル缺損アルモノ

十四秤ニシテ桿カ撓シタルモノ

十五秤ニシテ其ノ刃、刃受、承軸、刃蓋又ハ桿ニ於ケル金  
具カ離脱シ又ハ刃及桿ニ於ケル金具カ移動シ易キニ至リ  
タルモノ

十六秤ニシテ調子玉ノ遊動シ易キニ至リタルモノ又ハ其ノ  
用ヲ爲サ、ルニ至リタルモノ

十七調子玉ナキ秤ニシテ其ノ空懸ケ又ハ錘ヲ直点ニ懸ケタ



ル場合ニ於テ之ニ度量衡法施行令第十六條ニ規定スル秤  
量ノ公差ノ四分ノ一以内ノ重量ヲ加減スルモ其ノ睨ミカ  
一致セス若ハ其ノ桿カ水平トナラス又ハ其ノ指針カ直点  
若ハ標点ヲ指サ、ルニ至リタルモノ  
十八水平ヲ定ムル裝置アル秤ニシテ其ノ裝置カ水平ヲ定ム  
ルノ用ヲ爲サ、ルニ至リタルモノ  
十九秤ニシテ度量衡法施行令第十六條ニ規定スル公差ニ相  
當スル重量ヲ感セサルニ至リタルモノ

### 度量衡器ノ取締

度量衡器ノ取締ハ度量衡法施行令第十四條ニ於テ「度量衡器  
ノ取締ハ地方長官之ヲ行フ」トアリ其第二項ニ「地方長官ハ市  
町村長又ハ之ニ準スヘキモノヲシテ取締ノ執行ヲ補助セシメ  
又ハ第二種取締ヲ執行セシムルコトヲ得」ト規定アルヲ以テ  
本縣令及訓令ハ右ノ規定ヲ引用シテ作成セラレタルモノナリ

則チ度量衡取締規則第二條ニ度量衡器第一種取締（第一種取  
締トハ度量衡法施行令第十三條ニ依リ業務上取引若ハ証明ノ  
爲使用シ又ハ使用ニ供スル爲所持スル度量衡器ニ付行フ検査  
ヲ云フ）ハ度量衡器取締官吏ヲシテ之ヲ執行セシメ第二種取  
締（第一種以外ノ取締ニシテ基準器ニ比較シテ調査セス廣ク  
一般ニ亘リテ行フ取締ヲ云フ）ハ度量衡器取締官吏、警察官  
吏又ハ市町村長ヲシテ之ヲ執行セシム又度量衡取締施行手續  
第二條第六條ニ警察官、市町村長ヲシテ第一種取締執行ノ場  
合ニ補助ヲナスヘシト規定シアリ其趣旨ハ元來取締ヲ周到  
ニシテ完全ナラシメントスレハ監督者ハ常ニ營業者及使用者  
ノ行爲ヲ監視シ其等ノ事情ニ精通セル者タラザルヘカラス然  
ラズンバ保護ノ周到ナルコトヲ得サルハ勿論或ハ正直ノモノ  
モ罪ニ陥リ却テ狡猾ナルモノハ巧ミニ法網ヲ免ル、ノ奇狀ヲ  
呈スルニ至ラン依テ市町村ニ於ケル營業者及使用者ヲ直接監  
視セラル、警察官及ビ國家行政ノ補助機關タル市町村長ヲシ

テ之ガ補助又ハ取締ヲ執行セシムレバ無論其ノ取締ヲ周到ナ  
ラシメ且又取締進行上ノ便宜ヲ得ルコト尠カラサルトニ由ル  
ナルヘシ

今左ニ第二種取締ニ於テ取締者ノ爲スヘキ取締事項ヲ營業  
者、使用者及一般ニ對スル三段ニ分チテ記載セン

度量衡取締規則第一條本則ニ於テ營業者ト稱スルハ度量衡器ノ製作、修  
覆、販賣ノ免許ヲ受ケタル者ヲ謂ヒ使用者ト稱スルハ度量衡器ヲ取引者  
ハ證明ノ爲使用シ又ハ使用ニ供スル爲所持スル者ヲ謂フ

第二種取締ニ於テ取締者ノ爲スヘ  
キ取締事項營業者ニ對スル取締

一 檢定証印ナキ度量衡器（檢定証印ヲ除去セラレタルモノ又  
ハ其ノ証印ノ代用トシテ證書ヲ附セラレタルモノニシテ  
證書ヲ紛失シタルモノ）「度量衡法施行令第二十一條」及  
度量衡法施行令第二十二條ニ該當スルモノヲ含ム）ヲ販  
賣シ又ハ販賣ノ爲所持スル者ナキヤ否ヤ（度量衡法第八

條第一號）

二 修覆ヲ爲シタル後其ノ檢定ヲ受ケサル度量衡器ヲ販賣シ  
若ハ販賣ノ爲所持スル者ナキヤ否ヤ（度量衡法第八條第  
二號）

三 變造シタル度量衡器ヲ販賣シ若ハ販賣ノ爲所持スル者ナ  
キヤ否ヤ（度量衡法第八條第三號）

四 「度量衡法施行令」第十六條ニ定メタル公差以上ノ差狂ヲ  
生シタル度量衡器ヲ販賣シ若ハ販賣ノ爲所持スル者ナキ  
ヤ否ヤ（度量衡法第八條第四號）

五 「度量衡法施行細則」第四十九條ノ各號ノ一ニ該當スル度  
量衡器ヲ販賣シ若ハ販賣ノ爲所持スル者ナキヤ否ヤ（度  
量衡法第八條第五號）

六 免許營業者ニシテ營業ノ停止中其ノ營業ヲ爲ス者ナキヤ  
否ヤ（度量衡法第十四條第二號）

七 「度量衡法施行令」第三條第一項各號ノ一ニ該當スル法定

代理人ニ依リ業務ヲ營ム者ナキヤ否ヤ（度量衡法施行令第三條第四項）

八 製作者又ハ修覆者ニシテ度量衡法施行令第十二條ニ依リ指定又ハ變更ヲ命セラレタル製作修覆ノ方法又ハ材料ニ依ラスシテ製作、修覆ヲ爲ス者ナキヤ否ヤ

九 認可ヲ受ケスシテ營業所若ハ工場ノ位置ヲ變更シ又ハ工場ヲ新設シタル者ナキヤ否ヤ（度量衡法施行細則第十條第一項）

十 製作者、修覆者ニシテ工場ノ廢止ヲ届出サル者ナキヤ否ヤ（度量衡法施行細則第十條第二項）

十一 營業者ノ相續人ニシテ其ノ營業ヲ承繼シタルモノ免許狀ノ書換ヲ怠リツ、アル者ナキヤ否ヤ（度量衡法施行細則第十一條）

十二 免許狀ノ返納ヲ怠リツ、アル者ナキヤ否ヤ（度量衡法施行細則第十二條及第十五條）

十三 免許狀ノ再下付又ハ更正ノ出願ヲ怠リツ、アル者ナキヤ否ヤ（度量衡法施行細則第十三條）

十四 法定代理人ノ變更又ハ其ノ氏名ノ變更ノ届出ヲ怠リツ、アル者ナキヤ否ヤ（度量衡法施行細則第十四條）

十五 免許營業ヲ廢停シタル場合ニ認可ヲ受ケスシテ殘存器物ノ處分ヲ爲シタル者ナキヤ否ヤ（度量衡法施行細則第十六條）

十六 許可ヲ受ケスシテ工場外ニ於テ度量衡器ノ製作修覆ヲ爲シ又ハ營業所外ニ於テ販賣ヲ爲ス者ナキヤ否ヤ（度量衡法施行細則第十八條及第十九條）

十七 「度量衡法施行令」第九條但書ニ依リ許可ヲ受ケタル度量衡器ヲ輸出移出又ハ販賣ノ届出ヲ爲サスシテ輸出移出又ハ販賣シタル者ナキヤ否ヤ（度量衡法施行細則第二十条）

十八 販賣者ニシテ桿秤ノ緒紐ノ金屬ニ係ラサルモノ、修覆

業ヲ營ム届出ヲ爲サス又ハ其ノ届出ヲナスモ秤架及規定ノ分銅ヲ備付ケス若ハ處分命令ニ違反シテ分銅ヲ使用シ其ノ業ヲ營ム者ナキヤ否ヤ（度量衡法施行細則第二十一條及第二十二條）

十九 營業者ニシテ「度量衡法施行細則」第四十九條ノ構造ニ適合セス若ハ「度量衡法施行令」第十六條ニ定メタル公差ヲ超エル桿秤ニ付金屬ニ係ラサルモノ、緒紐ノ修覆ヲ爲シタル者又ハ其ノ修覆ヲ爲サ、リシコトヲ届出テサル者ナキヤ否ヤ（度量衡法施行細則第二十三條）

二十 營業者ニシテ其ノ營業ノ種別及氏名ヲ明示シタル標札ヲ店頭ニ掲ケサル者ナキヤ否ヤ（本縣度量衡取締規則第三條）

二十一 營業者ニシテ度量衡法施行令第九條以外ノ度量衡器ヲ修覆シテ檢定ニ合格セス若ハ修覆ヲ爲サスシテ依托者ニ還付シタル片其ノ器物ノ種類等所定ノ事項ヲ記載シ知

事ニ届出テサル者ナキヤ否ヤ（本縣度量衡取締規則第十條）

二十二 製作者、修覆者ニシテ度量衡器修覆ノ依托ヲ受ケ正當ノ理由ナクシテ拒ミタル者ナキヤ否ヤ（本縣度量衡取締規則第十一條）

二十三 營業者度量衡器ヲ賣渡シ若ハ修覆（桿秤ノ緒紐ヲ修覆シタルモノニハ此ノ限ニ在ラス）シタル片所定ノ証票ノ交附（竹、木、麻製ノ度量衡器ニ限リ証票ニ代フルニ器物ノ裏面ニ賣渡年月日及氏名ヲ捺印スルコトヲ得）セサル者ナキヤ否ヤ（本縣度量衡取締規則第十二條）

二十四 以上列記ノ外本縣度量衡取締規則ニ基キテ發スル取締官吏、警察官吏、又ハ市町村長ノ發スル命令ニ違背シタル者ナキヤ否ヤ（本縣度量衡取締規則第十八條）

### 使用者ニ對スル取締

- 一、檢定証印ナキモノ（檢定証印ヲ除去セラレタルモノ又ハ其ノ証印ノ代用トシテ証書ヲ附セラレタルモノニシテ証書ヲ紛失シタルモノ）「度量衡法施行令第廿一條」及第十二條ニ該當スル度量衡器ヲ含ム）ヲ取引証明ノ爲使用シ又ハ使用ニ供スル爲所持スル者ナキヤ否ヤ（度量衡法第八條第一號）
- 二、修覆ヲ爲シタル後其檢定ヲ受ケサル度量衡器ヲ取引証明ノ爲使用シ若ハ使用ニ供スル爲所持スル者ナキヤ否ヤ（度量衡法第八條第二號）
- 三、變造シタル度量衡器ヲ取引証明ノ爲使用シ若ハ使用ニ供スル爲所持スル者ナキヤ否ヤ（度量衡法第八條第三號）
- 四、度量衡法施行令第十六條ニ定メタル公差以上ノ差狂ヲ生シタル度量衡器ヲ取引証明ノ爲使用シ若ハ使用ニ供スル爲所持スル者ナキヤ否ヤ（度量衡法第八條第四號）
- 五、度量衡法施行細則第四十九條各號ノ一ニ該當スル度量衡器ヲ取引証明ノ爲使用シ若ハ使用ニ供スル爲所持スル者ナキヤ否ヤ（度量衡法第八條第五號）
- 六、計量ヲ僞ルノ目的ヲ以テ不正ニ度量衡器ヲ使用スル者ナキヤ否ヤ（度量衡法第十三條第二號）  
例令ハ定量增錘附臺秤ニハ其ノ臺ニ表記シタル大中小ノ文字ノ區別ニ一致セサル增錘ヲ使用シ定量錘付檯製桿秤ニハ細則第三十一條衡器ノ第二十五號ニ規定セル秤量ノ區別ニ從ヒ定量錘ヲ使用セスシテ異ナル定量錘ヲ使用スルカ如キヲ云フ
- 七、使用上ノ制限ニ違反シテ業務上取引若ハ証明ノ爲度量衡器ヲ使用スル者ナキヤ否ヤ（度量衡法第四十二條乃至第四十七條）
- 八、業務上取引若ハ証明ノ爲使用シ又ハ使用ニ供スル爲所持

スル度量衡器（特ニ規定アルモノ、外）ヲ第一種取締ヲ執行シタル日時及場所ニ提出ヲ怠リタル者ナキヤ否ヤ（度量衡法第四十八條）

九、取引証明ノ爲使用シ又ハ使用ニ供スル爲所持スル臺秤又ハ天秤、桿秤ニシテ其ノ臺アルモノヲ水平ニ据付ケス又ハ其ノ直点ヲ正シ置カサル者ナキヤ否ヤ（本縣度量衡取締規則第十五條）

一〇、以上列記ノ外本縣度量衡取締規則ニ基キテ發スル取締官吏、警察官吏、又ハ市町村長ノ發スル命令ニ違背シタル者ナキヤ否ヤ（本縣度量衡取締規則第十八條）

一般ニ對スル取締

一、免許ヲ受ケスシテ度量衡器ノ製作、修覆又ハ販賣ノ業ヲ營ム者ナキヤ否ヤ（度量衡法施行令第三條ニ依リ免許ノ効力ヲ失ヒタルモノヲモ含ム）（度量衡法第十四條）

二、檢定証印ナキ度量衡器ヲ店舗工場其他取引若ハ証明ヲナス場所又ハ計量スヘキ物件ト同一ノ場所ニ置若ハ行商ノ際携帯スル者ナキヤ否ヤ（本縣度量衡取締規則第十四條第一號）

三、修覆ヲ爲シタル後其檢定ヲ受ケス又ハ檢定ニ合格セザル度量衡器ヲ店舗工場其他取引若ハ証明ヲナス場所又ハ計量スヘキ物件ト同一ノ場所ニ置若ハ行商ノ際携帯スル者ナキヤ否ヤ（本縣度量衡取締規則全條第二號）

四、變造シタル度量衡器ヲ店舗工場其他取引若ハ証明ヲナス場所又ハ計量スヘキ物件ト同一ノ場所ニ置若ハ行商ノ際携帯スル者ナキヤ否ヤ（本縣度量衡取締規則全條第三號）  
五、度量衡法施行令第十六條ニ定ムル公差以上ノ差狂ヲ生シタル度量衡器ヲ店舗工場其他取引若ハ証明ヲナス場所又ハ計量スヘキ物件ト同一ノ場所ニ置若ハ行商ノ際携帯スル者ナキヤ否ヤ（本縣度量衡取締規則全條第四號）

六、度量衡法施行細則四十九條各號ノ一ニ該當スル度量衡器ヲ店舗工場其他取引若ハ証明ヲナス場所又ハ計量スヘキ物件ト同一ノ場所ニ置若ハ行商ノ際携帯スル者ナキヤ否ヤ(本縣度量衡取締規則全條第五號)

七、分離シ得ヘキ構造ノ度量衡器ニシテ符號番號ノ一致セサル度量衡器ヲ店舗工場其他取引若ハ証明ヲナス場所又ハ計量スヘキ物件ト同一ノ場所ニ置若ハ行商ノ際携帯スル者ナキヤ否ヤ(本縣度量衡取締規則全條第六號)

八、糟糠、塩分、砂糖其他著シキ附着物アル度量衡器ヲ店舗工場其他取引若ハ証明ヲナス場所又ハ計量スヘキ物件ト同一ノ場所ニ置若ハ行商ノ際携帯スル者ナキヤ否ヤ(本縣度量衡取締規則全條第七號)

九、度量衡器ニ紛ハシキモノヲ店舗工場其他取引若ハ証明ヲナス場所又ハ計量スヘキ物件ト同一ノ場所ニ置若ハ行商ノ際携帯スル者ナキヤ否ヤ(本縣度量衡取締規則全條第八號)

一〇、取締官吏警察官吏又ハ市町村長ニ於テ取締上必要ト認め度量衡器ノ提出又ハ修覆ヲ命シタル片其ノ提出又ハ修覆ヲナサル者ナキヤ否ヤ(本縣度量衡取締規則第十七條)

一一、檢定証印又ハ檢査濟印ヲ不正ニ使用(影蹟ヲ不正ニ使用)シ又ハ之ヲ偽造シ若ハ偽造印ヲ行使スル者ナキヤ否ヤ(刑法第百六十六條)

罰則

罰則ニ關スル規定ハ法及細則ニノミ之ヲ存シ施行令ニハ之ヲ存セス之レ施行令ニ違反シタル行爲ハ法ノ罰則ヲ適用セラルヲ以テナリ

公務所ニ於ケル度量衡法違反行爲ニ付テハ法第廿一條ニ依リ刑罰ヲ科セラル、コトナシト雖モ罰則ヲ適用セラレサルカ故

ニ違反行爲ヲ妨ケストノ謬見ニアラス公務所モ亦一般臣民ト  
等シク罰則以外ノ規定ハ遵守スヘキモノニシテ只違反行爲ヲ  
ルモ公務所員ニハ刑ヲ科サス國家又ハ公共團體ニ於テ其ノ者  
ニ對シ職務上ノ懲戒罰ヲ加フルニ至ルヘシ  
令營業者、使用者及一般ニ對スル三段ニ分チテ度量衡法、度  
量衡法施行細則及本縣度量衡取締規則等ニ依リ罰セラルヘキ  
行爲ヲ左ニ列記スレハ

營業者ニ對スル罰則

- 一、檢定証印ナキ度量衡器ヲ販賣シ若ハ販賣ノ爲所持シタル  
モノ（度量衡法第八條第一號）
- 二、修覆ヲ爲シタル後其ノ檢定ヲ受ケヌ又ハ檢定ニ合格セザ  
ル度量衡器ヲ販賣シ若ハ販賣ノ爲所持シタルモノ（量度

衡法第八條第二號）

- 三、變造シタル度量衡器ヲ販賣シ若ハ販賣ノ爲所持シタルモ  
ノ（度量衡法第八條第三號）
- 四、度量衡法施行令第十六條ニ定ムル公差以上ノ差狂ヲ生シ  
タル度量衡器ヲ販賣シ若ハ販賣ノ爲所持シタルモノ（度  
量衡法第八條第四號）
- 五、度量衡法施行細則第四十九條各號ノ一ニ該當スル度量衡  
器ヲ販賣シ若ハ販賣ノ爲所持シタルモノ（度量衡法第八  
條第五號）度量衡法第十三條ニ依リ五百圓以下ノ罰金ニ  
處セラルヘキ行爲
- 六、製作、修覆又ハ販賣營業ノ停止中其ノ營業ヲ爲シタルモ  
ノ  
度量衡法施行細則第五十二條ニ依リ百圓以下ノ罰金ニ處セラ  
ルヘキ行爲
- 七、製作者又ハ修覆者カ認可ヲ受ケヌシテ營業所又ハ工場ノ



位置ヲ變更シ又ハ工場ヲ新設シタルモノ（度量衡法施行細則第十條第一項）

八、販賣者カ認可ヲ受ケスシテ營業所ノ位置ヲ變更シタルモノ（度量衡法施行細則第十條第一項）

九、製作者修覆者又ハ販賣者カ其ノ營業ヲ廢止シ又ハ營業免許カ消滅シ又ハ相續ノ開始アリタル場合ニ相繼人カ被相續人ノ營業ヲ承繼セス若ハ其ノ營業ヲ承繼スルコトヲ得サルトキニ於テ認可ヲ受ケスシテ營業上所持スル度量衡器ノ處分ヲ爲シタルモノ（度量衡法施行細則第十六條）

一〇、製作者、修覆者又ハ販賣者ガ（度量衡法施行令第九條）ニ依リ檢定ヲ受クルコトヲ要セサル許可ヲ受ケ製作、輸入移入又ハ修覆シタル度量衡器ノ届出ヲ爲サズシテ輸出、移出、又ハ販賣シタルモノ（度量衡法施行細則第二十條）

「度量衡法施行細則」第五十四條ニ依リ廿五圓以下ノ罰金又

ハ科料ニ處セラルベキ行爲

一一、製作者、修覆者又ハ販賣者ノ相續人ガ被相續人ノ營業ヲ承繼スルトキハ相續ノ日ヨリ六十日以内ニ免許狀ノ書換ノ出願ヲ爲ササルモノ（度量衡法施行細則第十一條第二項）

一二、製作者、修覆者又ハ法定代理人ニ變更アリタル場合ニ新法定代理人ガ其ノ變更ノ届出ヲ怠リタルモノ（度量衡法施行細則第十四條第一項）

一三、製作者又ハ修覆者ニシテ許可ヲ受ケズシテ工場外ニ於テ製作修覆ヲ爲シタルモノ（度量衡法施行細則第十八條）

一四、製作者又ハ販賣者ニシテ許可ヲ受ケズシテ營業所外ニ於テ度量衡器ノ販賣ヲ爲シタルモノ（度量衡法施行細則第十九條）

度量衡法施行細則第五十五條ニ依リ科料ニ處セラルベキ行爲

一五、製作者又ハ修覆者ニ於テ其ノ工場ヲ廢止シタルモノアルトキ五日以内ニ其ノ旨ノ届出ヲ爲ササルモノ（度量衡法施行細則第十條第二項）

一六、製作者修覆者又ハ販賣者ノ相續人ガ被相續人ノ營業ヲ承繼セズ若ハ承繼スルコトヲ得ザリシキニ於テ六十日以内ニ免許狀ノ返納ヲ爲ササルモノ（度量衡法施行細則第十二條）

一七、免許狀ヲ汚損又ハ亡失シタル場合ニ於テ其ノ再下付ノ出願ヲ怠ルコト又ハ免許狀ニ記載シタル氏名若ハ名稱ニ變更アリタル場合ニ於テ免許狀更正ノ出願ヲ怠タリタルモノ（度量衡法施行細則第十三條）

一八、法定代理人ガ其氏名ニ變更アリタル其ノ旨ノ届出ヲ怠タリタルモノ（度量衡法施行細則第十四條第二項）

一九、製作者修覆者又ハ販賣者其ノ營業ヲ廢止シ又ハ營業免許ノ消滅シタルトキ免許狀ノ返納ヲ怠タリタルモノ（度量衡法施行細則第十五條）

量衡法施行細則第十五條

二〇、販賣者ガ届出ヲナサズシテ桿秤ノ金屬ニ係ラザル緒紐ノ修覆ノ業ヲ營ミ又ハ規定ノ分銅ヲ備付ケズシテ此ノ業ヲ營ミタルモノ（度量衡法施行細則第二十一條）

二一、製作者、修覆者又ハ販賣者ガ桿秤ニシテ度量衡法施行細則第四十九條各號ノ一ニ該當スルモノ又ハ其ノ器差ガ度量衡法施行令第十六條ニ定ムル公差ヲ超ユルモノニ對シ金屬ニ係ラザル緒紐ノ修覆ヲ爲シ依頼者ニ交付スルコト又ハ其ノ修覆ヲ爲サズシテ還付シタルモノニ付テ其ノ事由ノ届出ヲ怠タリタルモノ（度量衡法施行細則第二十三條）

本縣度量衡取締規則第十八條ニ依リ科料又ハ拘留ニ處セラレベキ行爲

二二、製作者、修覆者又ハ販賣者ガ其ノ營業ノ種別及氏名ヲ明示シタル標札ヲ店頭ニ掲ケサルモノ（全上第三條）

二三、製作者、修覆者又ハ販賣者ガ其ノ帳簿ニ所定ノ事項ヲ記載セズ且ツ其ノ帳簿最終ノ附込終了後滿五ケ年間保存セザルモノ（全上第五條）

二四、製作者、修覆者又ハ販賣者ニシテ其ノ統計表ニ所定ノ事項ヲ記載セズ且ハ指定ノ期日迄ニ知事ニ差出サザルモノ（全上第六條）

二五、製作者、修覆者又ハ販賣者桿秤ノ緒紐ニシテ金屬ニ係ラザルモノ、修覆ヲ爲スニ當リ規定ノ手續ヲ爲サザルモノ（全上第九條）

二六、製作者、修覆者度量衡法施行令第九條以外ノ度量衡器ヲ修覆シテ檢定ニ合格セザルトキ若シクハ修覆ヲ爲サズシテ依託者ニ還付シタルトキ其ノ器物ノ種類還付事由及所有者ノ氏名等ヲ遲滞ナク知事ニ届出サルモノ（全上第十條）

二七、製作者、修覆者、度量衡器ノ修覆ノ依託ヲ受ケ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ミタルモノ（度量衡法施行細則第十一條）

二八、營業者度量衡器ヲ賣渡シ若ハ修覆（金屬ニ係ラザル桿秤ノ緒紐ノ修覆ハ此ノ限ニ在ラズ）ヲ爲シタル場合ニ於テ規定ノ事項ニ背キタルモノ（全上第十二條）

二九、本縣度量衡取締規則ニ依リテ發スル取締官吏警察官吏又ハ市町村長ノ發スル命令ニ違背シタルモノ（全上第十八條）

以上列記ノ外度量衡法第十二條ニ依リ營業者ガ度量衡ニ關スル規定ニ違背シ若ハ營業上當該官廳ノ命令ニ從ハザルトキ其ノ事實ノ輕重ニ拘ラズ免許ヲ與ヘタル行政官廳ノ自由裁量ヲ以テ或ハ其ノ營業ヲ停止シ又ハ取消ノ處分ヲ爲スコトアルベシ

### 使用者ニ對スル罰則

度量衡法第十三條ニ依リ一年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處セラルベキ行爲

- 一、檢定証印ナキ度量衡器ヲ取引証明上ニ使用シ若ハ使用ニ供スル爲所持スルモノ（度量衡法第八條第一號）
- 二、修覆シタル後其ノ檢定ヲ受ケズ又ハ檢定ニ合格セザル度量衡器ヲ取引証明上ニ使用シ又ハ使用ニ供スル爲所持シタルモノ（度量衡法第八條第二號）
- 三、變造シタル度量衡器ヲ取引証明上ニ使用シ又ハ使用ニ供スル爲所持スルモノ（度量衡法第八條第三號）
- 三、度量衡法施行令第十六條ニ定ムル公差以上ノ差狂ヲ生シタル度量衡器ヲ取引証明ノ爲使用シ又ハ使用ニ供スル爲所持スルモノ（度量衡法第四號）
- 五、度量衡法施行細則第四十九條各號ハ一ニ該當スル度量衡

器ヲ取引証明ノ爲使用シ又ハ使用ニ供スル爲所持シタルモノ（度量衡法第五號）

六、度量衡ノ計量ヲ僞ルノ目的ヲ以テ不正ニ度量衡器ヲ使用シタルモノ（度量衡法第十三條第二號）（例ハ度量衡ヲ以テ長サノ長短ヲ僞リ量器ヲ以テ容量ノ多少ヲ僞リ又ハ衡器ヲ以テ重量ノ輕重ヲ僞ル目的ヲ以テ使用スルモノ）  
 度量衡法施行細則第五十四條ニ依リ廿五圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處セラルベキ行爲

七、業務上取引若ハ証明ノ爲木製枴ヲ使用スル場合ニ穀類ノ計量ニ穀用ノ表記ナキモノ液類ノ計量ニ液用ノ表記ナキモノヲ使用スルモノ（度量衡法第四十三條）

八、業務上取引若ハ証明ノ爲五斗以上又ハ百「リットル」以上ノ穀類ヲ計量スル場合ニ全量一斗未滿又ハ二十「リットル」未滿ノ枴ヲ使用スルモノ（度量衡法第四十四條）  
 度量衡法施行細則第五十五條ニ依リ科料ニ處セラルベキ行爲

九、業務上取引証明ノ爲度器ヲ使用スル場合ニ於テ布帛以外  
ノ物ヲ度ルニ鯨尺ヲ使用スルモノ（度量衡法施行細則第  
四十二條）

一〇、業務上取引証明ノ爲枳ヲ以テ穀類ヲ計量スル場合ニ於  
テ圓壩形斗概ヲ使用セザルモノ（全上第四十五條）

一一、業務上取引証明ノ爲秤ヲ使用スル場合ニ於テ桿ト分離  
シ得ベキ錘、增錘、增錘臺又ハ皿ニ附シタル表記ト桿ニ  
付シタル表記ト異ナルモノヲ使用スルモノ（全上第四十  
六條）

一二、業務上取引証明ノ場合ニ於テ水平ヲ定ムル裝置アル秤  
ニ付其ノ臺ヲ水平トナサズシテ使用スルモノ（全上第四  
十七條）

一三、第一種取締ヲ行フ場合ニ於テ告示ヲ以テ指定セル日時  
場所ニ業務上取引証明ノ爲メ使用シ又ハ使用ニ供スル爲  
メ所持スル度量衡器ノ提出ヲ怠タルモノ（全上第五十五

條第三號）

本縣度量衡取締規則第十八條ニ依リ拘留又ハ科料ニ處セラル  
ベキ行爲

一四、度量衡器ヲ購入シ又ハ修覆ヲ依託スル場合ニ其ノ住所  
職業氏名ヲ營業者ニ告知セザルモノ（本縣度量衡取締規  
則第十三條）

一五、取引証明ノ爲使用スル臺秤又ハ天秤桿秤ニシテ臺アル  
モノヲ常ニ水平ニ据付ケス又ハ其ノ直点ヲ正シ置カザル  
モノ（全上第十五條）

一六、本縣度量衡取締規則ニ依リテ發スル取締官吏、警察官  
吏又ハ市町村長ノ發スル命令ニ違背スルモノ（全上第十  
八條）

一般ニ對スル罰則

度量衡法第十三條ニ依リ五百圓以下ノ罰金ニ處セラルベキ

行爲

一、免許ヲ受ケズシテ度量衡器ノ製作、修覆又ハ販賣ノ業ヲ營ミタルモノ

度量衡法第十五條ニ依リ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處セラレベキ行爲ニ當該官吏ノ訊問ニ對シ虚偽ノ答辯ヲ爲シ又ハ當該官吏ノ職務執行ヲ拒ミ之ヲ忌避シ若ハ之ニ支障ヲ加ヘタルモノ

(參照) 公務員ノ職務執行スルニ當リ之ニ對シ暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

公務員ヲシテ或ル處分ヲ爲サシメ若ハ爲サバラシムル爲メ又ハ其職ヲ辭セシムル爲暴行又ハ脅迫ヲ加ヘタル者亦同シ

(刑法第九十五條)

本縣度量衡取締規則第十八條ニ依リテ科料又ハ拘留ニ處セラレベキ行爲

三、檢定証印ナキ度量衡器ヲ店舗工場其ノ他取引若ハ証明ヲ

- ナス場所又ハ計量スベキ物件ト同一ノ場所ニ置キ若ハ行  
商ノ際携帯シタルモノ(度量衡取締規則第十四條第一號)  
四、 修覆ヲ爲シタル後其ノ檢定ヲ受ケズ若ハ檢定ニ合格セザ  
ル度量衡器ヲ店舗工場其ノ他取引若ハ証明ヲナス場所又  
ハ計量スベキ物件ト同一ノ場所ニ置キ若ハ行商ノ際携帯  
シタルモノ(全上第二號)  
五、 變造シタル度量衡器ヲ店舗工場其ノ他取引若ハ証明ヲナ  
ス場所又ハ計量スベキ物件ト同一ノ場所ニ置キ若ハ行商  
ノ際携帯シタルモノ(全上第三號)  
六、 度量衡法施行令第十六條ニ定ムル公差以上ノ差狂ヲ生ジ  
タル度量衡器ヲ店舗工場其ノ他取引若ハ証明ヲナス場所  
又ハ計量スベキ物件ト同一ノ場所ニ置キ若ハ行商ノ際携  
帶シタルモノ(全上第四號)  
七、 度量衡法施行細則第四十九條各號ノ一ニ該當スル度量衡  
器ヲ店舗工場其ノ他取引若ハ証明ヲナス場所又ハ計量ス

ベキ物件ト同一ノ場所ニ置キ若ハ行商ノ際携帯シタルモノ(全上第五號)

八、分離シ得ベキ構造ノ器物ニシテ符合番號ノ一致セザル度量衡器ヲ店舗工場其ノ他取引若ハ証明ヲナス場所又ハ計量スベキ物件ト同一ノ場所ニ置キ若ハ行商ノ際携帯シタルモノ(全上第六號)

九、糟糠鹽分、砂糖其ノ他著シキ附着物アル度量衡器ヲ店舗工場其ノ他取引若ハ証明ヲナス場所又ハ計量スベキ物件ト同一ノ場所ニ置キ若ハ行商ノ際携帯シタルモノ(全上第七號)

十、度量衡器ニ紛ハシキモノヲ店舗工場其ノ他取引若ハ証明ヲナス場所又ハ計量スベキ物件ト同一ノ場所ニ置キ若ハ行商ノ際携帯シタルモノ(全上第八號)

十一、取締官吏、警察官吏又ハ市町村長ニ於テ必要ト認め度度量衡器ノ提出又ハ修復ヲ命セラレタル場合ニ其ノ命ニ從



ハザルモノ（全上第十七條）

### 度量衡器ノ使用ノ制限

度量衡法第九條ニ「使用ノ制限ニ關シテハ命令ヲ以テ之ヲ定

ム」トアリ其ノ命令ハ度量衡法施行細則第四十二條乃至  
四十七條ヲ以テ規定サル

#### （一） 度量器ノ使用ノ制限

第四十二條ニ依リ鯨尺ヲ使用シ得ル範圍ハ布帛ヲ度ル場合ノ  
ミニ制限セラル凡ソ鯨尺ハ古ノ裁衣尺ノ轉化ニシテ古來專ラ  
布帛ノ計測用ノミニ使用セラレ其ノ因襲ノ久シキ今俄ニ使用  
慣習ヲ廢絶スベキニ非サレバナリ

#### （二） 量器ノ使用ノ制限

イ、穀類又ハ液類ノ計量ノ場合、第四十三條ニ依リ穀類ノ計  
量ニ木製枴ヲ使用スル場合ニハ第三十一條量器ノ枴及斗  
概ノ第三十三號ニ規定シタル穀用ノ文字及全量ヲ表記シ

タルモノ液類ノ計量ニ木製櫛ヲ使用スル場合ニハ猶同號  
 ニ規定シタル液用ノ文字及全量ヲ表記シタルモノニ非サ  
 レハ使用スルコトヲ得ス是レ穀類又ハ液類ノ計量ニ適ス  
 ベク作ラレタルモノヲ各其ノ目的ニ使用スルトノ謂ニシ  
 テ此等ノモノ、計量ニ適セサルモノヲ使用スルニ於テハ  
 容易ニ構造ニ異狀ヲ來スト共ニ公差以上ノ差狂ヲ生ズル  
 ニ至ルベキヲ以テ其ノ使用ヲ制限シタル所以ナルベシ而  
 シテ穀用櫛ヲ液類ニ非ラザルモノ、計量ニ液用櫛ヲ穀類  
 ニ非ザルモノ、計量ニ使用スルコトハ法文ノ制限スル處  
 ナキヲ以テ任意タルコト勿論ナリ

ロ、五斗以上ノ穀類計量ノ場合、第四十四條ニ依リ穀類五斗  
 以上又ハ百「リットル」以上ヲ計量スル場合ニハ一斗以  
 上又ハ二十「リットル」以上ノ櫛ヲ使用セザルベカラズ  
 是小櫛ヲ以テ幾回ニ計量スルニ於テハ此ノ間計量ノ値ヲ  
 減ズル惡手段ヲ施スノ餘地ヲ存スルヲ以テ此等ノ弊害ヲ

豫防スル趣旨ナルベシ而シテ一方ニハ明治十九年農商務省令第二號ヲ以テ公布セラレタル穀量一斗以上ヲ授受スル際一斗樹ヲ用キザルトキハ其ノ授受者ニ於テ之ヲ拒ムコトヲ得トノ任意規定ヲ存シ更ニ細則ニ於ケル本條ノ規定ニ於テ五斗以上ノ計量ヲ爲ス場合ニ之ヲ強行スル所以ノモノハ立法者ハ兎モ角一斗以上ノ計量ノ場合ニ一斗未滿ノ樹ヲ使用スルコトヲ否認シツ、アル形績ハ之ヲ窺知スルニ足ルト共ニ俄ニ一斗以上ノ計量ノ場合ニ一斗以上ノ樹ノ使用ヲ強行スルニ於テハ商慣習其ノ他小取引ニ影響スル廉アルベキヲ慮リ當分明治十九年ノ任意法ヲ存置シ一面小取引ニ影響セサル範圍ヲ見計ヒ五斗以上計量ノ場合ニハ強行スルノ政策ヲ採リタルモノニ非ラザルベキヤ

ハ、斗概ノ使用、第四十五條ニ依リ穀類ヲ計量スル場合ハ計量スル數量ノ多寡ニ從ヒ大中又ハ小ノ表記アル圓壺形斗

概テ使用セザルベカラズ是柶ヲ以テ計量スル物ノ内比較  
的貴重品タル穀類ハ斗概ヲ用ヒズシテ俗ニ山量リト稱ス  
ル量リ方ニ依ルトキハ計量ノ値ガ一定セザルガ爲取引上  
ノ過誤紛雜ヲ來スルニ至ルベキヲ以テ一定ニ斗概ヲ使用  
セシメ以テ計量ノ値ノ正確ヲ保タシムルノ趣旨ナルベシ  
又之ヲ圓壻形ニ制限シタルハ穀類ノ計量ニ板狀ノモノヲ  
使用スルハ不適當ト認メタルニ因ルベシ

(三) 秤ノ使用制限

表記ノ一致セザルモノ第四十六條ニ依リ桿ト分離シ得ベ  
キ錘、増錘(定量錘、定量増錘ヲ除ク)増錘臺又ハ皿ニ  
附シタル表記ト桿ニ附シタル表記ト異ナル秤ハ之ヲ使用  
スルコトヲ得ズ元來錘又ハ増錘(定量錘及定量増錘ヲ除  
ク)ハ其桿ニ從ヒ其重量ヲ加減スルモノナルヲ以テ表記  
ノ異ナルモノハ當然計量ノ値ニ差異ヲ生ズルガ故ナルベ  
シ而シテ若シ計量ヲ僞ルノ目的ヲ以テ表記ノ異ルモノヲ

使用シ財物ヲ騙取リタル事實アル場合ニ於テハ詐欺取財  
犯ヲ構成シ刑法第五十四條ノ適用ニ依リ同法第二百四十  
六條ノ刑ニ處セラルニ至ルベシ

(參照) 一個ノ行爲ニシテ數個ノ罪名ニ觸レ又ハ犯罪ノ手  
段若ハ結果タル行爲ニシテ他ノ罪名ニ觸ル、トキハ其ノ  
最モ重キ刑ヲ以テ處斷ス(刑法第五十四條第一項)人ヲ  
欺罔シテ財物ヲ騙取シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス  
(刑法第二百四十六條第一項)

則チ度量衡法第十三條第二項ニモ觸レ刑法第二百四十六  
條ニモ觸ル、ヲ以テ刑法第五十四條ニ依リ其ノ最重キ刑  
ナル十年以下ノ懲役ニ處セラルベキナリ桿ノ表記ト錘其  
ノ他ノモノ、表記ト一致ヲ要スルモノヲ舉グレバ左ノ  
如シ

金屬又ハ木(定量ニ非ザル錘

錘ト桿トノ記號番號秤量  
ノ表記一致ヲ要ス

製 桿 秤

定量錘附ノモノ

錘ト桿トノ秤量表記一致  
スルヲ要ス

五四

臺

秤

定量ニ非ザル増  
錘附ノモノ  
定量増錘附ノモノ

桿、増錘、増錘臺記號番號  
ノ一致ヲ要ス  
桿及増錘臺ノ記號番號一  
致スルヲ要ス

十分秤、上皿  
天秤及天秤

桿ト皿トノ番號ノ一致スルヲ要ス

上皿 桿秤

臺秤ノ定量ニ非ザル錘附ノモノニ同シ尙  
錘(増錘ヲ除ク)ト桿トノ秤量記號番號及  
皿ノ分離シ得ルモノニ在リテハ桿ト皿ト  
ノ番號ノ一致ヲ要ス

水平ノ裝置アル秤第四十七條ニ依リ水平ヲ定ムル裝置ア  
ル秤ハ其ノ臺ヲ水平ト爲スニ非ザレバ之ヲ使用スルコト  
ヲ得ズ是臺ヲ水平ト爲サルニ於テハ多クノ場合ニ於テ  
公差以上ノ器差ヲ生ズルニ至ルベキヲ以テナリ而モ臺秤

ノ如キハ度量衡法施行細則第三十一條衡器ノ第十六號ノ  
規定ニ見ルモ水平ヲ定ムル裝置ナキモノハ其ノ臺ヲ傾斜  
スルモ公差以上ノ器差ヲ生ゼザル構造ヲ具フルモノナリ  
ト雖モ是アルモノハ概シテ其ノ臺ヲ傾斜スルニ於テハ公  
差以上ノ器差ヲ生ズルヲ以テ其ノ裝置ニ依リ臺ノ水平ヲ  
見定メ使用セシムル必要アル所以ナルベシ若夫レ初ヨリ  
計量ヲ偽ルノ目的ヲ以テ臺ノ水平ヲ正スコトナク其結果  
財物ヲ騙取スルニ至リタル事實アリトセバ之亦詐欺取財  
犯ヲ構成スルコト前ニ同シ

取締ヲ行フヘキ職業

(一)米穀類、酒類、醬油、味噌、鹽、砂糖、菓子、飴類、茶  
及之ニ類スル飲料、牛乳、雞卵、鯉節、海藻類、果實野  
菜類、乾物類、魚類、鳥獸肉類、粉類、種子類、吳服太  
物類、綿類、絲類、繭類、毛織物組紐リボン類、麻苧繩、

五五

麥稈、銅鉄其ノ他ノ金屬類、寶石類、油蠟類、肥料、薪炭其他ノ燃料、染料脂膠類、漆其他ノ塗料、印肉、藥種其他ノ工業用藥種類、火藥石灰セメント類、毛皮鞣類、材木類、馬糧、屑物類、牛馬等ノ卸賣、小賣、依托販賣、及行商ニ使用スル度量衡器但シ商品ノ仕入又ハ原料ノ購入ニ使用スルモノヲ含ム以下全シ

(三)紡績、製絲、染織、製油、製糖、製氷、製粉、精米、製茶、製蠟、製紙、醸造、水産物等ノ製造又ハ事業上使用スル度量衡器

(三)大工、指物、挽物、木挽、桶職、石工、疊職、簾職、鑄物職、鍛冶職、鉄葉職、鼈甲職、象牙其ノ他寶石細工職、車製造職、造船業、採鑛冶金業、化學工業、器具機械製造業、鋳職、綿打職、製圖師、測量師、建築業、彫刻師等ノ施工上又ハ作業上使用スル度量衡器

(四)醫師、藥劑師、病院、兩替業、運送業、倉庫業、問屋、銀行、保險業、地主(小作米收得スル)農業(農産物ヲ賣却スル)學校、試驗場、検査所、鐵道、郵便、煙草、鹽、樟腦製造所其ノ他官署公署等ニ於テ取引證明上ニ使用スル度量衡器

### 度量衡器購入ニ關スル注意事項

檢定ニ合格シタル度量衡器ハ檢定証印ヲ有シ正器物ニハ相違ナキモ檢定ニ於テ合格スル成績ニモ甲乙アルハ恰モ試験ニ合格スルモ其ノ成績ニ優劣アルカ如シ故ニ度量衡器ヲ購入セシトスルハ宜シク營業者ニ就キ檢定証印ノ有無及構造ノ点等ニ關シ充分聞取タル上購入スベシ其ノ購入ニ際シ營業者ヨリ住所職業氏名ヲ尋子タル場合ニハ偽ナク之ヲ告知セザルハカラズ若シ之ヲ拒ミ又ハ偽名シタルトキハ相當ノ處罰ヲ受クベキヲ以テナリ、其氏名等ヲ告知スレバ營業者ヨリ左記雛形ノ証票ヲ與フ之ハ其ノ器物ガ其土地ニ於ケル第一種取締後ニ購

五八  
 入シタルモノニシテ第一種取締ニ提出セザルモノニ非ラザル  
 コトヲ証スルモノナルヲ以テ次回ノ第一種取締マデ保存スベ  
 キモノナリ  
 竹木麻製ノ度量器ハ該証票ニ代フルニ其器物ニ賣渡年月日及販  
 賣者ノ氏名ヲ押捺シ得ルヲ以テ証票ヲ與ヘザルモノ之ヲ請求ス  
 ルニ及バズ

第丙  
 號

度量(量)(衡)器賣渡証票	
形狀	
物質	

種別	
記號	
番號	
箇數	
價額	
右賣渡候也	住所
年月日	度量(量)(衡)器製作者 氏 名印
使用者住所氏名	

(注意)此証票ハ次回ノ第一種取締ノ時ニ器物ニ添ヘ  
 五九

提出スベキモノナルヲ以テ其期間内保存シ置ク  
六〇  
ベキモノトス

### 度量衡器使用并保存方法

度量衡器ハ素ト高尚深玄ナル學理ニ基キテ組織セラレタルモノナリト雖モ世人多クハ其ノ性質ヲ審ニセザル結果假令精巧簡便ナル器物ヲ用フルモ其ノ使用ノ疎漏ナルヨリシテ不知不識狂差ヲ生ゼシメ不正ニ使用スル目的ヲ有セザルモ差狂ニ依リ信用ヲ失墜シ挽回スベカラザル運命ニ陥ルノミナラズ使用ノ「こきう」ヲ了知セザル結果往々曩ニ陳述セシ如キ奸商人ニ欺瞞セラル、ニ至ル誠ニ遺憾ノ至リナリ今左ニ度量衡器ノ使用并保存方法トシテ二三ヲ述ベ以テ世人ノ注意ヲ惹カントス

### 度量衡器

- 一、度量器ヲ以テ蠅敲キ又ハ火箸ノ代用トシテ使用セザルコト
  - 二、竹尺ヲ戲ニ屈撓シ若ハ其末端ヲ削ルベカラズ
  - 三、度量器ヲ以テ定規ノ代用トシテ使用セザルコト
  - 四、竹製度量器ハ往々足等ニテ踏ミ割ルコト多キヲ以テ可成其等ニ就テハ注意スベシ
  - 五、麻製度量器(卷尺)ヲ水ニ濕リタル儘日光ニ曝シ又ハ急激ニ使用セザルコト
- 量 器
- 一、圓壩形一斗枱等ヲ腰掛又ハ踏臺ノ代用トシテ往々使用スル者アリ之レ口縁ヲ橢圓形トナラシメ又從テ容器ニ變化ヲ生セシメ不合格トナリ又不正器物トシテ取扱ハル、ニ至ルヲ以テ注意スベシ
  - 二、枱ノ内面ニ糟糠鹽分等ヲ附着セシメザルコト  
(取締規則違背ニ付罰セラル)
  - 三、液用枱(酒屋等ニテ)ヲ掃除スルニ當リ竹サ、ラ等ヲ用



ヒ内面及外側ヲ洗フ、之レガ爲内面ハ自然毀損セラレ容

器ハ大トナリ外側ニアリテハ表記(液一升 三重)及

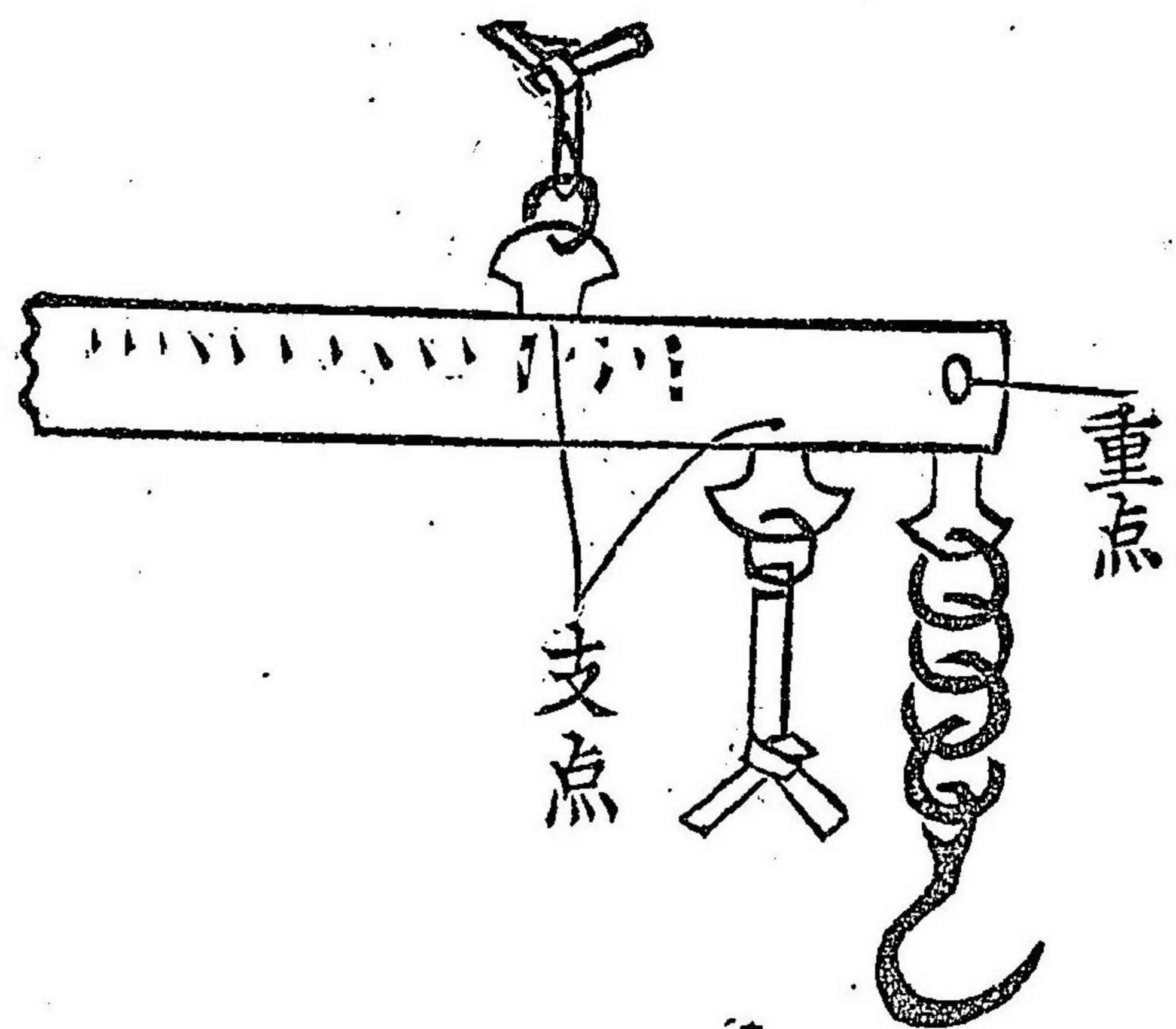
檢定証印等ヲ識別シ難キニ至ラシメ検査ニ於テハ不合格  
トナリ又不正器物トシテ取扱ハル、ニ至ルヲ以テ叮嚀ニ  
掃除スベシ

四、  
枴ノ内方ニ往々斗概ヲ投入スル者アリ之レ一面斗概ハ枴  
ノ口縁ノ金屬ニ依リ其ノ外側ニ凹凸ヲ生ズベク他面ニハ  
枴底板ヲ毀損シ又ハ底部ノ移動ヲ生ゼシメ検査ニ於テハ  
不合格トナルト共ニ又不正器物トシテ取扱ハル、ニ至ル  
ヲ以テ注意スベシ

五、  
石油枴ニアリテハ其使用ニ從ヒ木材益收縮スルヲ以テ其  
ノ把手自ラ離脱スルニ至ル此時ハ金釘等ヲ用ヒズ竹皮ヲ  
以テ堅ク締ノ直シ置クベシ又漏斗投入スルヲ禁ズベシ  
衡器

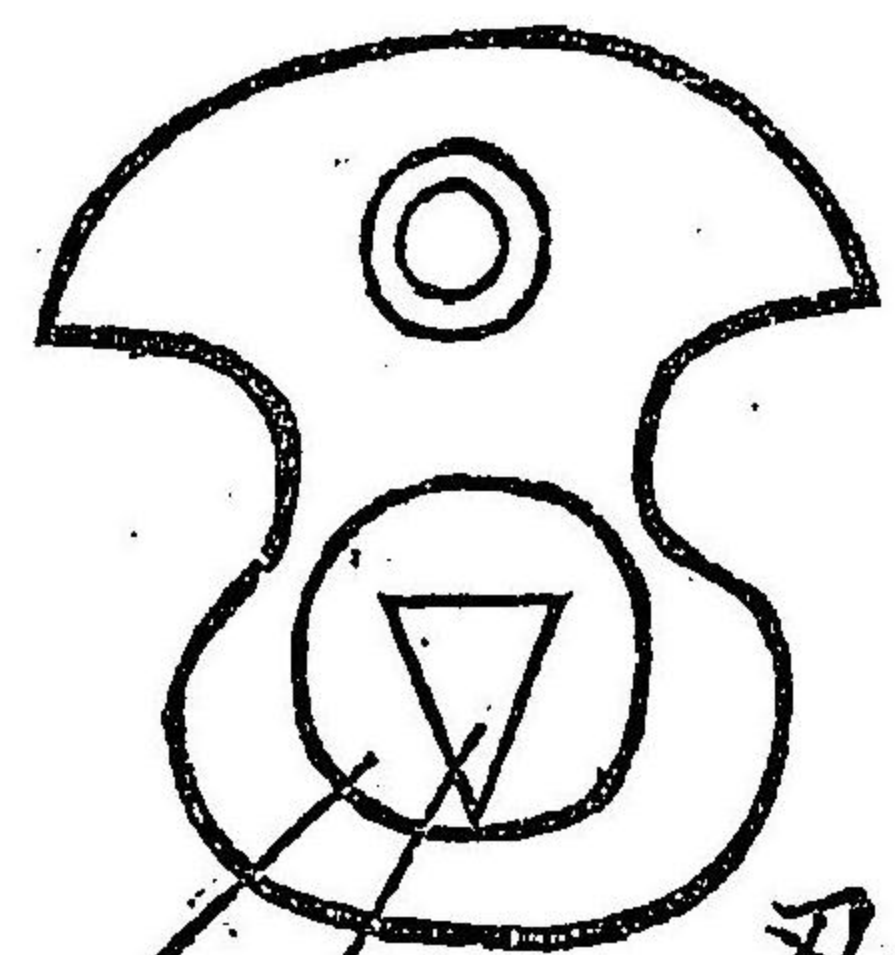
一、  
支点重点ノ刃及刃受ハ皆鋼鉄ニテ作りタルモノナルカ凡  
テ鉄類ハ金屬中ニテ殊ニ錆易キモノナリ元來錆ヲ生スル  
ト云フコトハ其ノ鐵ガ其レ丈ケ腐リ減スルコトナルヲ以  
テ使用後ハ時々其ノ要部ナル三ヶ所(支点ニ、重点ニ)  
ヲ能ク掃除シ水油ヲ塗り錆止メノ豫防ヲナスベシ

二、  
秤ヲ使用スル場合ニハ常ニ水平トセザルベカラズ常ニ商  
人等ノ取引ヲ見ルニ必ズ「撥子目」ニ使用シ以テ値以上  
アルコトヲ示ス之レ秤ニ對シテ頗ル悪シキ使用方ナリ何  
トナレバ支点重点ノ刃ハ圖ニ示セル如ク其尖端銳キヲ以  
テ常ニ「撥ネ目」ニ使用スレバ刃モ亦自ラ「撥子目」ニ  
磨滅シ從テ其ノ秤ハ「撥子目」トナリテ差狂ヲ生ズルニ  
至ル一度斜ニ磨滅シ掛ケタル後ハ又ト挽回スルコト能ハ  
ズ之レ吾人が日常下駄ノ齒ニテ實驗スル所ナリ  
三、  
砂糖商、味噌商ノ使用スル秤ハ他ノ商店ニテ使用スルモ  
ノニ比シ比較的早ク損傷シ不合格トナルコト多シ之レ一



支点及重点ニ於ケル

又ノ模様



又受

四、

ハ使用ノ頻繁ナルニ依ルベシト雖モ其多クハ支点重点ノ部分ニ砂糖、味噌ノ附着シテ刃ヲ腐蝕スルニアリ故ニ前記ノ商店ニアリテハ時々金屬ノ部分ノミチ熱湯中ニ浸シ(桿ハ決シテ湯中ニ浸スベカラズ)其ノ附着物ヲ洗滌シ然ル後刃及刃受ニ水油ヲ塗り錆止メノ豫防スベシ

五、

醫師等ノ使用スル骨秤又ハ天秤ニハ髓甲ニテ作りタル替皿アリ之レ本皿ノ損傷ヲ防グ手段ナルベシト雖モ元來髓甲ハ水分ヲ吸收スルコト多キヲ以テ甚シキモノニ至リテハ直点(ムダメ)ニ於テ公差以上ノ差狂ヲ生ズルモノ多シ故ニ常ニ注意シ水分ヲ吸收セザル様豫防スベシ獸肉商等ノ使用スル秤ヲ檢スルニ桿ノ重サヲ増スモノ多シ之レ樞材ガ脂肪分ヲ吸收シタル結果ニシテ之レ亦不合格トナルコトアリ此ノ商店ニアリテハ時々錘ヲ直点(ムダメ)ニ掛ケ差狂ヲ發見シタルトキハ苛性曹達ヲ湯ニ解カシ其ノ中ニ桿ヲ浸シ數分ノ後之ヲ洗濯シテ取り出シ直

六、接日光ニ曝スコトナクシテ乾燥スベシ  
 凡ソ秤ハ直接日光ニ曝シ或ハ水分ニ觸レシムベカラズ斯  
 クスレバ自然ニ桿ノ屈撓ヲ生ズルニ至ルヲ以テナリ

七、臺秤ハ取締規則ノ示ス所ニ依リ常ニ水平ヲ据付ケ直点ヲ  
 正シ置クベカラズ  
 八、臺秤ヲ運搬セントスレバ金臺ノ中ニアル二個ノ機械ニ重  
 ナル十三個ノ刃アルヲ以テ各刃端ノ磨滅ヲ防止スル爲メ  
 機械ト機械トノ重ナル部分ヲ結び付ケ又金臺ト金蓋トノ  
 間ニ繩等ヲ以テ堅ク詰メ其ノ搖動摩擦ヲ防グベシ

衡器ノ差狂ヲ容易ニ見ル方法

(桿秤)

一、錘ヲ直点ムダメニ懸ケ之ニ度量衡法施行令第十六條ニ規定  
 スル掛量ノ公差ノ四分ノ一(大凡一目ノ四分ノ一)以内ノ重量ヲ  
 加減スルモ其桿水平トナラザルモノ又ハ調子玉アルモノハ

之ヲ左右ニ移動シテ水平ナラザルモノハ不正器物ナリ

二、錘ヲ掛量(未緒ノ盛止量)ノ目盛ニ懸ケ之ニ相當スル物ヲ鈞又ハ皿ニ  
 載セテ水平ナラシメ而シテ桿ヲ上又ハ下ニ搾リテ掛量ノ二  
 百分ノ一半又ハ二百分ノ一以下ノ目盛アルモノハ其ノ目盛  
 ノ一度目半左又ハ右ニ移動シテ尙水平ヲ保ツモノハ不正器  
 物ナリ

三、同上ノ場合ニ於テ水平以上ニ感動ヲ起ストキハ掛量ニテ懸  
 ケシ物ヲ其儘ニ置キ之ヲ元緒ノ相當ノ目盛ニ懸ケ水平トナ  
 ラザルトキハ秤量(元緒ノ盛止量)ノ二百分ノ一又ハ二百分ノ一以下  
 ノ目盛アルトキハ其目盛ノ一度目半左又ハ右ニ移動シ尙  
 ホ水平トナラザルトキハ不正器物ナリ

四、同上ノ場合ニ於テ水平トナルトキハ錘ヲ秤量ノ目盛ニ懸ケ  
 之ニ相當スル物ヲ鈞ニ懸ケ又ハ皿ニ載セ水平ナラシメ而シ  
 テ桿ヲ上又ハ下ニ搾リテ秤量ノ二百分ノ一半又ハ二百分ノ  
 一以下ノ目盛アルトキハ其ノ目盛ノ一度目半左又右ニ移動

シテ水平ヲ保ツモノハ不正器物ナリ

(臺秤又ハ上皿桿秤)

- 一 上皿桿秤又ハ臺秤ヲ水平ニ据ヘ付ケ運錘ヲ真点ニ置キ之ニ度量衡法施行令第十六條ニ規定スル掛量ノ公差ノ四分ノ一(大凡一目ノ四分ノ一)以内ノ重量ヲ加減スルモ其桿水平トナラザルモノ又ハ調子玉アルモノハ之ヲ左右ニ移動シテ水平ナラザルモノハ不正器物ナリ
- 二 定量増錘附属ノ臺秤ニシテ直点ニテ水平ヲ保ツトキハ更ニ定量増錘ノ總テヲ臺ニ載セ運錘ヲ其重量相當ノ目盛ニ置キ一度目ノ二分ノ三ヲ左右ニ移動シテ水平トナラサルモノハ不正器物ナリ

(天秤)

- 一 天秤ヲ水平ニ据ヘ付ケ空懸ケニ於テ指針分度ノ中央ヲ指サハルトキハ感量ノ四分ノ一ノ重量ヲ加減シ又ハ調子玉アルモノハ之ヲ左右ニ移動シテ指針中央ヲ指サハルトキハ不正器物ナリ

器物ナリ

二 全上ノ場合ニ於テ指針中央ヲ指ストキハ左右ノ皿ニ物ヲ載セ平等ナラシメ次ニ其ノ物ヲ左右ニ交換シテ平等ナラザルトキハ感量ノ二分ノ三ノ重量ヲ増減シ尙ホ平等ナラザルモノハ不正器物ナリ

秤ノ寸法

種類	寸法			
	徑ト深サト同シキモノ	深サ徑ノ二倍ノモノ	深サ徑ノ二分ノ一ノモノ	深サ
一 勺	九、 <sup>分</sup> 三六	七、 <sup>分</sup> 四	二、 <sup>分</sup> 八二	五、 <sup>分</sup> 九二
二 勺	一一、 <sup>分</sup> 八二	九、 <sup>分</sup> 三六	一四、 <sup>分</sup> 八八	七、 <sup>分</sup> 四
五 勺	一六、 <sup>分</sup> 四	一六、 <sup>分</sup> 四	二五、 <sup>分</sup> 四六	一〇、 <sup>分</sup> 一〇

形		方		種類	寸	方	深	法	種類	寸	方	深	法
五合	二合五勺	二合	一合										
三九、五〇	三〇、五〇	二六、七七	二二、〇〇	一六、〇〇	方	深	方	深	一	斗	一五、〇〇	五八、八〇	
二〇、七七	一七、四二	一五、七四	一四、七〇	一二、六六	方	深	方	深	二	升	六二、七〇	三四、〇五	
		五	二	一	方	深	方	深	五	升	八三、四〇	四六、六〇	
					方	深	方	深	一	升	四九、〇〇	二七、〇〇	

七一

二斗五升	二七、三二	二七、三二
三斗	三五、二八	三五、二八

形		壻		種類	寸	方	深	法	種類	寸	方	深	法
二斗	一斗	五升	二升										
二八、一九	九三、八〇	七四、四五	五四、八六	四三、五四	四三、五四	四三、五四	四三、五四	四三、五四	二七、四三	二七、四三	二七、四三	二七、四三	二七、四三
	九三、八〇	七四、四五	五四、八六	四三、五四	四三、五四	四三、五四	四三、五四	四三、五四	二七、四三	二七、四三	二七、四三	二七、四三	二七、四三
				三三、五六	三三、五六	三三、五六	三三、五六	三三、五六	二二、七七	二二、七七	二二、七七	二二、七七	二二、七七
				六九、三二	六九、三二	六九、三二	六九、三二	六九、三二	四三、五四	四三、五四	四三、五四	四三、五四	四三、五四
									三四、五六	三四、五六	三四、五六	三四、五六	三四、五六
									四〇、四二	四〇、四二	四〇、四二	四〇、四二	四〇、四二
									三三、〇八	三三、〇八	三三、〇八	三三、〇八	三三、〇八
									三四、五六	三四、五六	三四、五六	三四、五六	三四、五六
									一七、二六	一七、二六	一七、二六	一七、二六	一七、二六
									二五、四六	二五、四六	二五、四六	二五、四六	二五、四六
									二〇、二二	二〇、二二	二〇、二二	二〇、二二	二〇、二二
									一六、〇四	一六、〇四	一六、〇四	一六、〇四	一六、〇四
									三三、〇八	三三、〇八	三三、〇八	三三、〇八	三三、〇八
									二五、四六	二五、四六	二五、四六	二五、四六	二五、四六
									一三、七三	一三、七三	一三、七三	一三、七三	一三、七三

七〇

●三重縣令第六號  
度量衡取締規則左ノ通改正ス

明治四十三年一月十五日

三重縣知事 有田 義資

度量衡取締規則

第一條 本則ニ於テ營業者ト稱スルハ度量衡器ノ製作、修覆又ハ販賣ノ免許ヲ受ケタル者ヲ謂ヒ使用者ト稱スルハ度量衡器ヲ取引若ハ証明ノ爲使用シ又ハ使用ニ供スル爲所持スル者ヲ謂フ

第二條 度量衡器第一種取締ハ度量衡器取締官吏ナシテ之ヲ執行セシメ第二種取締ハ度量衡器取締官吏、警察官吏又ハ市町村長ヲシテ之ヲ執行セシム

第三條 營業者ハ其ノ營業ノ種別及氏名ヲ明示シタル標札ヲ店頭ニ掲クヘシ

第四條 度量衡ニ關スル願届書ハ所轄郡市町村長ヲ經由スヘシ但シ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ此限ニアラス

一 檢定請求書

二 身元保証金ニ關スル書類

三 本則第七條ニ依ル願書

四 度量衡法施行細則第三十三條ニ依ル願書

第五條 營業者ハ様式第一號乃至第六號ニ依リ帳簿ヲ備ヘ事實發生ノ都度所定ノ事項ヲ記載シ毎月末合計シ更ニ毎年度(前年四月一日ヨリ其ノ年三月三十一日ニ至ル)末ニ於テ累計スヘシ

前項ノ帳簿ハ最終ノ附込終了後滿五ケ年間保存スヘシ

第六條 營業者ハ様式第七號ニ依リ前年四月一日ヨリ其ノ年三月三十一日ニ至ル一ケ年間ノ營業統計表ヲ調製シ四月二十日限り之ヲ知事ニ差出スヘシ但シ營業免許狀ヲ返納スル者ハ返納ト同時ニ其ノ營業期間内ニ於ケル統計表ヲ差出スヘシ

第七條 度量衡法施行細則第十八條第二項ニ依リ許可ヲ受ケ

ムトスル者ハ左ノ事項ヲ具シ出願スヘシ

一 工場外ニ於テ製作若ハ修覆ヲ爲ス事由並其ノ場所及從業豫定期日

二 製作若ハ修覆ヲ爲ス度量衡器ノ種類及個數

第八條 度量衡法施行細則第二十一條ノ届書ニハ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 修覆場ノ位置及修覆開始年月日

二 分銅ノ種類及個數

三 秤架其ノ他器具ノ種類及個數

前項ノ營業ヲ廢止シ又ハ其ノ事項ヲ變更シタルトキハ遲滞ナク知事ニ届出ツヘシ

第九條 營業者桿秤ノ緒紐ニシテ金屬ニ係ラサルモノ、修覆ヲ爲ストキハ左ノ手續ニ依リ直点ノ正否器差及感量ノ有無ヲ檢スヘシ

一 桿秤ヲ秤架ニ裝置シ錘ヲ直点ニ懸ケタル場合ニ於テ之

ニ 度量衡法施行令第十六條ニ規定スル掛量ノ公差ノ四分ノ一以内ノ重量ヲ加減スルモ其ノ睨ミ一致セス若ハ其ノ桿水平トナラサルモノハ不正ナルモノトス

二 錘ヲ盛止(掛量)ニ懸ケ之ニ相當スル分銅ヲ錘又ハ皿ニ加ヘタル場合ニ於テ其ノ睨ミ一致セス若ハ桿水平トナラサルトキ之ニ度量衡法施行令第三表又ハ第四表ノ公差ノ二分ノ三以内ノ重量ヲ加減スルモ尙其ノ睨ミ一致セス若ハ其ノ桿水平トナラサルモノハ公差以上ヲ超エル器差アルモノトス

三 盛出及秤量ニ於テモ亦前號ノ手續ヲ爲スヘシ  
四 盛止(掛量)及秤量ニ於テ之ニ相當スル分銅ヲ加ヘタル場合ニ度量衡法施行令第三表又ハ第四表ノ公差ノ二分ノ三ニ相當スル重量ヲ加フルモ規定ノ感動ヲ起サ、ルモノハ感量ナキモノトス

第十條 製作者、修覆者ハ度量衡法施行令第九條以外ノ度量

衡器ヲ修復シテ檢定ニ合格セサルトキ若ハ修復ヲ爲サスシテ  
テ依托者ニ還付シタルトキハ其ノ器物ノ種類(番號アルモノ  
ノハ其ノ番號)及還付ノ事由並所有者ノ住所、職業、氏名  
ヲ記載シ遲滞ナク知事ニ届出ツヘシ  
前項及度量衡法施行細則第二十三條第二項ニ依ル届書ハ所  
轄警察官署ヲ經由スヘシ

七六

第十一條 製作者、修復者ニ於テ度量衡器修復ノ依托ヲ受ケ  
タルトキハ正當ノ理由ナクシテ之ヲ拒ムコトヲ得ス

第十二條 營業者度量衡器ヲ賣渡シタルトキハ様式第八號ニ  
依リ証票ヲ作り其ノ甲ハ營業者ニ於テ二ケ年間之ヲ保存シ  
乙ハ毎日取纏メ翌月十日マテニ三重縣度量衡器檢定所ニ差  
出シ丙ハ賣渡ノ都度購入者ニ交付スヘシ但シ竹、木、麻製  
ノ度量器ニ限り賣渡シタル年月日販賣者ノ氏名ヲ其ノ器物ニ  
捺印シ証票ニ代フルコトヲ得  
前項ノ規定ハ度量衡器ノ修復ヲ爲シタル場合ニ之ヲ進用ス

但シ桿秤ノ緒紐ニシテ金屬ニ係ラサルモノ、修復ニ關シテ  
ハ此限リニアラス

第十三條 度量衡器ヲ購買シ又ハ修復ヲ依托スル者ハ其ノ住  
所、職業、氏名ヲ營業者ニ告知スヘシ

第十四條 左ノ各號ノ一ニ該當スル度量衡器ハ店舗、工場其  
ノ他取引若ハ証明ヲナス場所又ハ計量スヘキ物件ト同一ノ  
場所ニ置キ若ハ行商ノ際携帯スヘカラス

- 一 檢定證印ナキモノ
- 二 修復ヲ爲シタル後其ノ檢定ヲ受ケス又ハ檢定ニ合格セ  
サルモノ
- 三 變造シタルモノ
- 四 勅令ノ定ムル公差以上ノ差狂ヲ生シタルモノ
- 五 命令ノ定ムル構造ヲ具備セサルニ至リタルモノ
- 六 分離シ得ヘキ構造ノ器物ニシテ符號、番號ノ一致セザ  
ルモノ

七七



七 糟糠、鹽分、砂糖其ノ他著シキ附着物アルモノ 七八

八 度量衡器ニ紛ハシキモノ

第十五條 使用者ハ臺秤又ハ天秤、桿秤ニシテ其ノ臺アルモノハ常ニ之ヲ水平ニ据付ケ其ノ直点ヲ正シ置クヘシ

第十六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル度量衡器ハ度量衡法施行令第十三條ニ依ル第一種取締ノ場合ニ於テ之カ提出ヲナスコトヲ要セス但シ第一號ノ場合ニ於テハ豫メ取締官吏ノ承認ヲ受クヘシ

一、土地又ハ建物ニ取附ケタル度量衡器

二、玻璃製度量器

三、陶器、磁器、玻璃製量器

四、秤量ニ於テ其ノ一萬分ノ一以下ノ重量ヲ感スル天秤

第十七條 營業者、使用者ハ取締官吏、警察官吏又ハ市町村長ニ於テ取締上必要ト認め度量衡器ノ提出又ハ修覆ヲ命シタルトキハ其ノ命ニ從フヘシ

第十八條 本則ニ違反シ若ハ本則ニ依リテ發スル當該官吏員ノ命令ニ違背シタル者ハ拘留又ハ科料ニ處ス

附 則

第十九條 本則ハ明治四十三年一月二十日ヨリ之ヲ施行ス  
明治三十七年本縣令第十二號度量衡器取締規則ハ本則施行ノ日ヨリ之ヲ廢止ス但シ明治四十二年一月一日ヨリ全十二年三月三十一日ニ至ル營業報告書ニ付キテハ全則第六條ヲ適用ス

本年一月一日ヨリ全三月三十一日ニ至ル營業統計表ハ本則第六條ニ依リ差出スヘシ

第二十條 從來桿秤取締、錘系修覆ノ業ヲ營ミタル販賣者ハ更ニ本則第八條ニ依リ明治四十三年二月十日マテニ届出ヲ要ス

様式第一號ノ一

度量檢定請求簿











月計	

樣式第六號ノ三  
衡器小賣簿

月計	小賣 種類 番號	秤量 目盛 感量	製作者 記號 (又ハ 氏名)	小賣 價格	購買者 住所 職名	備考
	又ハノ 段ノ 目盛	又ハ 個數	又ハ 氏名	又ハ 價格	又ハ 業氏名	

樣式第七號ノ一  
自明治何年何月何日  
至明治何年何月何日  
度(量)(衡)器製作營業統計表

種別	前年 度持 越 高	縣内 卸賣 高	同上	縣外 卸賣 高	同上	小賣 價格	同上	差引 現在

計								

卸賣高内譯

計	形狀	物質	種別	個數	卸賣價格	卸賣先住所氏名

右之通相違無之候也  
年月日  
知事宛  
種別欄ニハ一、度器ハ直尺、曲尺、疊尺、卷尺、鏈尺、縮  
度(量)(衡)器製作者 何 某印  
九一

尺、鯨尺ニ量器ハ金屬、木材圓壩形、同方形、玻璃、陶器、磁器、「メスフラスコ」、「ビペット」、「ビュレット」、「メスシツンドル」斗概ニ衡器ハ天秤、上皿天秤、分銅、臺秤、上皿桿秤、桿秤、十分秤、自働秤其他ニ區分シテ記入スヘシ  
 二、他ノ製作品ヲ仕入卸賣又ハ小賣ヲナシタルモノハ様式第七號ノ三ニ之ヲ別表トナスヘシ  
 (注意) 種別欄ニ記入スヘキ事項以下之ニ準ス  
 様式第七號ノ二

自明治何年四月 度(量)(衡)器修覆營業統計表  
 至明治何年三月

種別	個數	修覆	料
計			

右之通相違無之候也

年月日

度(量)(衡)器修覆者 何

某印

知事宛

様式第七號ノ三

自明治何年四月 度(量)(衡)器販賣營業統計表  
 至明治何年三月

計	種別	前年度持越高		仕入高	販賣高	差引現在高
		縣内	縣外			
	製					
	製					
	製					
	價格					
	價格					
	價格					
	製					
	製					
	計					

仕入高内譯

形状	物質	種別	仕入簡數	仕入價格	製作者記號(又ハ氏名)	仕入先住所氏名



計									

右之通相違無之候也

年月日

度(量)(衡)器販賣者 何

某印

知事宛

様式第七號ノ四

自明治何年何月何日 桿秤ノ緒紐(金屬ニ係カラサルモ 至明治何年三月ノ) 修復營業統計表

種別	修復シタル箇所			器物箇數	修復料
	取緒	錘糸	皿紐		

備考	桿秤	
	貫	キログラム

右之通相違無之候也

年月日

衡器製作(修復)者 何

某印

知事宛

備考欄内ニハ度量衡法施行細則第二十三條第一項ニ依リ修復ヲ爲サ、リシ器物數ヲ記載スヘシ

様式第八號

甲 度(量)(衡)器賣渡証票 號

形 狀	物 質	種 別	製作者名 (又ハ記號)	番 號	箇 數	價 格

九六

右賣渡候也

年月日

住 所

度(量)(衡)器製作者

氏

名印

使用者住所氏名

契印

第 號

乙 度(量)(衡)器賣渡証票

形 狀	物 質	種 別	製作者名 (又ハ記號)

九七

番 號	箇 數	價 格

九八

右賣渡候也

年月日

住 所

度(量)(衡)器製作者 氏

名印

使用者住所氏名

契 印

第 號

丙 度(量)(衡)器賣渡証券

形 狀	物 質	種 別	製作者名 (又ハ記號)	番 號	箇 數	價 格

右賣渡候也

年月日

住 所

九九

度(量)(衡)器製作者  
販賣者 氏

名印

使用者住所氏名

此ノ證票ハ次回ノ第一種取締ノ時ニ器物ニ添ヘ提出  
スヘキモノナルヲ以テ其ノ期間内保存シ置クヘキモ  
ノトス

●三重縣訓令第一號

郡 市 役 所  
警 察 署  
警 察 分 署  
町 村 役 場

明治三十七年二月三重縣訓令第十六號度量衡器取締規則施行  
手續左ノ通改正ス

明治四十三年一月十五日

三重縣知事有田義資

度量衡取締規則施行手續

第一條 警察署長、分署長ハ半年毎ニ一回以上其ノ部内ニ於  
ケル度量衡器ノ營業者及使用者ニ對シテ普ク取締ヲ行ヒ其  
ノ成績ヲ毎年四月十日及十月十日マテニ様式第一號ニ依リ  
知事ニ報告スヘシ

第二條 警察署長、分署長ハ其ノ部内度量衡器第一種取締執  
行ノ場合ニハ巡查ヲ派遣シテ之カ取締ノ補助ヲナサシム  
ヘシ

第三條 警察署長、分署長ハ度量衡法施行細則第二十三條第  
二項又ハ三重縣度量衡取締規則第十條第一項ノ届出アリタ  
ルトキ其ノ器物ノ所有者管内ニ屬スルトキハ直ニ取締ヲ行  
ヒ届書ト共ニ其ノ顛末ヲ報告スヘシ

第四條 郡長ハ其ノ部内各町村ニ於ケル度量衡器ノ取締ニ關  
スル前年度ノ狀況ヲ様式第一號ニ依リ毎年四月二十日マテ  
ニ知事ニ報告スヘシ

第五條 市町村長ハ其ノ部内ニ於ケル度量衡器ノ第二種取締ヲ執行シ其ノ成績ヲ毎年四月十日マテニ様式第二號ニ依リ市長ハ知事ニ町村長ハ郡長ニ報告スヘシ

第六條 市町村長ハ第一種取締執行ノ場合ニハ左ノ各號ニ依リ補助ヲナスヘシ

- 一 第一種取締ノ告示アリタルトキハ當該市町村長ハ豫メ様式第五號ニ依ル提出告知書ヲ調製シ其ノ甲ハ検査開始前當該取締官吏ニ差出シ乙ハ普ク使用者ニ配布シ遺漏ナク検査ヲ受ケシムヘシ
- 二 検査期日二日以上ニ亘ルトキハ各受檢者ニ對スル日割ヲ定メテ之ヲ通知スヘシ
- 三 検査ニ必要ナル諸般ノ設備ハ知事ノ指示ニ依リ検査前日マテニ完整スヘシ
- 四 検査當日ハ主任書記ヲシテ検査場ニ出頭セシメ其ノ事務ヲ補助シ検査執行上支障ナカラシムヘシ

第七條 警察署及分署、派出所、駐在所ニハ様式第四號ニ依リ度量衡取締簿ヲ設備シ取締ノ便ニ供スヘシ

第八條 市町村長ハ様式第三號ニ依リ度量衡器使用者ノ臺帳ヲ備ヘ取締ノ都度所定ノ事項ヲ記入シ加除スヘシ

第九條 當該官吏第二種取締ヲ執行スル場合ニ於テ取締上必要ト認メ要求アリタルトキハ警察署長、分署長及市町村長ハ之ニ立會スヘシ

第十條 郡長、警察署長、分署長及市町村長ハ度量衡ニ關シ當該技術官ノ派遣ヲ必要ト認ムルトキハ其ノ場所及事實ヲ具シ知事ニ申請スヘシ

第十一條 市町村長ハ其ノ部内度量衡器ノ營業者及其ノ法定代理人ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ事實ヲ詳記シ遲滯ナク知事ニ報告スヘシ

- 一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ
- 二 度量衡法第十四條ノ刑ニ處セラレタルトキ



右及報告候也

年月日

一〇六

知事宛

郡警察署長 氏

名印

注意

度量衡器ノ製作者、修覆者、販賣者ノ處分竝度量衡法第十四條ノ犯罪ニ付テハ本表ヨリ之ヲ除キ其ノ違反事項毎ニ違反者ヲ區別シテ別表トナスヘシ

郡長ヨリノ報告書ニハ左ノ事項ヲ記入スヘシ

一 度量衡取締ニ關シ法令ノ趣旨ヲ指導シ又ハ講話ヲナシタルトキハ其ノ方法及成績ヲ各町村毎ニ分シテ詳記スヘシ

様式第二號

度量衡器第二種取締成績報告

計	總戸數	取締ヲ執行シタル戸數	檢閲シタル度量衡器ノ數		同上ノ内不正器物ノ數	
			度量衡器	計	度量衡器	計

違反者區別

種別	度量衡法違反	區分		人員
		告發	戒諭	
度量衡法施行細則第四十		告發		度量衡器ノ數
				計
				計

一〇七





注意 度量器 其ノ他ノ欄ニハ疊尺、鏈尺、縮尺等ヲ記入スヘシ  
一一一

計	器					計
	其他	分銅	天秤	臺秤	桿上秤皿	
/						/
/						/
/						/
/						/
/						/
/						/
/						/

斗概	器			量		計	器		
	製器陶 樹玻器 璃磁	製金 樹屬	樹	圓 形	木 形方		其他	卷尺	曲尺
						/			
						/			
						/			
						/			
						/			
						/			
						/			
						/			



表

一、提出者ハ裏面ノ提出書ニ住所職業氏名及器  
物ノ種類箇數記入ノ上之ヲ器物ニ添付シ其ノ  
器物ヲ右ノ期日ニ検査場ヘ差出スヘシ  
一、右ノ期日ニ器物ノ提出ヲ怠リタル者ハ度量  
衡法施行細則第五十五條ニ依リ貳拾圓未滿ノ  
科料ニ處セラルヘシ

分六寸五幅

受附第 號 何郡(市)町村  
度量衡器提出書

備考	器 物 箇 數			使 用 者		
	度	量	衡	住 所	職 業	氏 名
備考						

備考 裏面ノ度量衡器提出書中使用者ノ欄ニハ住所、職業、氏名ヲ記入シ配付スヘシ

「ヤード、ポンド」法度量衡比較表 一六

度	ヤード	ポンド	米
「インチ」(「フット」ノ十二分一)	八分三厘八毛二		米 〇、〇三五
「フット」(「ヤード」ノ三分一)	一尺〇〇五厘八毛四		米 〇、三〇四
「ヤード」	三尺〇二分七厘五毛二		米 〇、九二四
「チェーン」(「ヤード」ノ二十二)	十一間〇三寸八分五厘		米 二〇、二六八
「マイル」(「チェーン」ノ八十)	十四町四十五間〇八寸		米 一六〇、三四四
「ガロン」	二升〇九勺八四六		立 三、六五四
「グレイン」(「ポンド」ノ七千分一)	一厘七毛二八		瓦 〇、〇六四八
「オンス」(「ポンド」ノ十六分一)	七匁五分六厘		瓦 二六、三五
「ポンド」	百二十匁九分六厘		瓦 四三、六
「トン」(「ポンド」ノ二千二百四十)	二百七十貫九百五匁四分		一〇一、〇三四、五

諸願届書様式

○第一號

- 収入 度(量)(衡)器製作(度量衡器修覆)願  
 印紙 貼附シタル収入印紙ノ額金三拾圓(金拾五圓)
- 一 免許ヲ受ケムトスル者ノ住所氏名 道府縣郡市町村番地 何某(又ハ何會社)
  - 一 營業所ノ位置 道府縣郡市町村番地
  - 一 工場ノ位置 道府縣郡市町村番地
  - 一 工場ニ箇所以上アル場合ニハ一々列記スヘシ
  - 一 製作(修覆)セムトスル度量衡器ノ種類度(量)(衡)(度量衡)器
  - 一 製作(修覆)ノ用ニ供スル重ナル機械ノ名稱及員數別紙ノ通
  - 一 前記ノ各項ニ依リ度(量)(衡)器ノ製作(度量衡器ノ修覆)ノ業
- ヲ營ミ度候間御免許相成度附屬書類相添此段奉願候也 一七

年月日

右

一一八

又ハ何會社理事(代表者) 何 某印  
又ハ何某未成年ニ付後見人(親權者) 何 某印

農商務大臣(道廳長官、府縣知事)宛

附屬書類ノ表示

- 一度量衡法施行令第三條ニ關スル證明書 一通
- 工場ノ圖面 何通
- 製作(修覆)ノ用ニ供スル機械ノ明細書 何通
- 一免許ヲ受ケムトスル者ハ未成年者ナルヲ以テ後見人(親權ヲ行フ母カ)之ニ代リテ營業ヲ爲スコトニ付親族會ノ同意ヲ得タル書面 (妻ノ場合) 一通
- 一本營業ヲ爲スニ付夫ノ許可ヲ得タル書面 (法人ノ場合) 一通
- 一法人ノ登記簿ノ謄本(免訴後登記ヲ要スル法人ニ在リテハ總會ノ決議録) 一通
- 一定款ノ寫 一通
- 一何々 一通

○第二號

收入 度量衡器販賣願

印紙 貼附シタル收入印紙ノ額金拾圓

- 一免許ヲ受ケムトスル者ノ住所氏名 道府縣郡市町村番地 何某(又ハ何會社)
- 一營業所ノ位置 道府縣郡市町村番地
- 前記ノ場所ニ於テ度量衡器ノ販賣ノ業ヲ營ミ度候間御免許相成度附屬書類相添此段奉願候也

一一九

年月日

右

何

某印

(會社又ハ未成年者ニ在リ  
テハ第一號樣式ニ同シ)

道廳長官、府縣知事宛

附屬書類ノ表示

第一號樣式ニ同シ(但シ工場ノ圖面、機械明細書ヲ除ク)

○第三號

度(量)(衡)器製作(度量衡器修覆)販賣(免許事項變更認可願

一營業名目及營業者ノ氏名

度(量)(衡)器製作(度量衡器修覆)販賣(營業

一免許番號及免許年月日

何某(又ハ何會社)第 號、年 月 日

一變更セムトスル事項(新設セムトスル工場ノ位置)

營業所(工場)ノ位置道府縣郡市町

村番地ヲ道府縣郡市町村番地ニ變更セムトス

又ハ工場ヲ道府縣郡市町村番地ニ新設セムトス其他何々

前記ノ通度(量)(衡)器製作(度量衡器修覆)販賣(免許事項變更致度候間御認可相成度(附屬書類相添)此段奉願候也

年月日

右

何

某

(會社又ハ未成年者ニ在リ  
テハ第一號樣式ニ同シ)

農商務大臣(道廳長官、府縣知事)宛

附屬書類ノ表示(製作、修覆ニ限リ之ヲ要ス)

一(工場ノ圖面)

○第四號

收入 度(量)(衡)器製作(度量衡器修覆)販賣(免許狀  
印紙 書換願

貼附シタル収入印紙ノ額金五拾錢

一三三

一 營業名目及營業者ノ氏名

度(量)(衡)器製作(度量衡器修覆)  
〔販賣〕營業

何某(又ハ何會社)

一 免許番號及免許年月日

番 號、年 月 日

一 營業所ノ位置

道府縣郡市町村番地

一 免許狀ノ書換ヲ要スル理由

前戸主何某年月日何々

(死亡、隱居)シタルニ因リ其ノ

免許ヲ受ケタル度(量)(衡)器製

作(度量衡器修覆)販賣〔營業ヲ

承繼シタルニ依ル

前記ノ理由ニ依リ度(量)(衡)器製作(度量衡器修覆)販賣〔(免

許狀書換相成度附屬書類相添此段奉願候也

年 月 日

何 某 印

(會社又ハ未成年者ニ在リ)  
テハ第一號様式ニ同シ)

農商務大臣(道廳長官、府縣知事)宛

附屬書類ノ表示

一 戶籍謄本

其ノ他ハ第一號様式ニ同シ

○第五號

收入 度(量)(衡)器製作(度量衡器修覆)販賣〔免許狀

印紙 更正願

貼附シタル収入印紙ノ額金貳拾錢

一 營業名目及營業者ノ氏名

度(量)(衡)器製作(度量衡器修覆)  
〔販賣〕營業

何某(又ハ何會社)

一 免許番號及免許年月日

番 號、年 月 日

一 營業所ノ位置

道府縣郡市町村番地

一 免許狀ノ更正ヲ要スル理由

年月日何々(改名、養子)  
ニ

因リ氏名(舊)ヲ氏名(改)ニ改姓(名)シタルニ依ル

前記ノ理由ニ依リ度(量)(衡)器製作(度量衡器修覆)販賣〔免

一三三

許狀更正相成度附屬書類相添此段奉願候也

一三四

年月日

右

何

某印

農商務大臣(道廳長官、府縣知事)宛

(會社又ハ未成年者ニ在リ  
テハ第一號樣式ニ同シ)

附屬書類ノ表示

一 戶籍謄本

其ノ他第一號樣式ニ同シ

○第六號

一通

收印  
入紙

度(量)(衡)器製作(度量衡器修復「販賣」)免許狀  
再下附願

貼附シタル收入印紙ノ額金五拾錢

一 營業名目及營業者ノ氏名

度(量)(衡)器製作(度量衡器修復  
「販賣」)營業

一 免許番號及免許年月日

何某(又ハ何會社)  
番號、年月日

一 營業所ノ位置

道府縣郡市町村番地

一 免許狀再下付ヲ要スル理由

年月日何々ニ因リ亡失シ

(汚損ノ爲免許狀ノ文字

判明セサルニ致リ)タル

ニ依ル

前記ノ理由ニ依リ免許狀亡失(汚損)致候ニ付再下付相成度

(別紙汚損シタル免許狀相添)此段奉願候也

右

年月日

何

某印

農商務大臣(道廳長官、府縣知事)宛

(會社又ハ未成年者ニアリ  
テハ第一號樣式ニ同シ)

桿秤緒紐修覆届

一 營業名目及營業者ノ氏名

度量衡器販賣者 何 某印

一 免許番號及免許年月日

第 號 年 月 日

一二五



一 修覆場ノ位置及修覆開始年月日

一二六

三重縣 郡市 町村 番地  
明治 年 月 日

一分銅ノ種類及箇數

五貫	何箇	二貫	何箇
一貫	何箇	五百匁	何箇
二百匁以下		十九箇	一組
下壹厘迄		二十箇	一組
五百グラム以下			
一センチグラム迄			

一 秤架其ノ他器具ノ種類及箇數

秤架	何箇	鉢	何箇
ヤットコ	何箇	何々	何箇

今般度量衡法施行令第六條第二項ニ依ル桿秤ノ修覆  
營業致候間此段御届仕候也

年 月 日 右 何 某 印

### 知事宛

桿秤ノ緒紐ニシテ金屬ニ係ラサルモノ、修覆ニ關シ「メートル」法分銅備付省略ノ義ニ付認可願

度量衡器販賣營業者

何 某

- 一 營業名目及營業者氏名
- 一 營業所ノ位置 道府縣郡市町村番地
- 一 免許番號及免許年月日 第 號 年 月 日
- 一 認可ヲ受ケントスル理由 當地方ノ情況ニ依レハ元來

「メートル」法ニ屬スル桿秤ハ使用者少數ニシテ希ニ使用スルモノアルモ製作者ニ就テ修覆スルノ習慣ニ有之從テ之ニ要スル分銅必要無之ニ依ル

前記ノ理由ニ依リ「メートル」法分銅備付省略ノ義御認可相成  
度度量衡法施行細則第廿一條第二項但書ニヨリ此段奉願候也

年月日

知事宛

何 某 印

○第七號

製作(修覆)(輸入又ハ移入)シタル度器(量器)  
(衡器)(度量衡器)ニ附スヘキ記號(記號變更)届

度器(量器)(衡器)製作

一營業名目及營業者氏名 (度量衡器修覆)販賣(營業者)

何 某(會社)

一營業所ノ位置

道府縣郡市町村番地

一免許番號及免許年月日 第 號 年 月 日

三寸三分 厚紙白紙

票箋 八分

地方 記號 何々營業者 何 某(何々會社)印

前記ノ通記號相定メ(記號變更)候間此段御届仕候也

年月日

何 某 印

農商務大臣宛

○第八號

度器(量器)(衡器)製作營業(度器衡器修覆)  
「販賣」營業ヲ承繼セサル儀ニ付届

一營業名目及營業者氏名 (度量衡器修覆)販賣(營業者)

何 某

一營業所ノ位置

道府縣郡市町村番地

一二九

一 免許番號及免許年月日 第 號 年 月 日

一 營業ヲ承繼セサル理由

前記營業者何某カ明治年月日死亡(隱居、何々)相續(遺産相續)ノ處(家事ノ都合ニ依リ營業ヲ承繼セサルニ依ル)施行令第三條第一項第何號ニ該當スル者ニ有之候爲營業ヲ承繼スルヲ得サルニ依ル)

前記ノ理由ニ依リ度量器(量器)(衡器)製作營業(度量衡器修覆「販賣」營業)ヲ承繼不致(承繼スルヲ得サルニ依リ)免許狀何通返納此段御届仕候也

年 月 日

右何某相續人(遺産相續人)  
(何某未成年ニ付親權ヲ行フ  
父、母、後見人)

何 某 印

農商務大臣(道廳長官、府縣知事)宛

○第九號

工場外ニ於テ衡器(度量器)(量器)製作

(修覆)ノ議許可願

一 製作(修覆)セムトスル衡器(度量器)(量器)ノ種類及個數

無容 何 個

一 製作(修覆)セントスル場所 道府縣郡市町村番地

(何 某 方)

一 製作(修覆)從業豫定期日 自何年何月何日  
至何年何月何日

一 工場外ニ於テ製作(修覆)ヲ要スル事由

前記ノ衡器(度量器)(量器)何々ノ爲取附ケスル場所(取附ケタル場所)ニ於テ製作(修覆)スル必要アルニ依ル

前記ノ通工場外ニ於テ衡器(度量器)(量器)ノ製作(修覆)致度候間御許可相成度附屬書類相添此段相願候也

營業所在地道府縣郡市町村番地

年月日

衡器(度器)(量器)製作者(修覆者)

一三三

何 某印

道廳長官、府縣知事宛

○第十號

營業所外ニ於テ度量衡器販賣ノ儀許可願

一販賣セントスル度量衡器ノ種類

一販賣ヲ爲サントスル場所

何處ニ於テ開催ノ何々博覽會(何々共進會)(及其賣店)前記何々博覽會(何々共進會)ニ前記度量衡器ノ出陳ノ許可ヲ受ケ候ニ付(及其ノ賣店ニ於テ販賣ノ許可ヲ受ケ候ニ付)營業所外ニ於テ販賣ノ儀御許可相成度附屬書類相添此段相願候也

年月日

營業所所在地道府縣郡市町村番地  
度器(量器)(衡器)製作者  
(度量衡器販賣者)

何 某印

道廳長官、府縣知事宛

○第十一號

度器衡器處分ノ儀ニ付願

元度器(量器)(衡器)製造營業者

(度量衡器修覆「販賣」營業者)

何 某(何會社)

一處分セムトスル度量衡器ノ種類形狀物質個數

直尺 竹 全長二尺 何本

榊 方形木製(穀用)一升 何箇

桿秤 檜製 秤量何貫 何箇

一處分ノ方法

前記度量衡器ヲ道府縣郡市町村番地何某へ讓渡サントス  
(前記度量衡器ハ前キニ營業中道府縣郡市町村番地何某ヨリ製作請負(修覆ノ依頼ヲ受ケ)候處引取無之爲殘存致候ニ付今般同人へ引渡ヲ爲サントス)

一三三

一引渡ヲ爲ス豫定月日及引渡方法

明治 年 月 日道府縣郡市町村番地拙者倉庫ニ於テ  
(何處ニ於テ)讓受人ニ引渡ス見込  
明治 年 月 日何營業廢止(免許消滅)ニ付其ノ旨御  
届致候處其ノ際營業上所持シタル度量衡器前記ノ通殘存  
致候ニ付前記ノ方法ニ依リ處分致度候間御認可相成度此  
段相願候也  
年 月 日

道廳長官、府縣知事宛

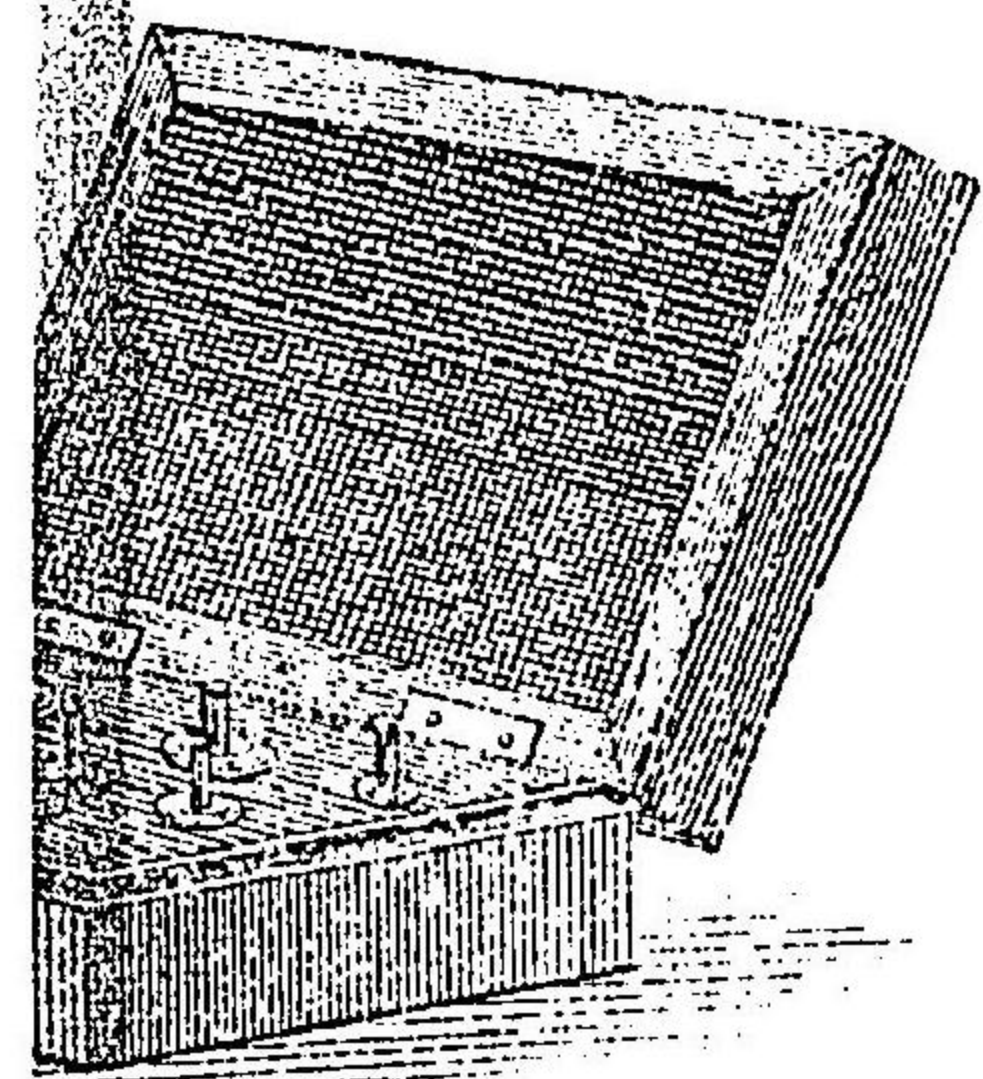
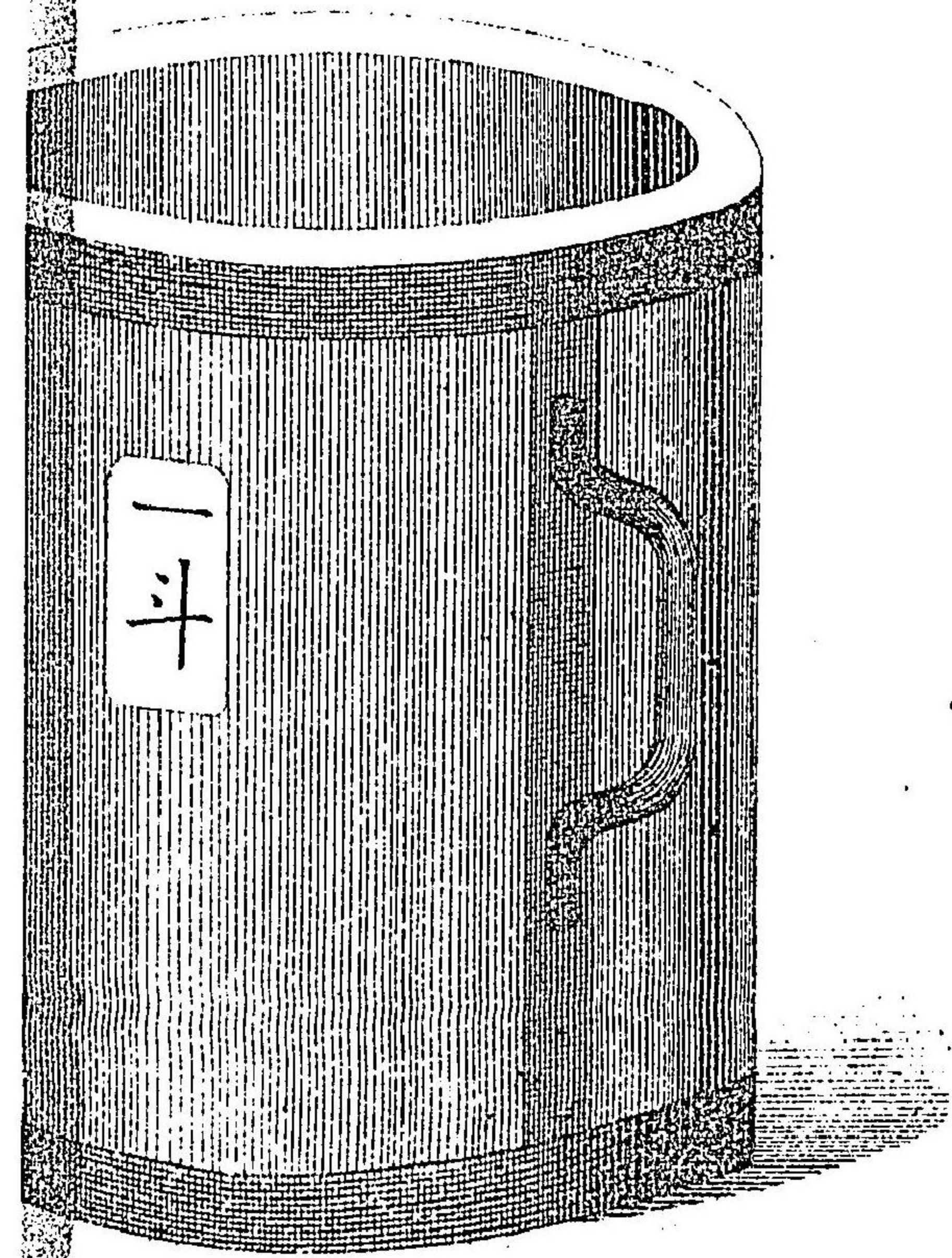
道府縣郡市町村番地  
度量衡器販賣營業者

何

某印

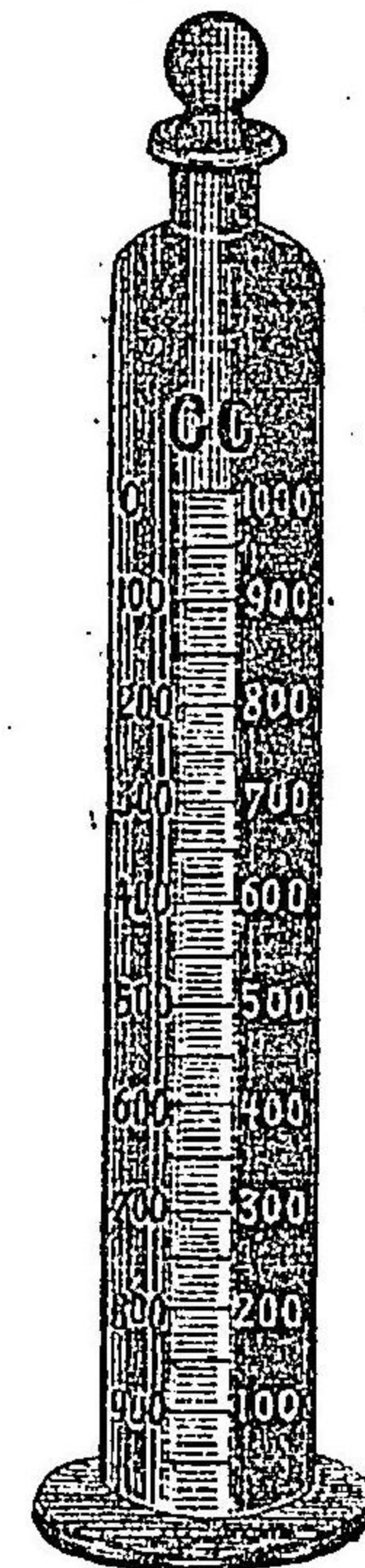
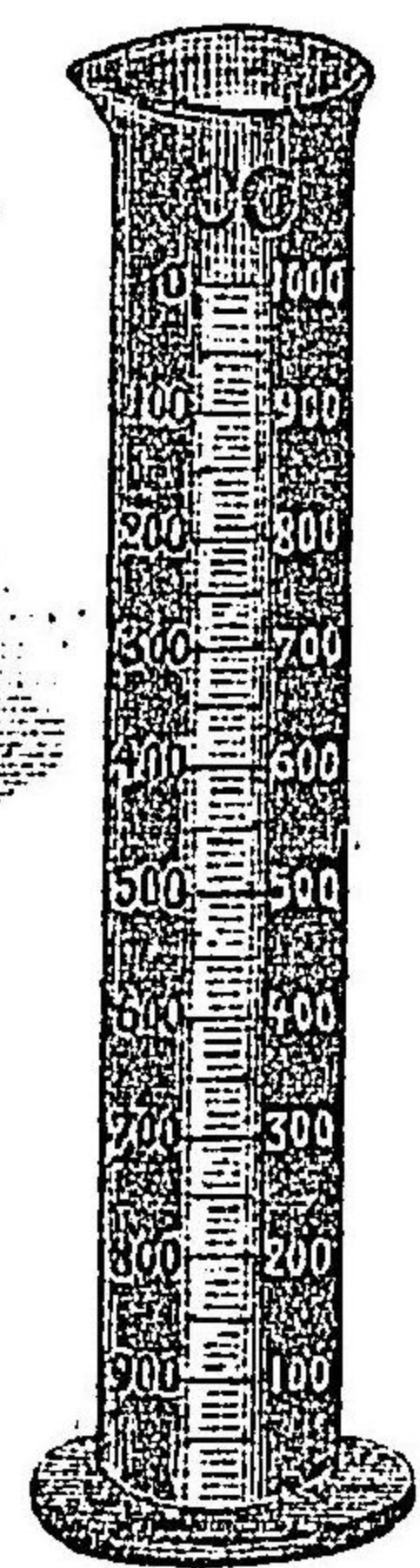
度量衡取締要項終

木製圓形坩堝



鐵(葉)製圓形坩堝

「メスシリンドル」



「ピペット」

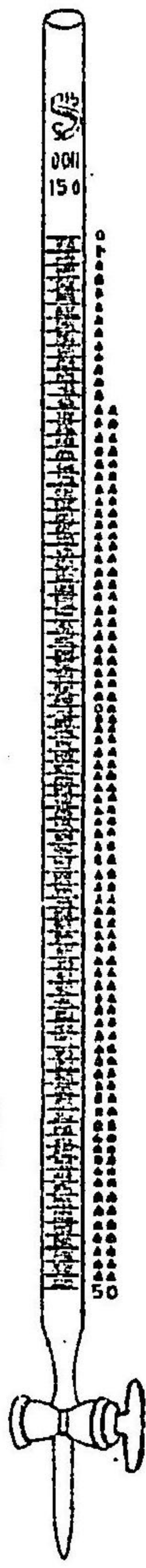
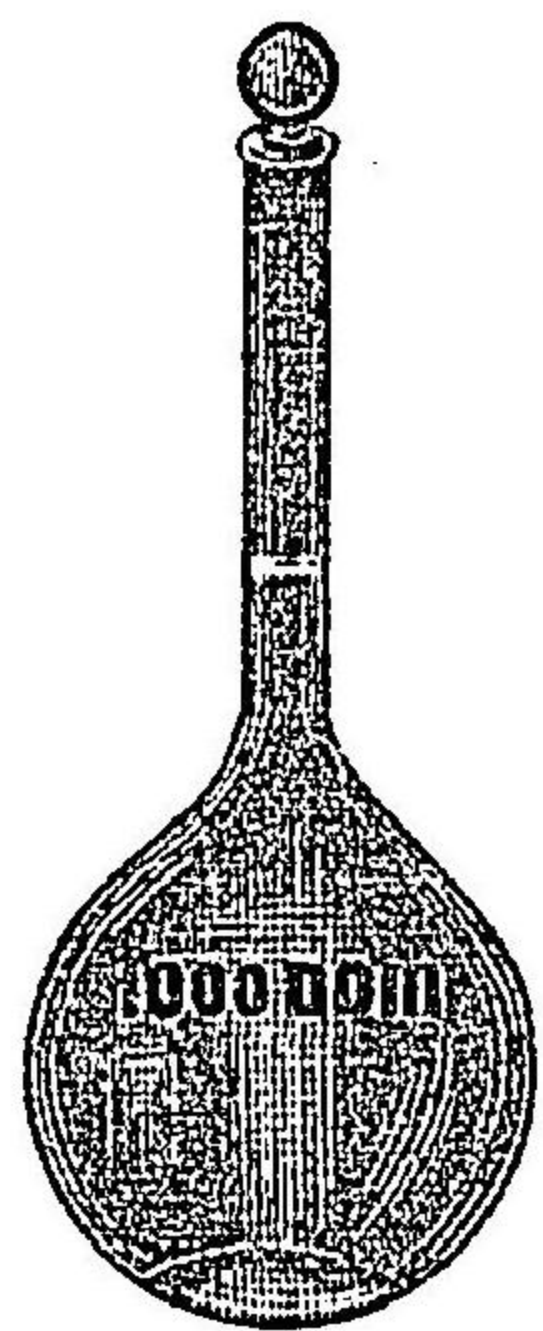


「ピペット」

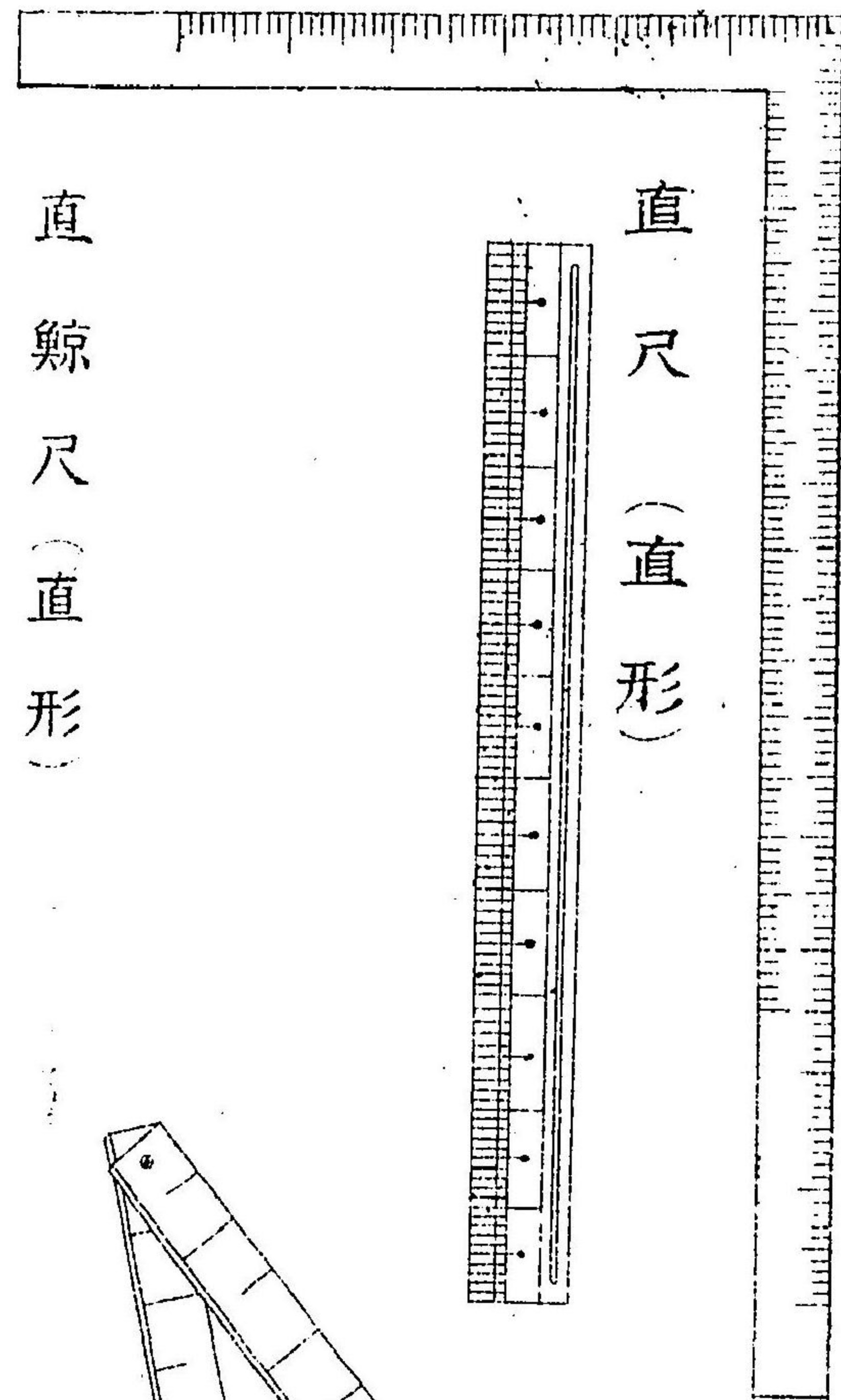
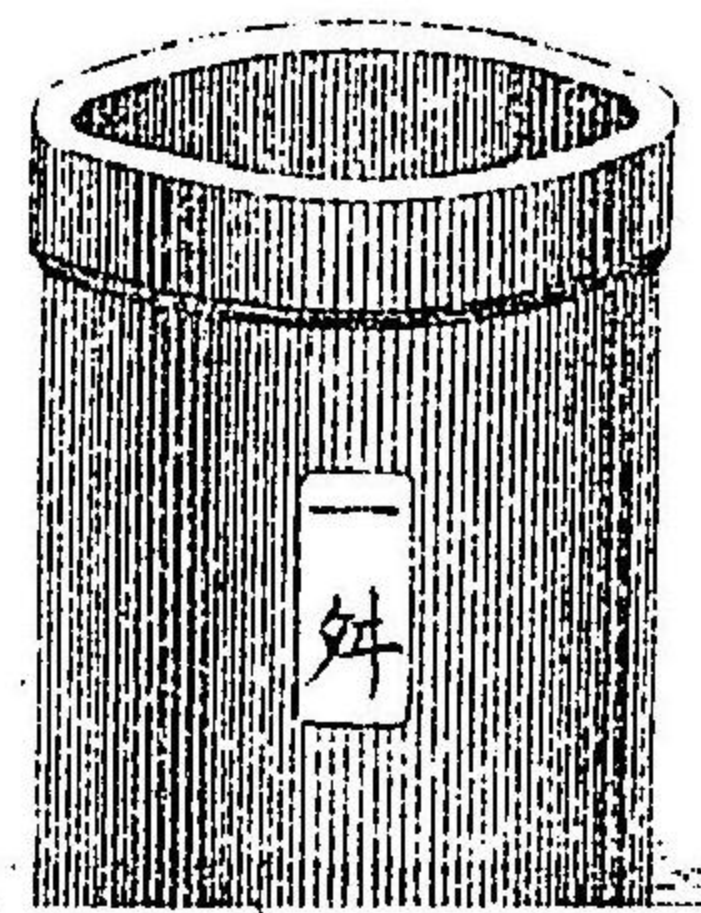


「トッレユピ」

「メスフラスコ」



圓形坩堝金屬製



直尺 (直形)

直尺 (直形)

曲尺 (直角形)

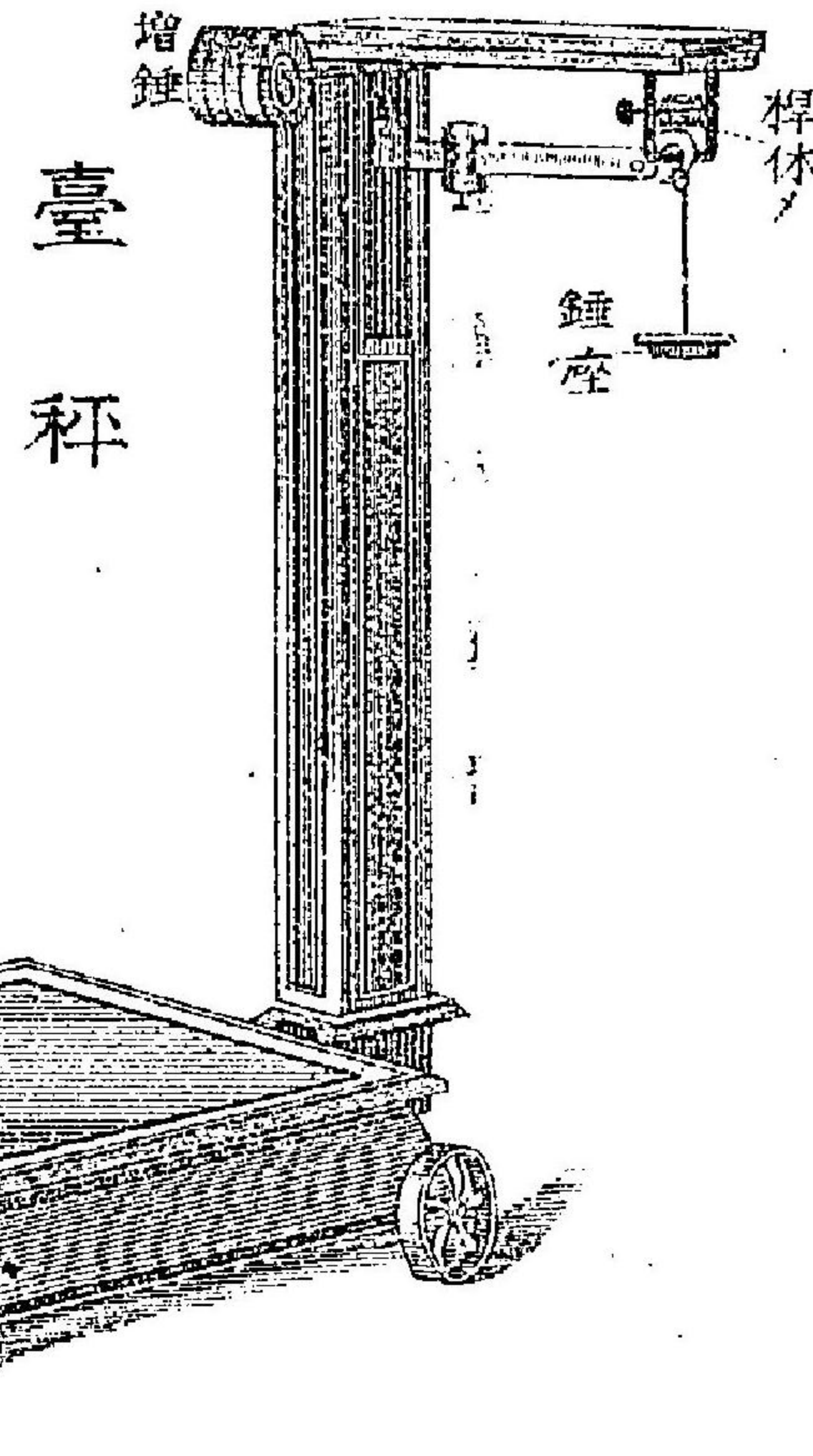
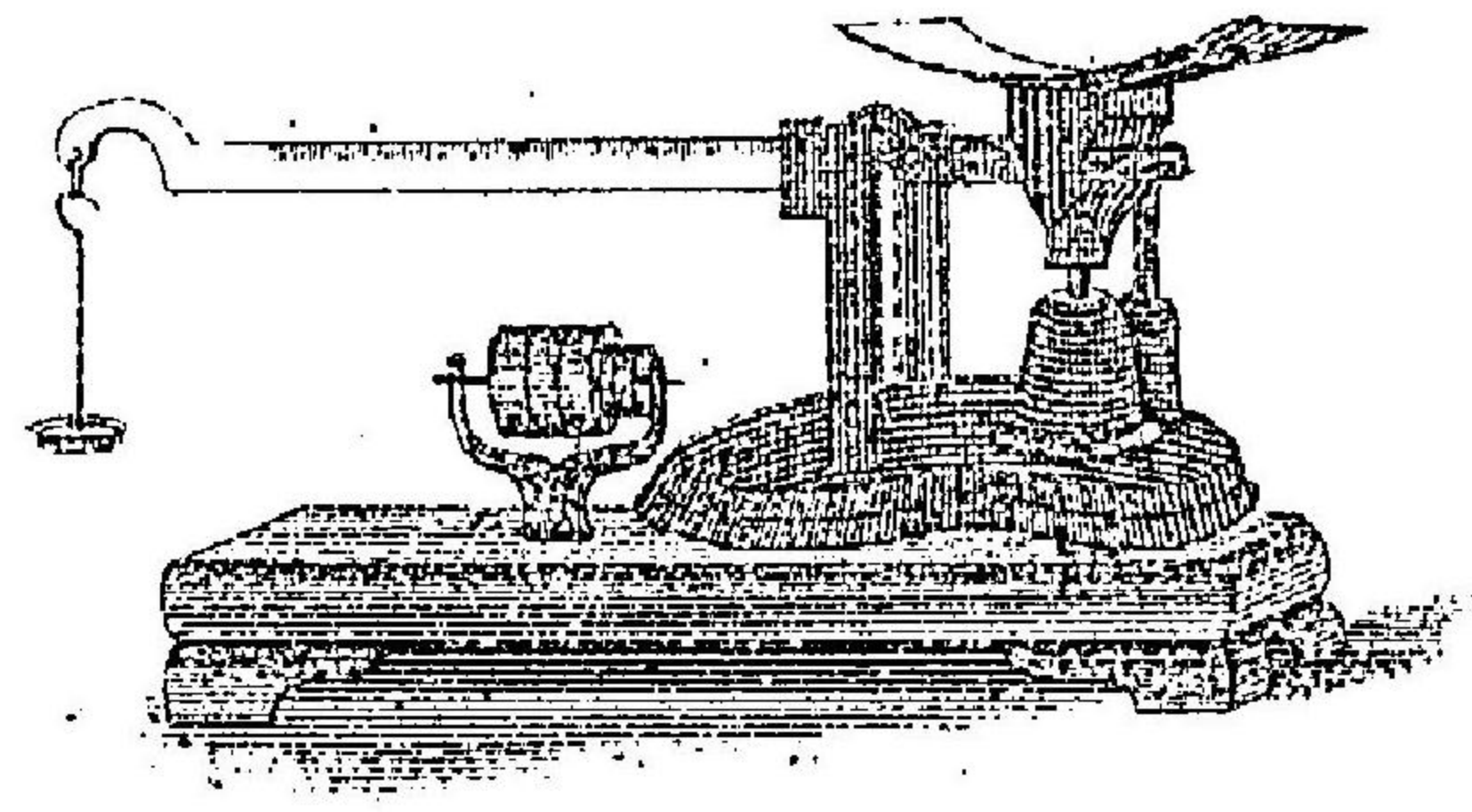
疊尺 (連接直形)

疊尺

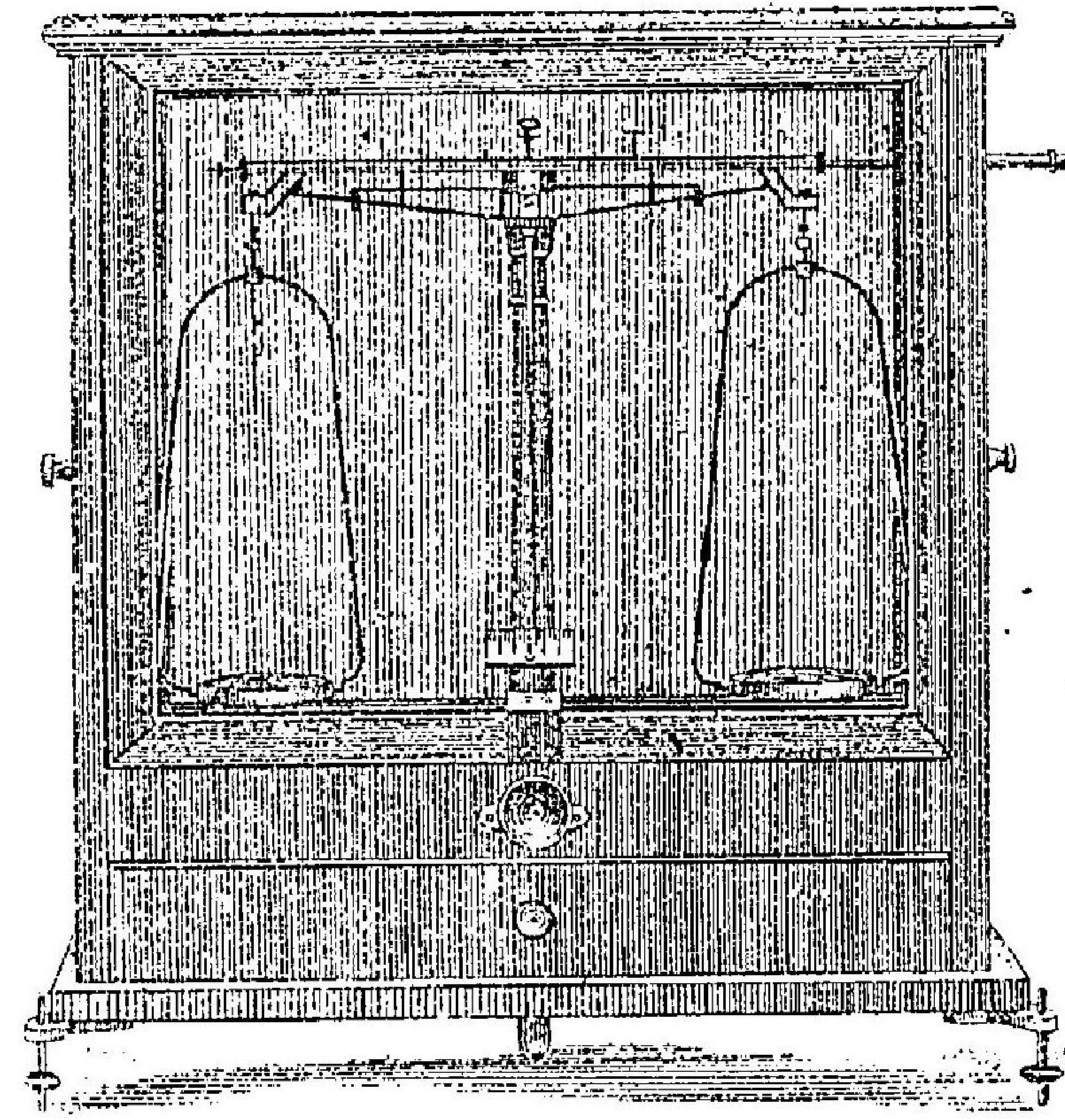
疊尺 (連接直形)



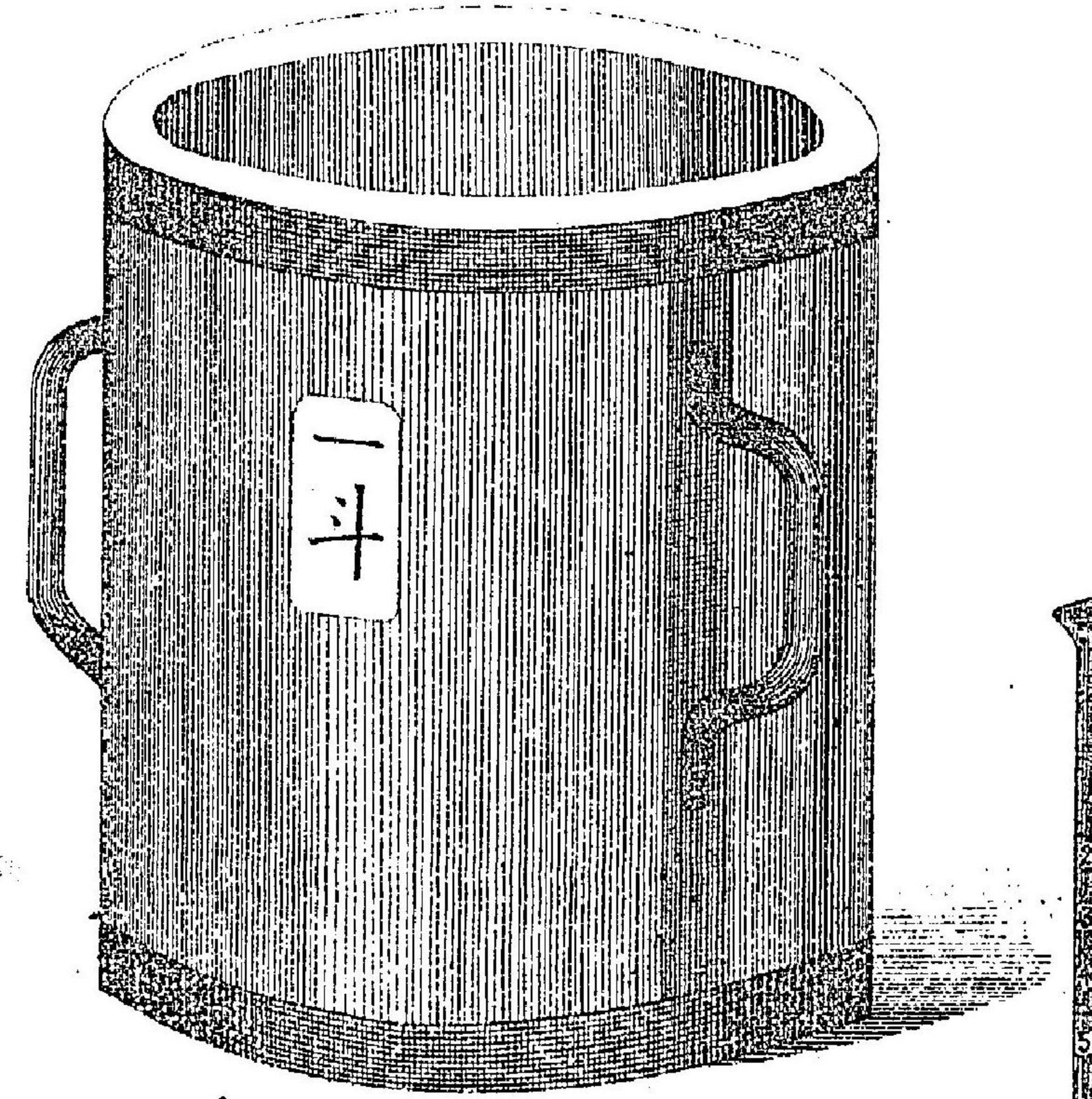
秤桿皿上属金



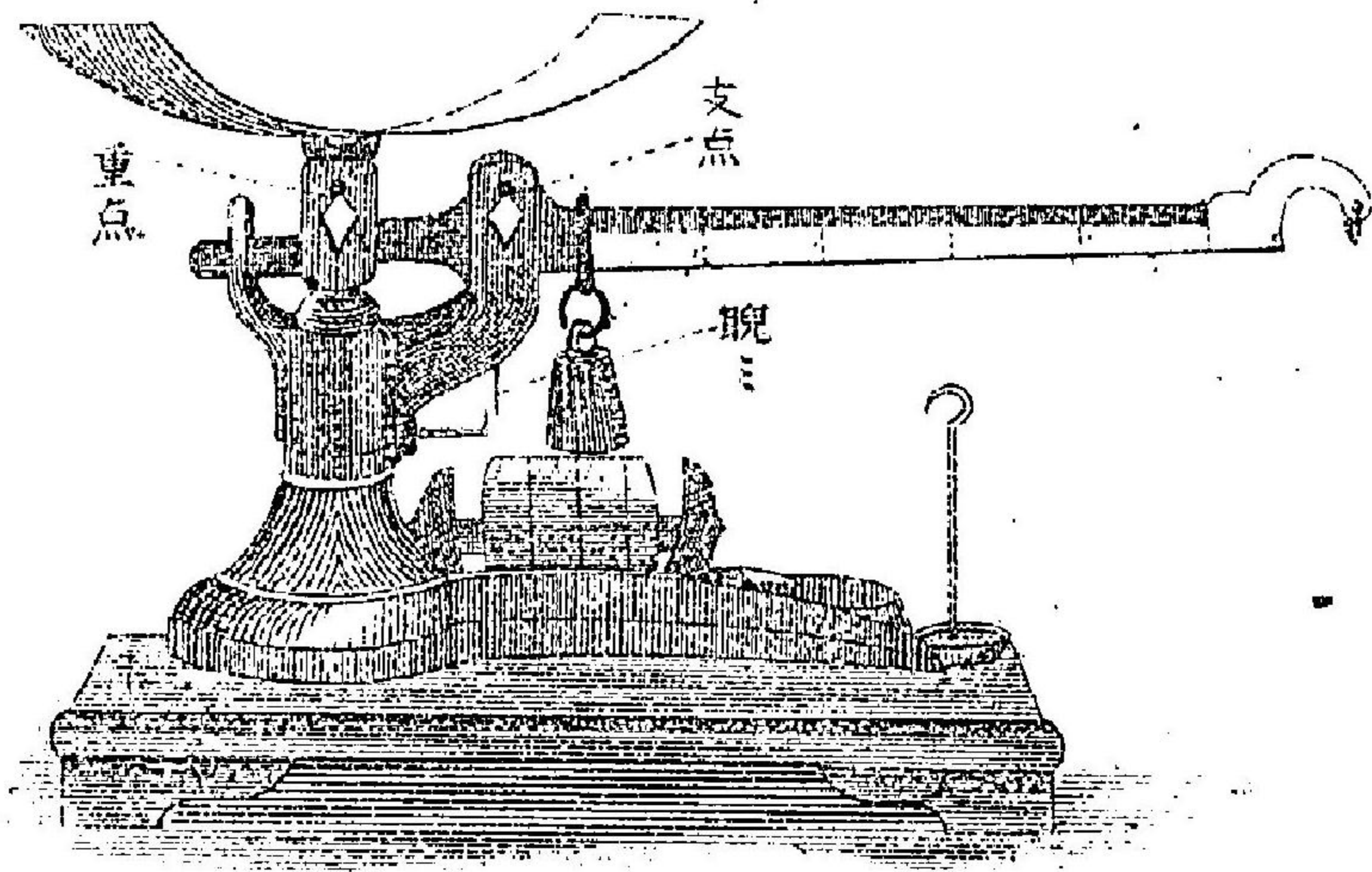
秤天



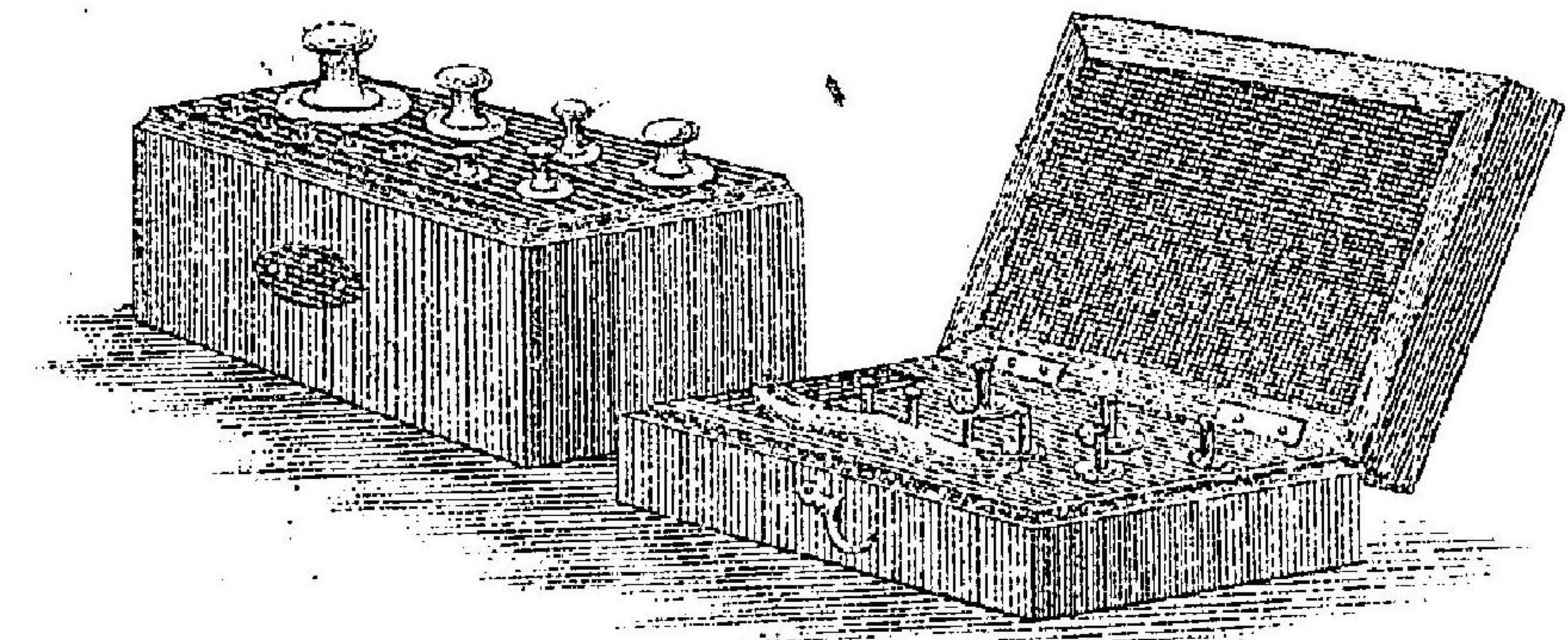
柶製木形壻圓



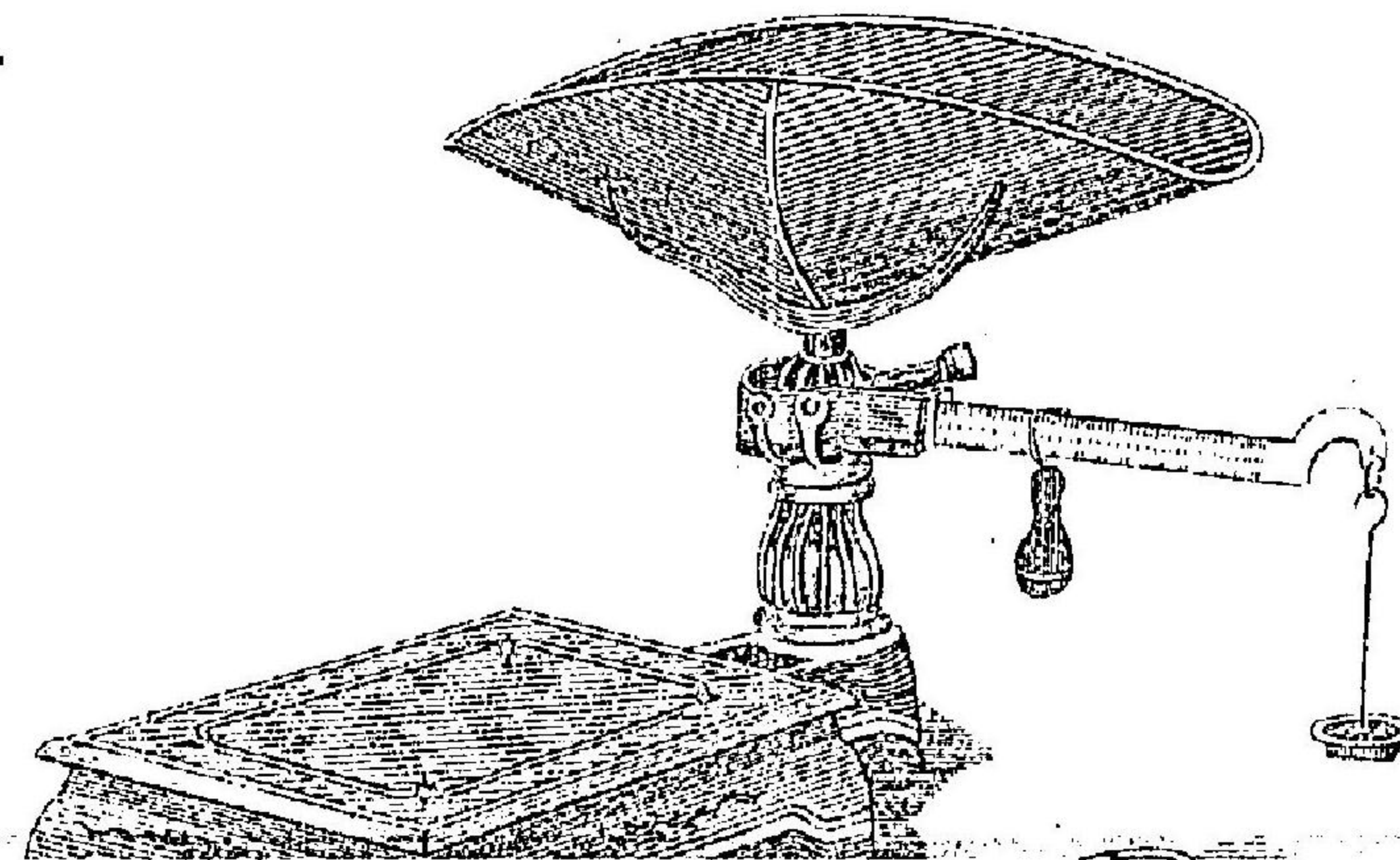
秤桿皿上属金



銅分



秤臺付皿

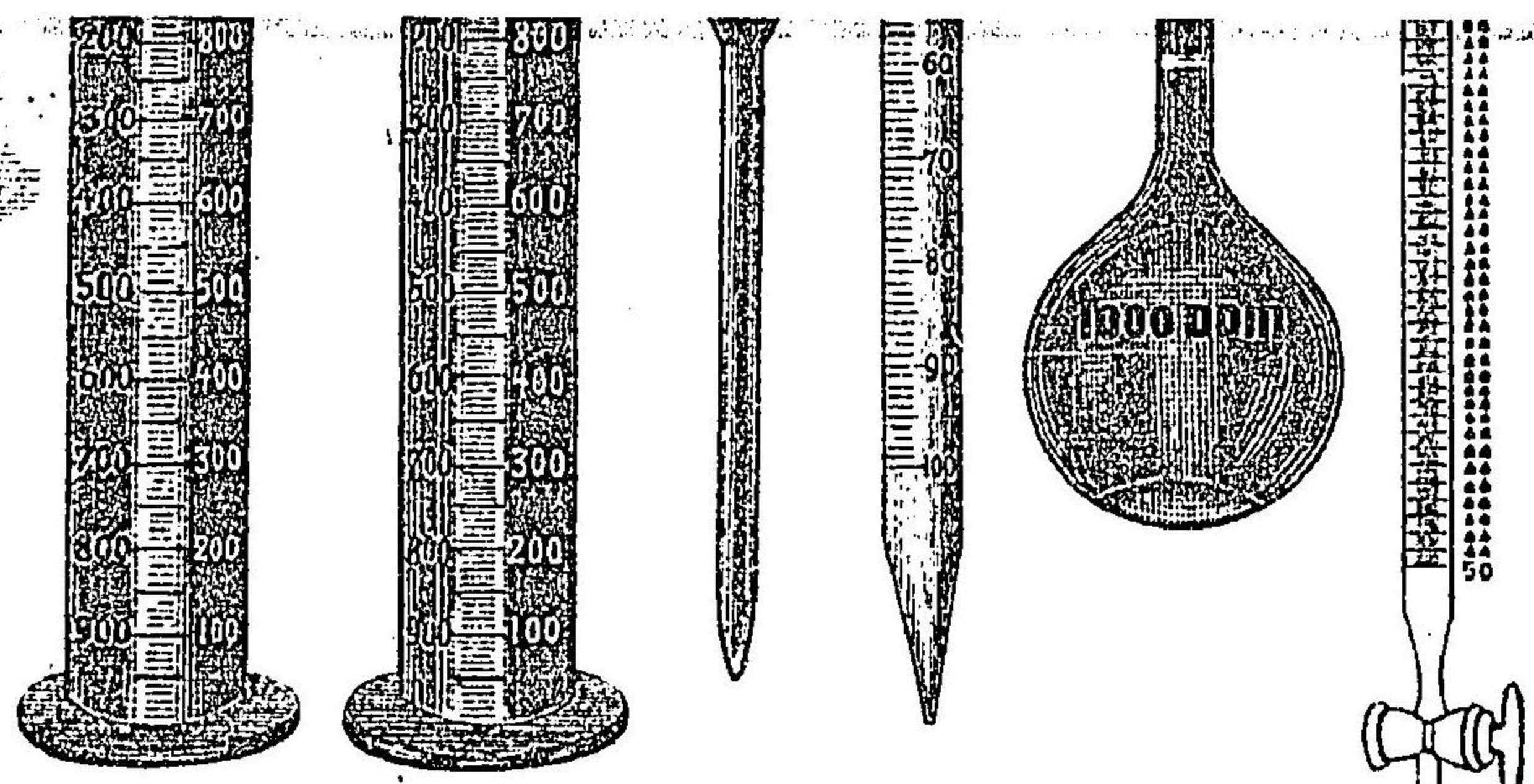
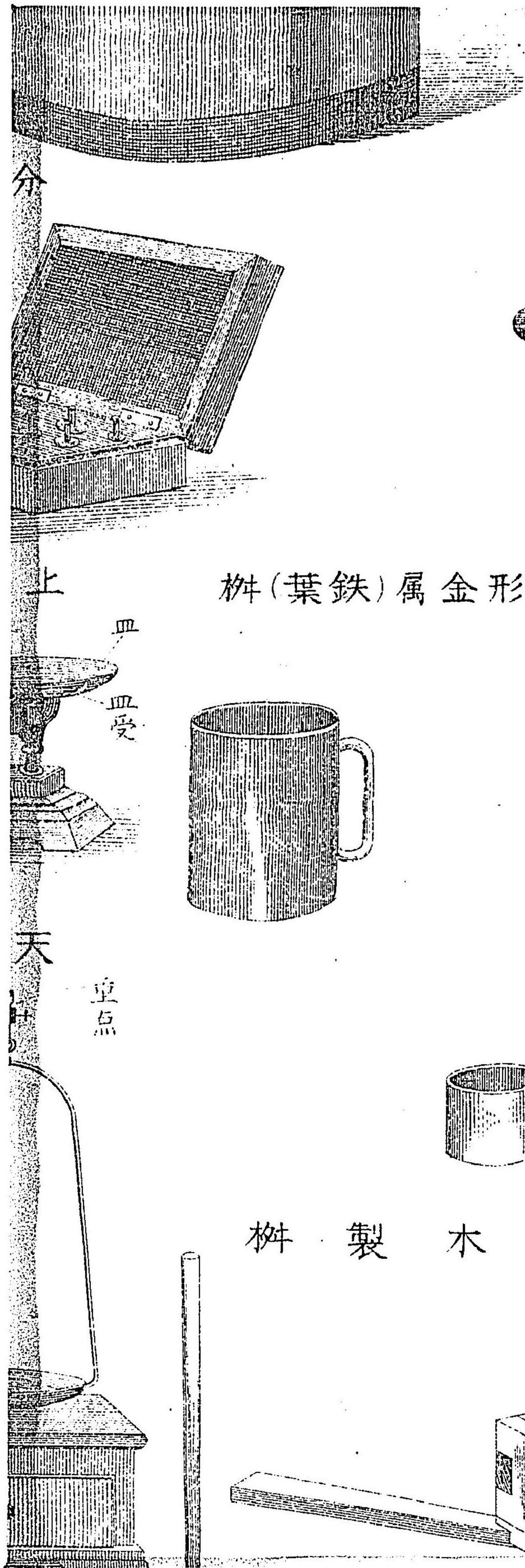


秤天 皿上

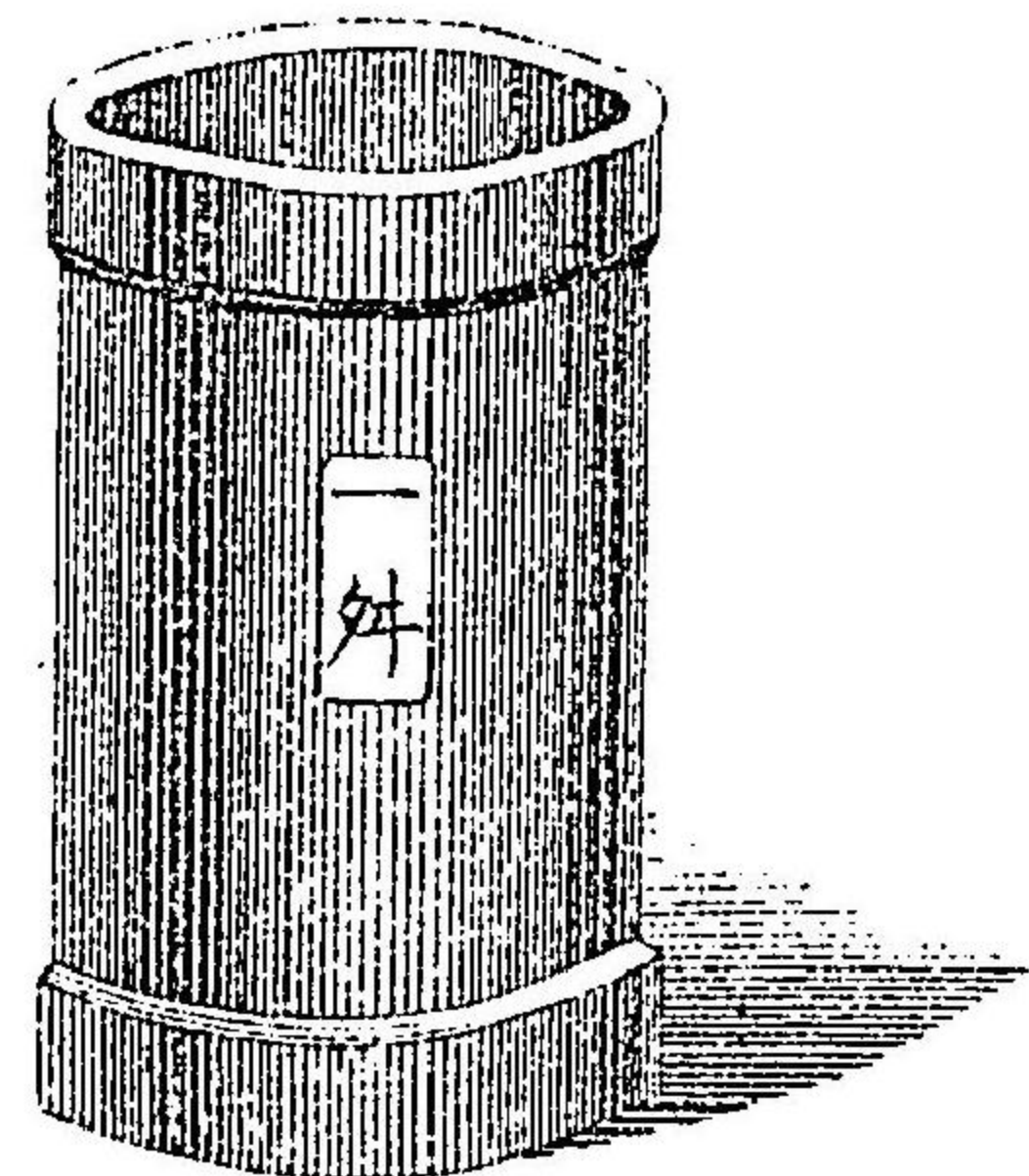
柶(葉鉄)属金形壻



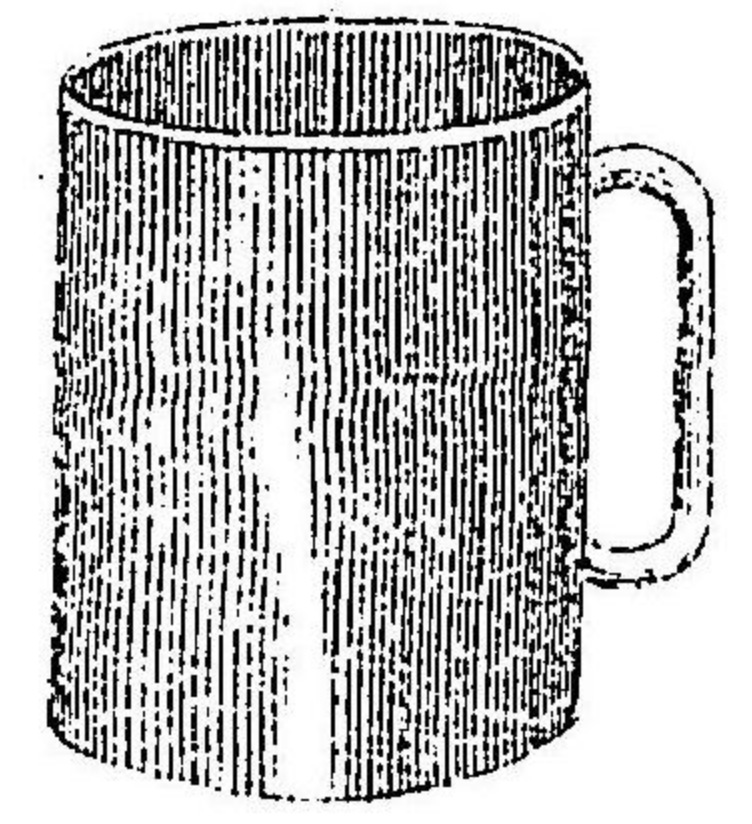
秤 桿 属 金



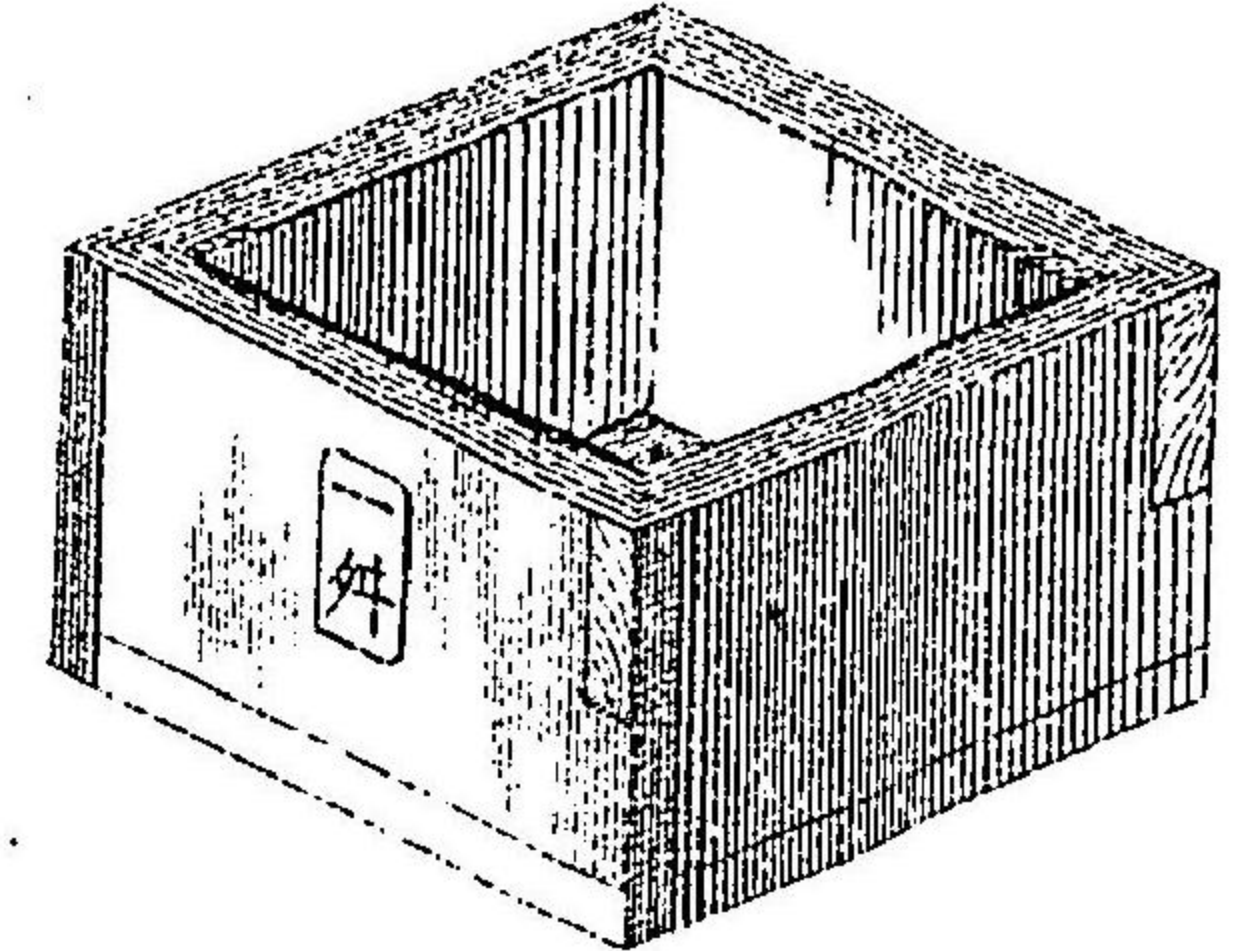
柘製属金形壙圓



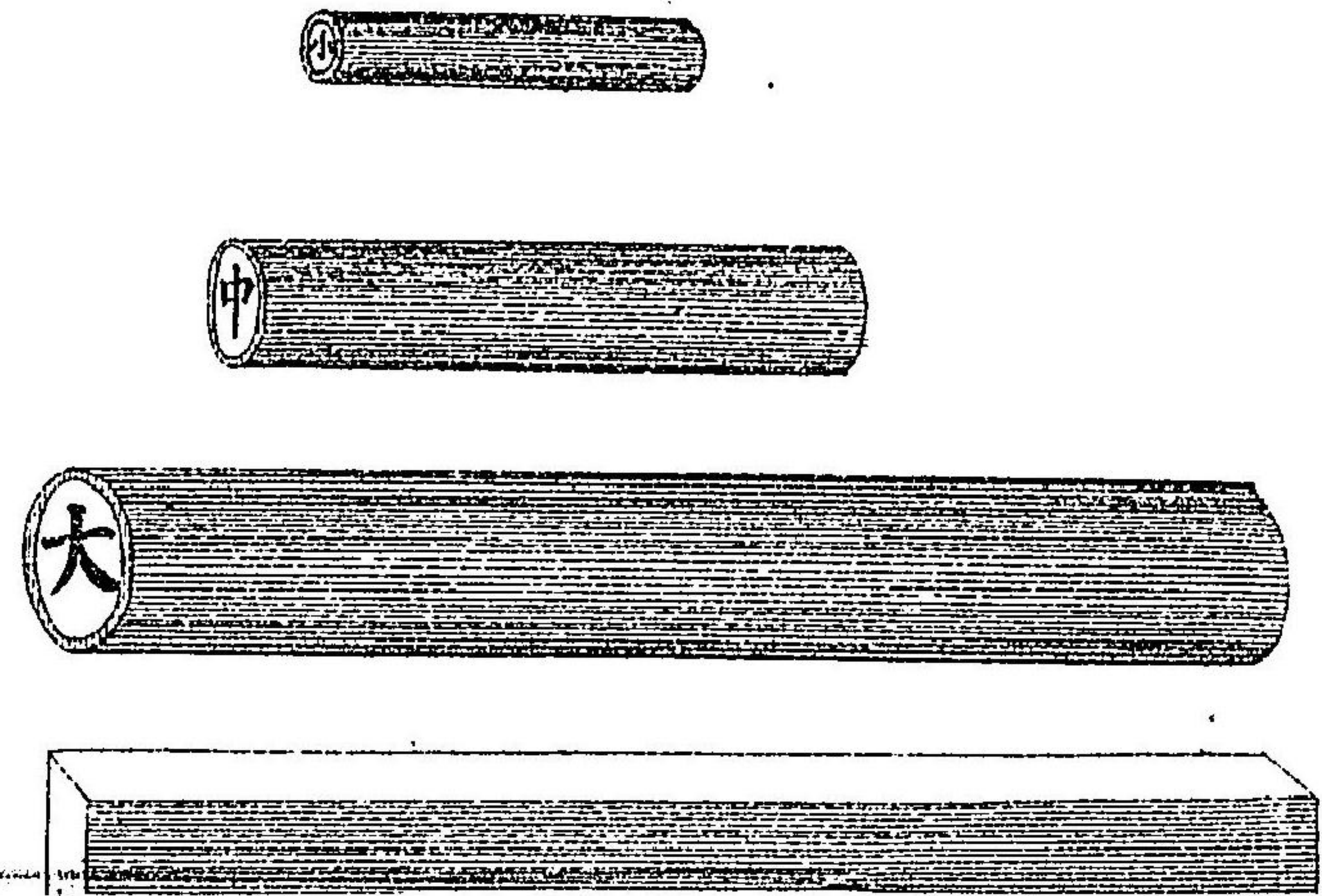
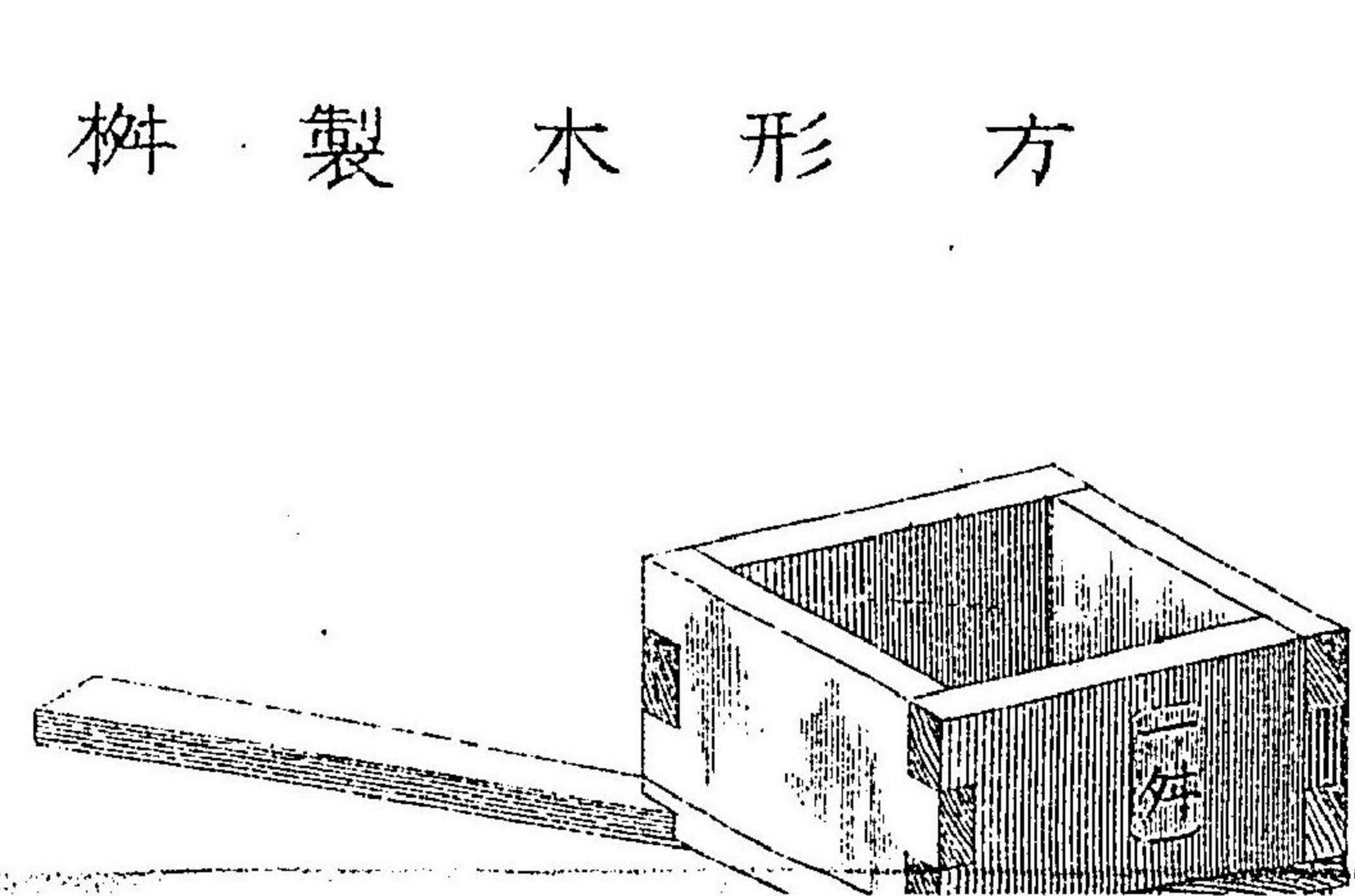
柘(葉鉄)属金形壙圓



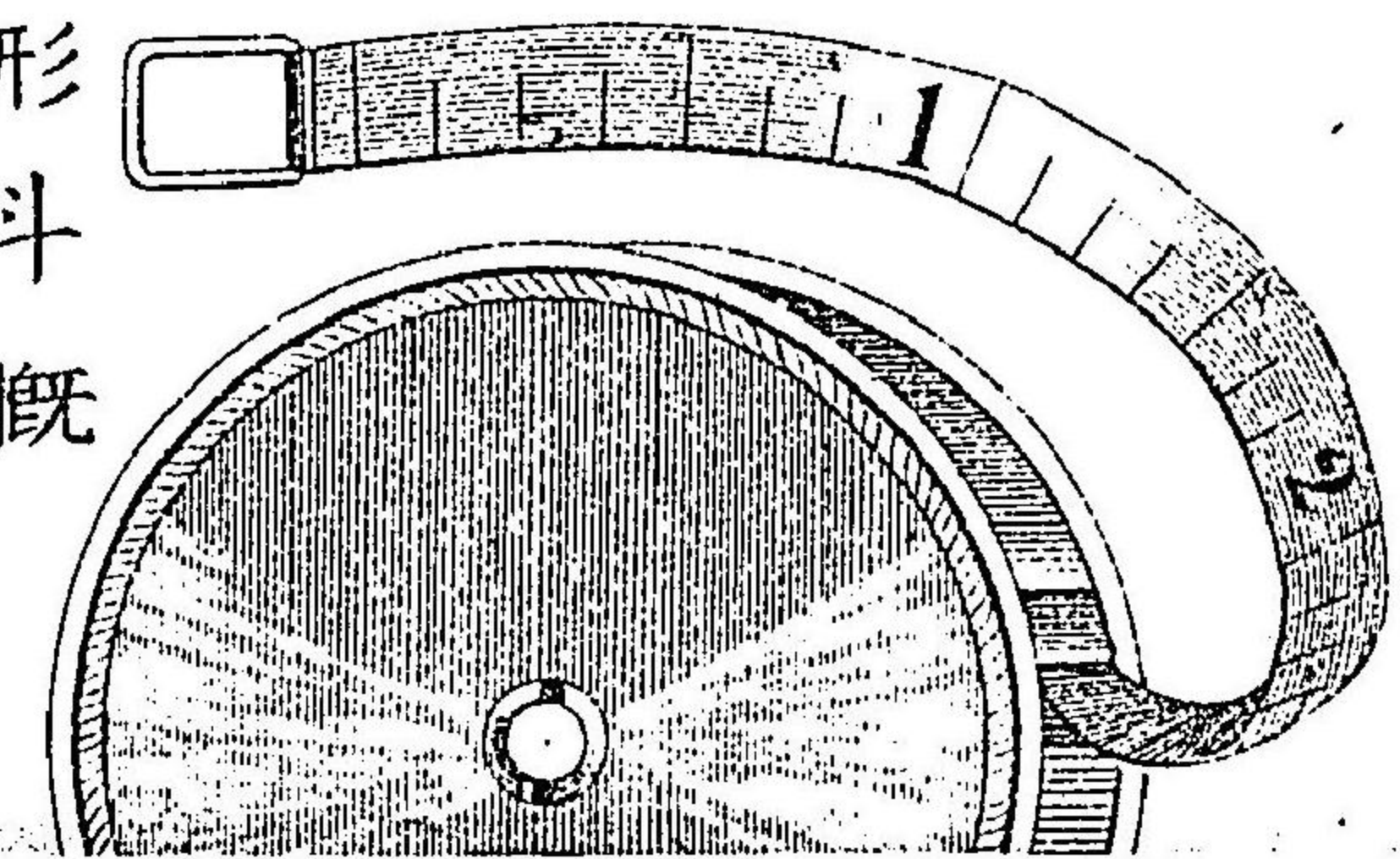
柘製木形方



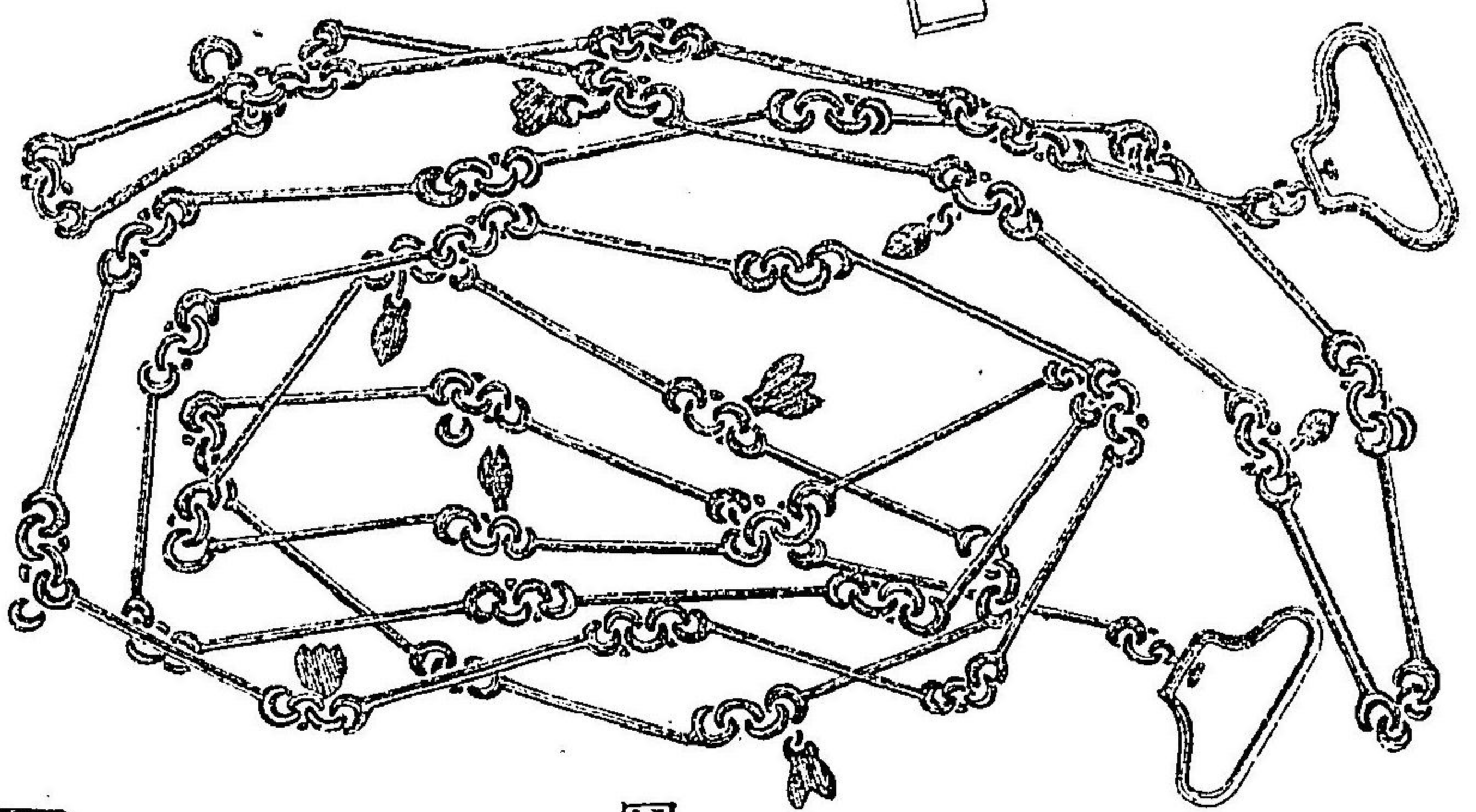
柘製木形方



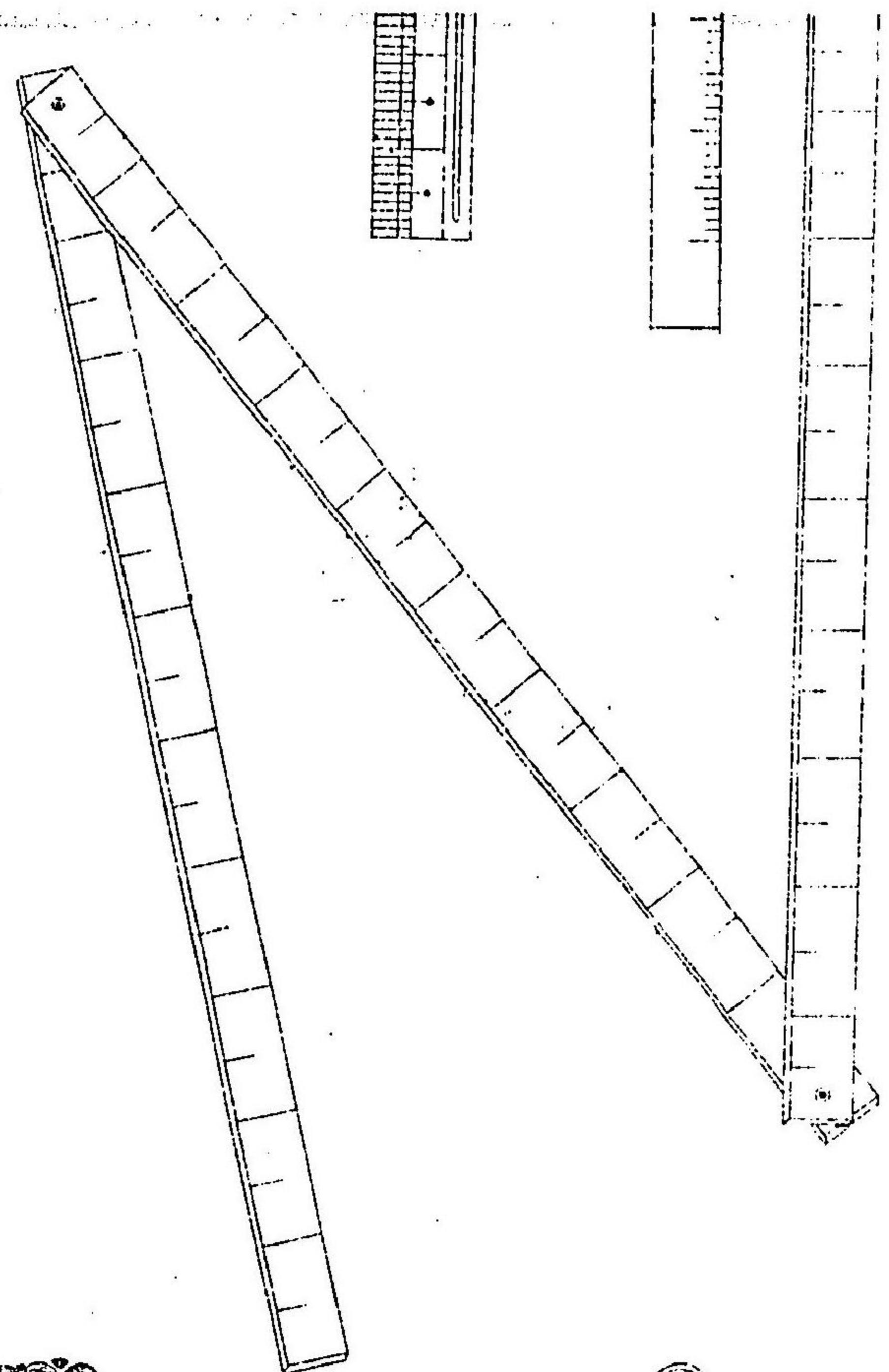
圓壙形斗概



鏈尺(鏈狀)



卷尺(細帶狀)



疊尺(連接直形)

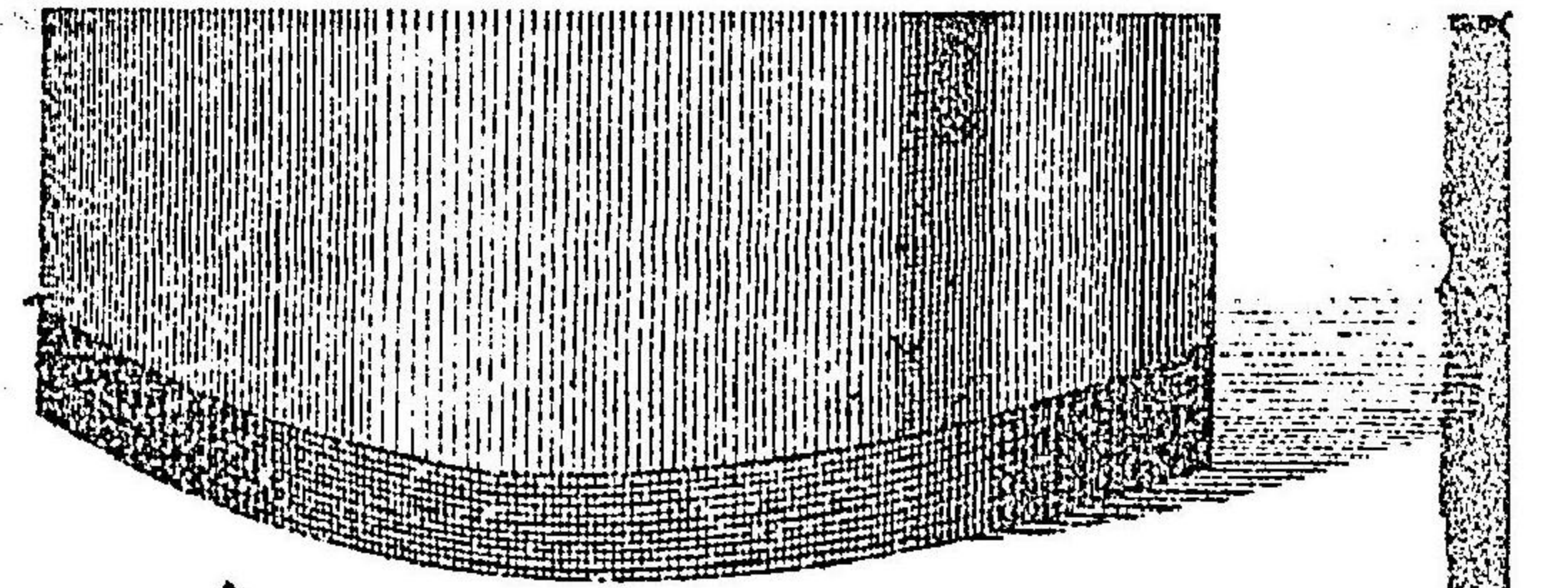
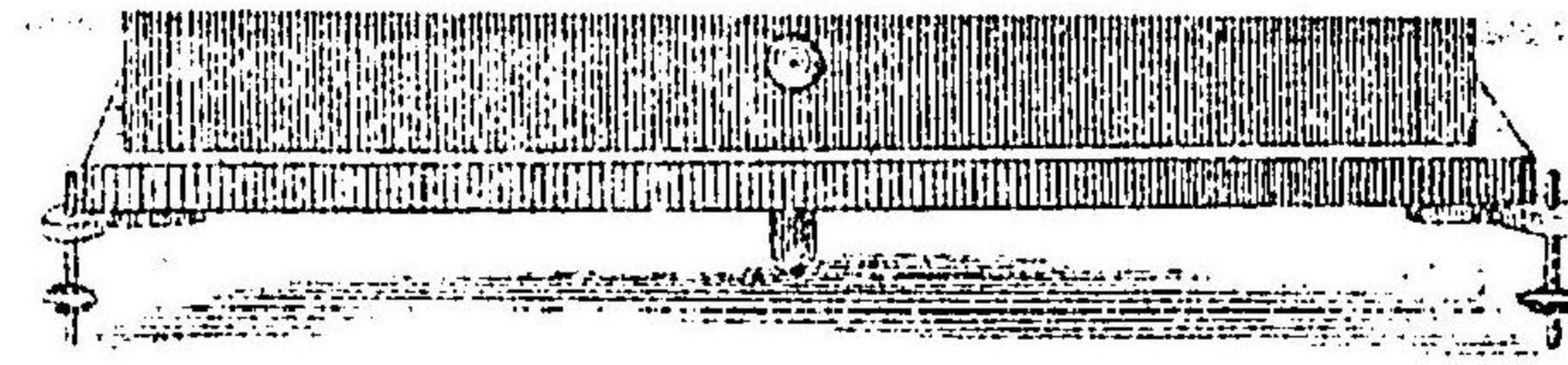
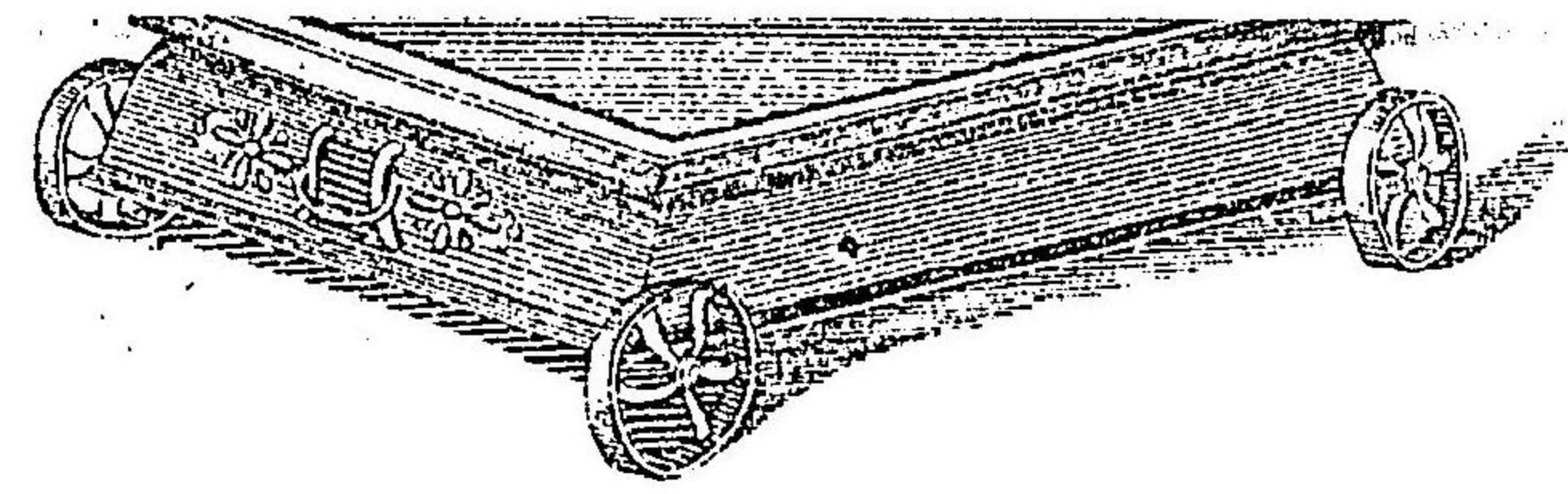
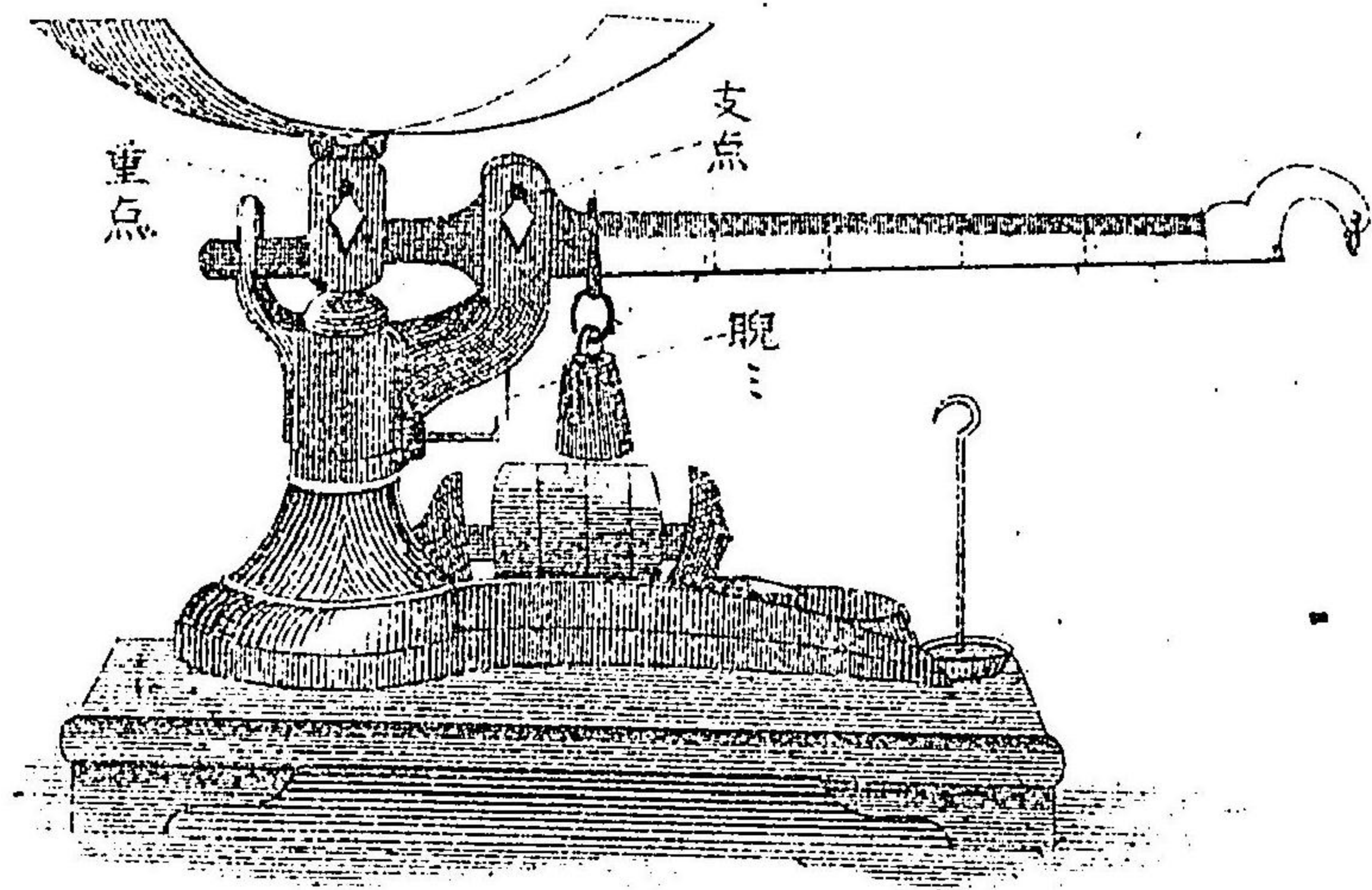


疊尺(連接直形)

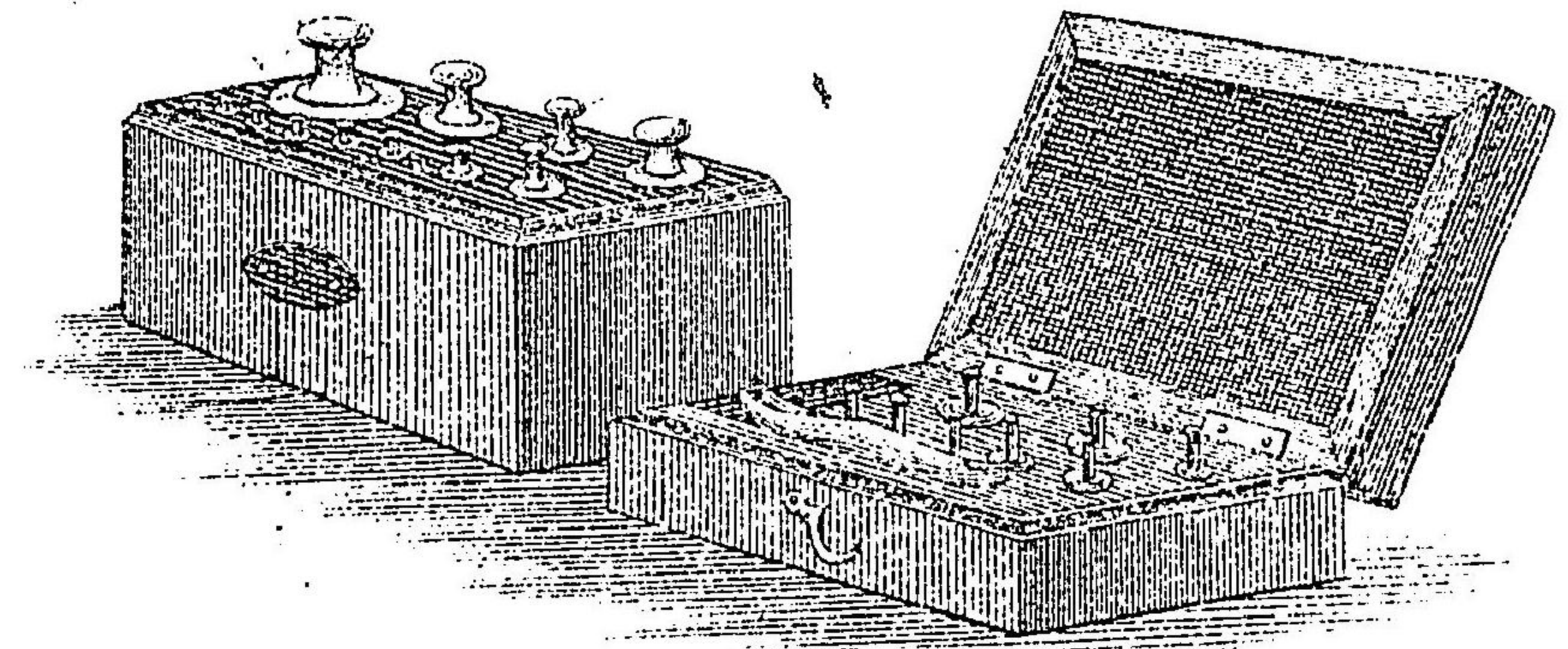




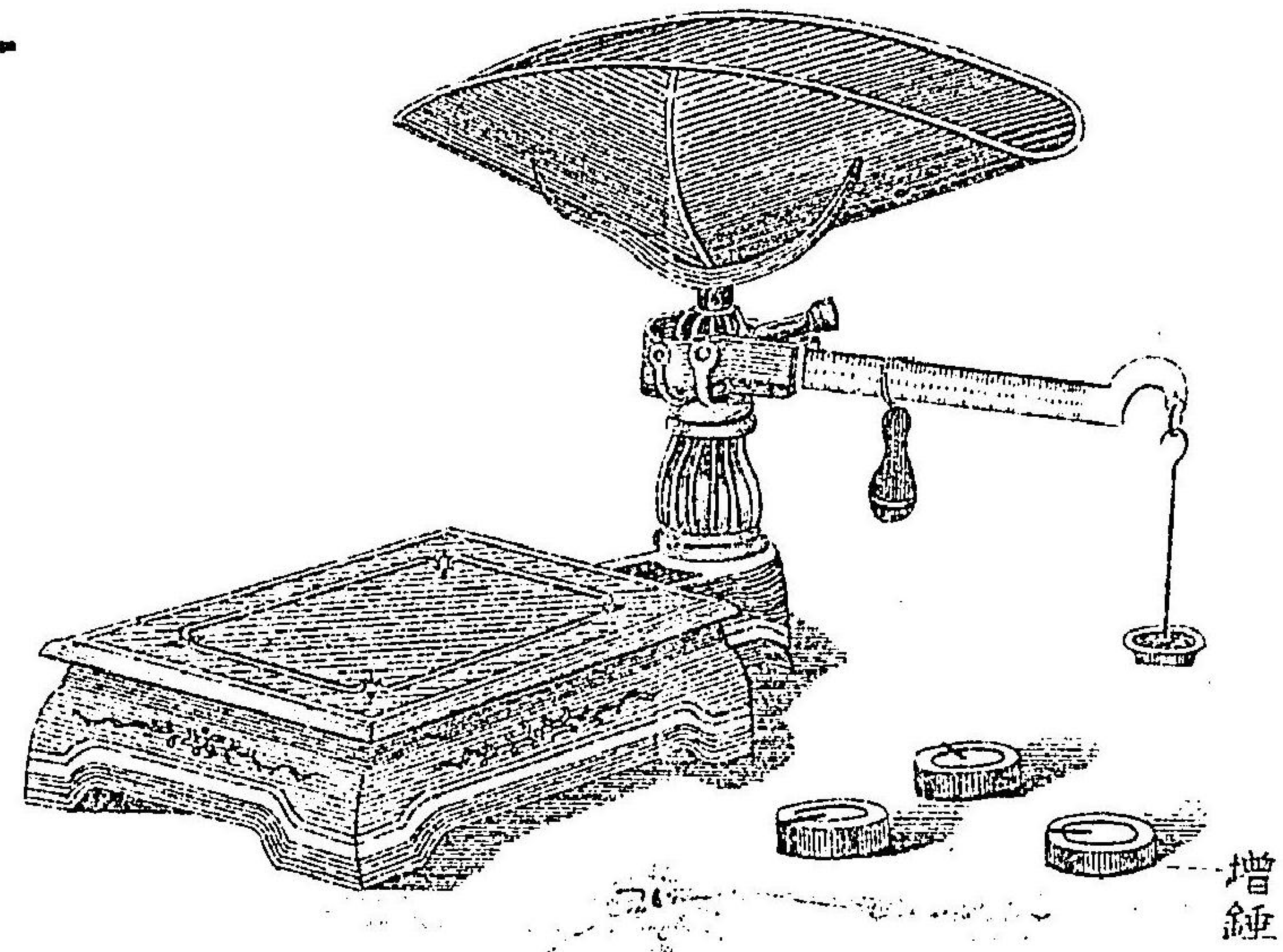
秤桿皿上属金



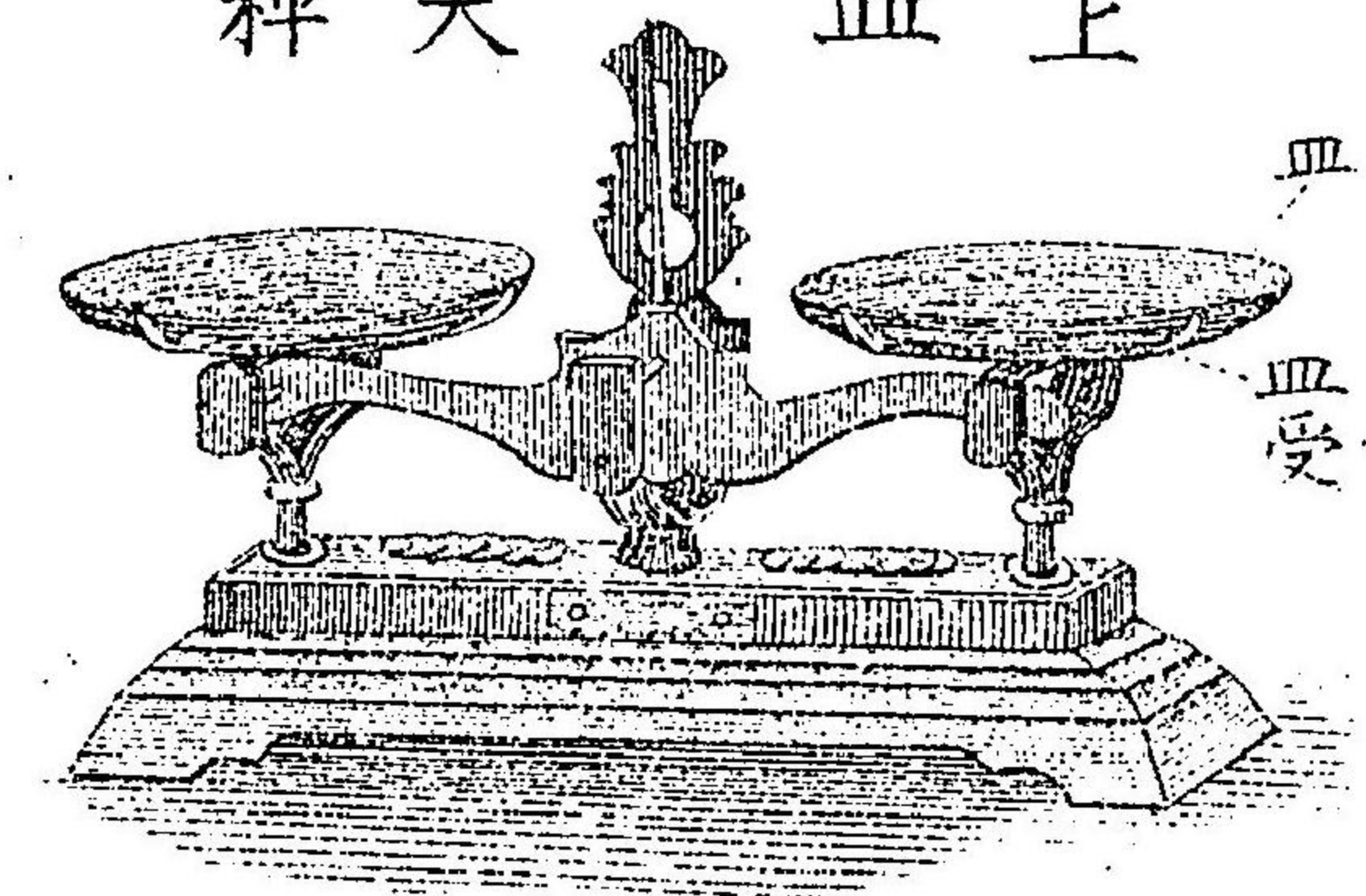
銅 分



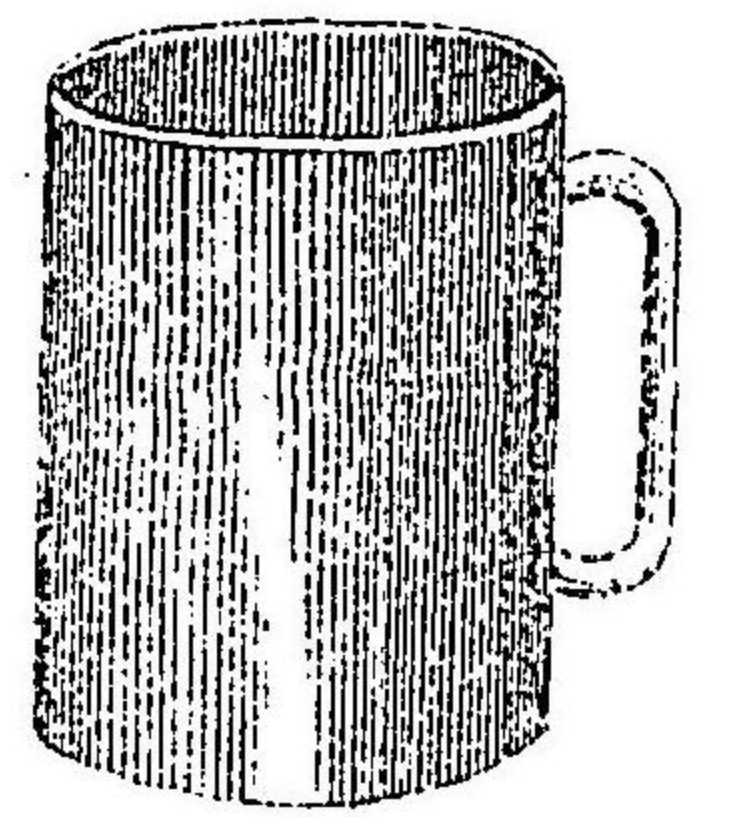
秤臺付皿



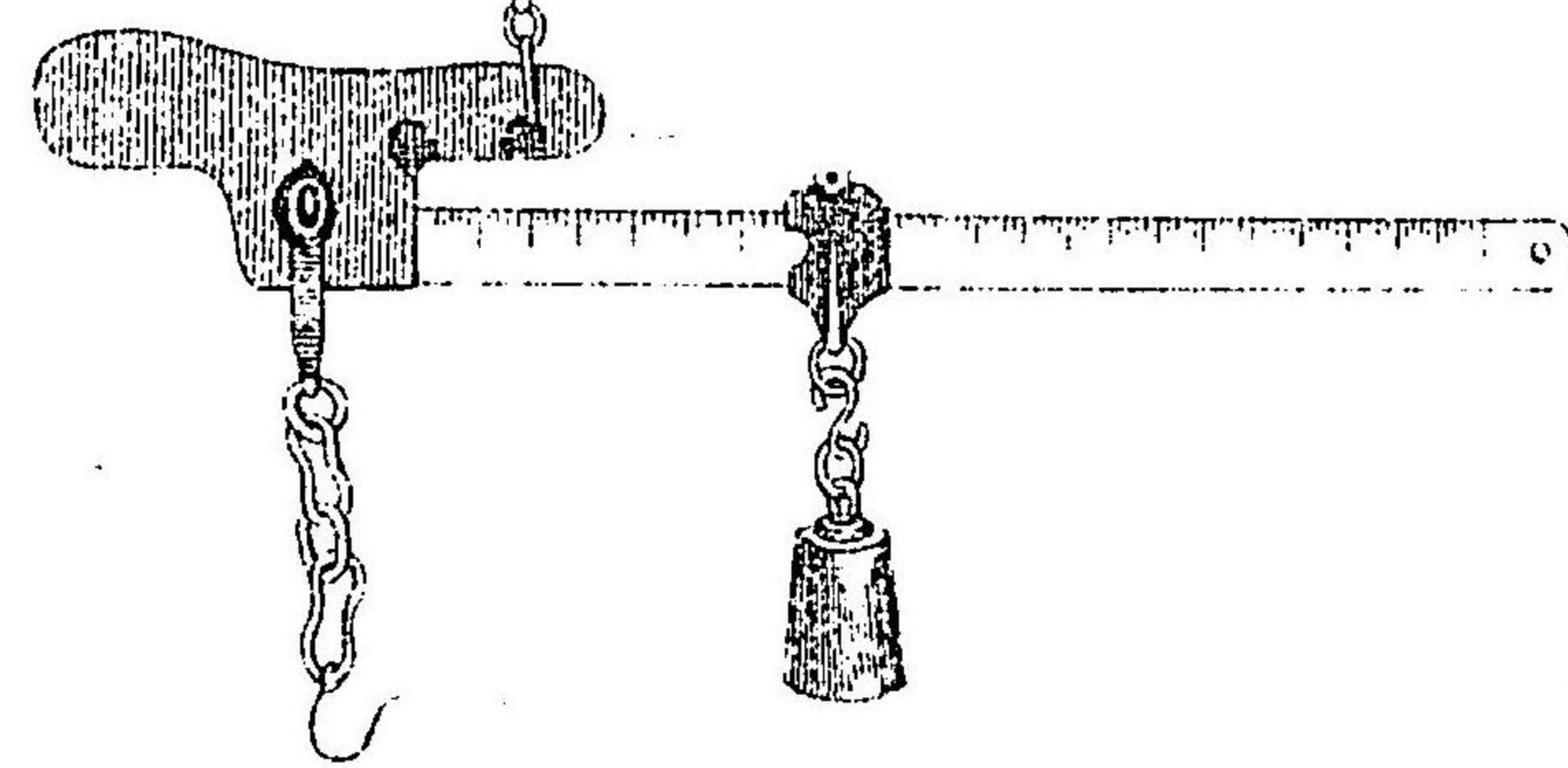
秤天 皿上



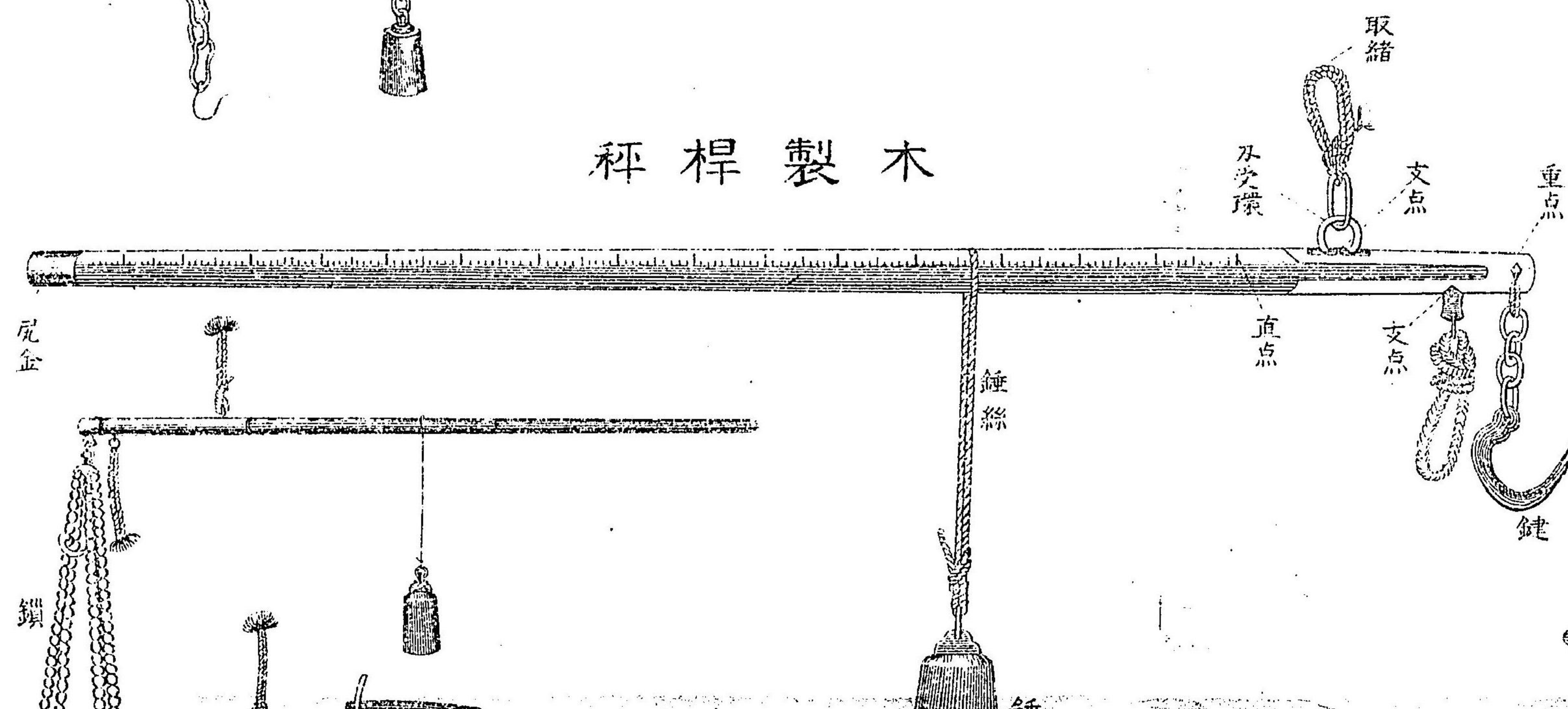
枰(葉鉄)属金形



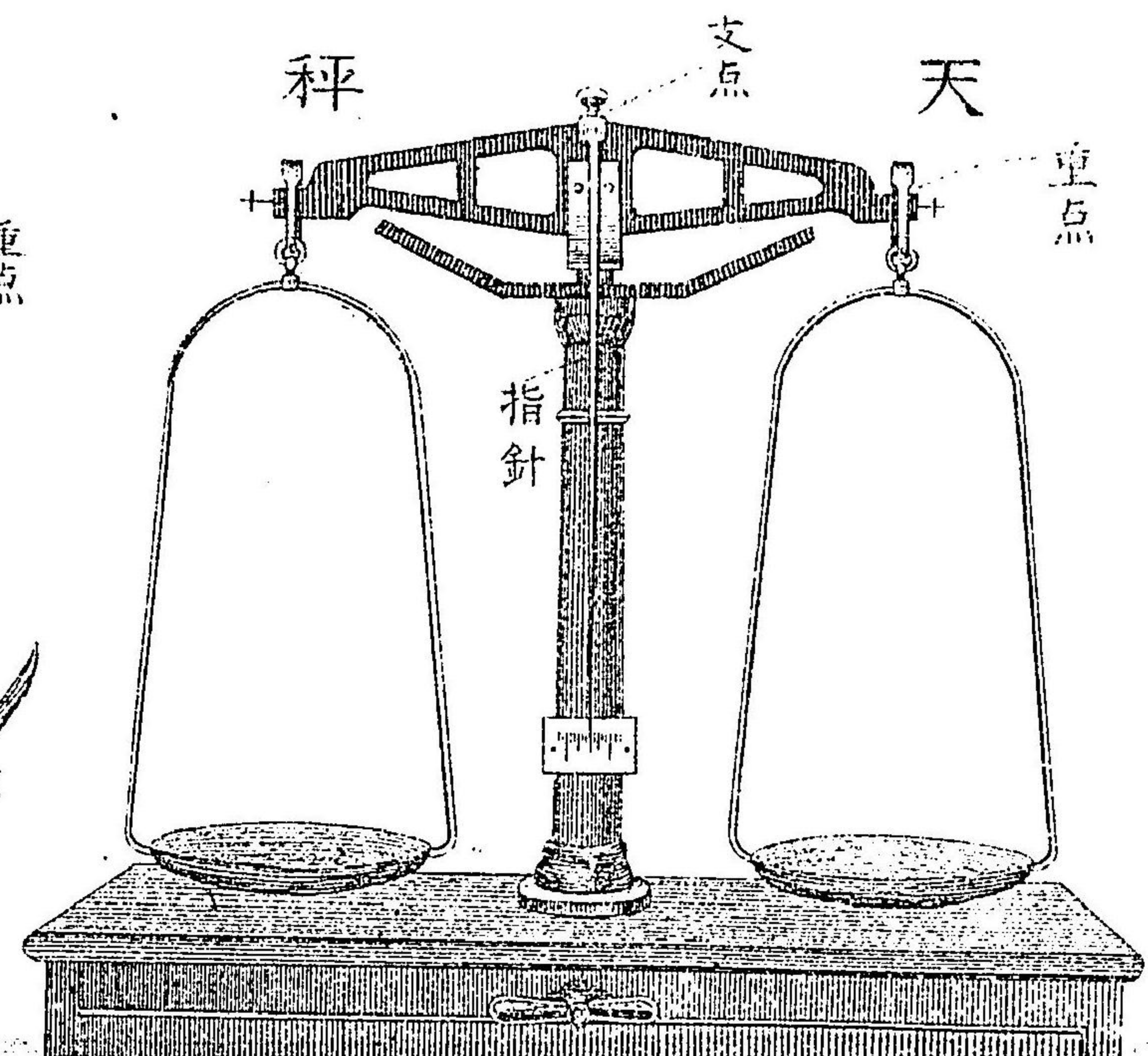
秤桿属金



秤桿製木

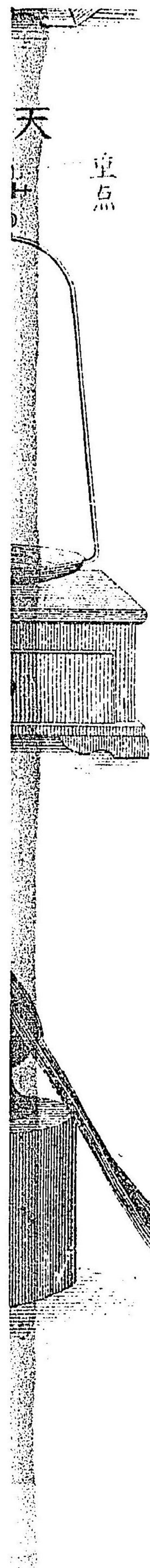


秤 天



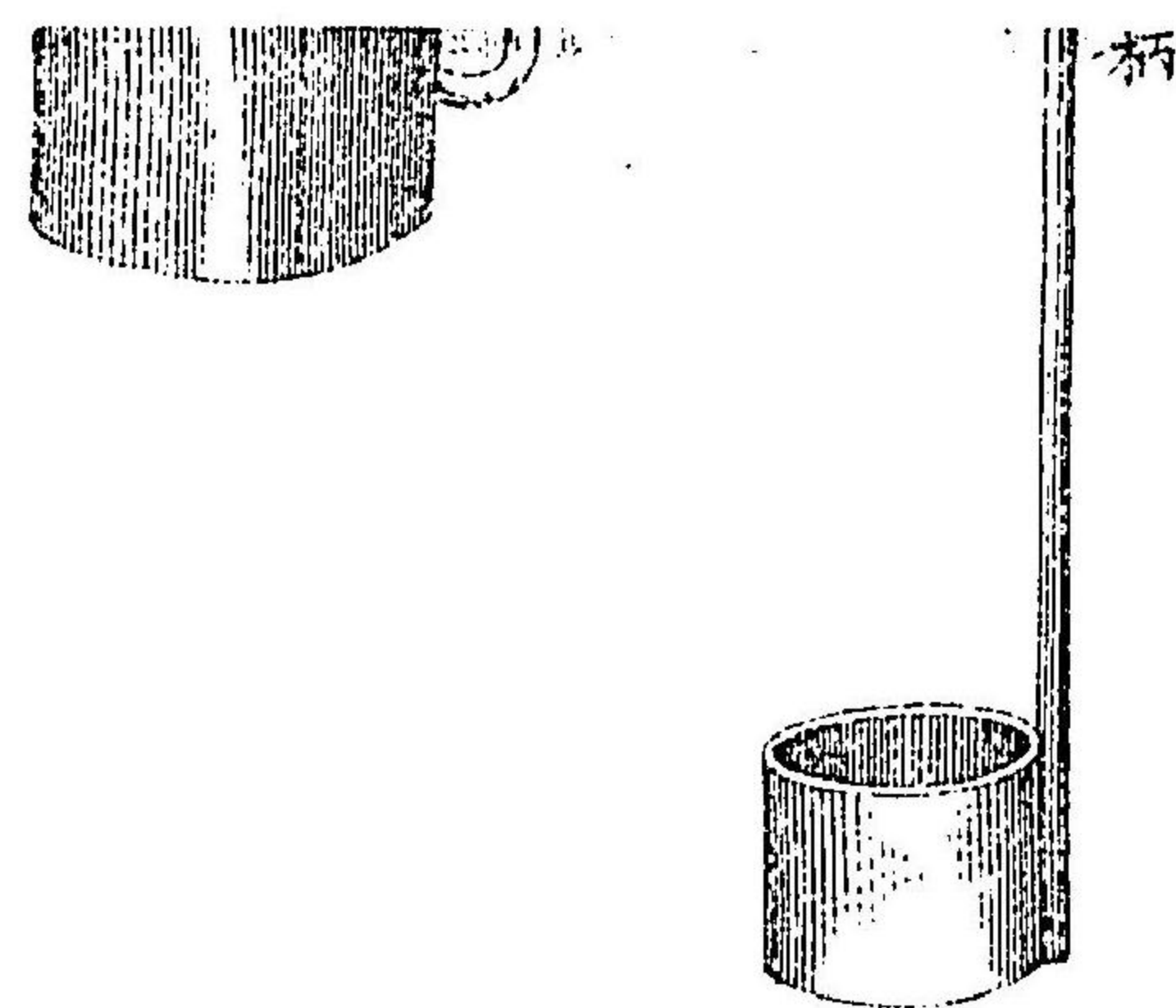
枰製木





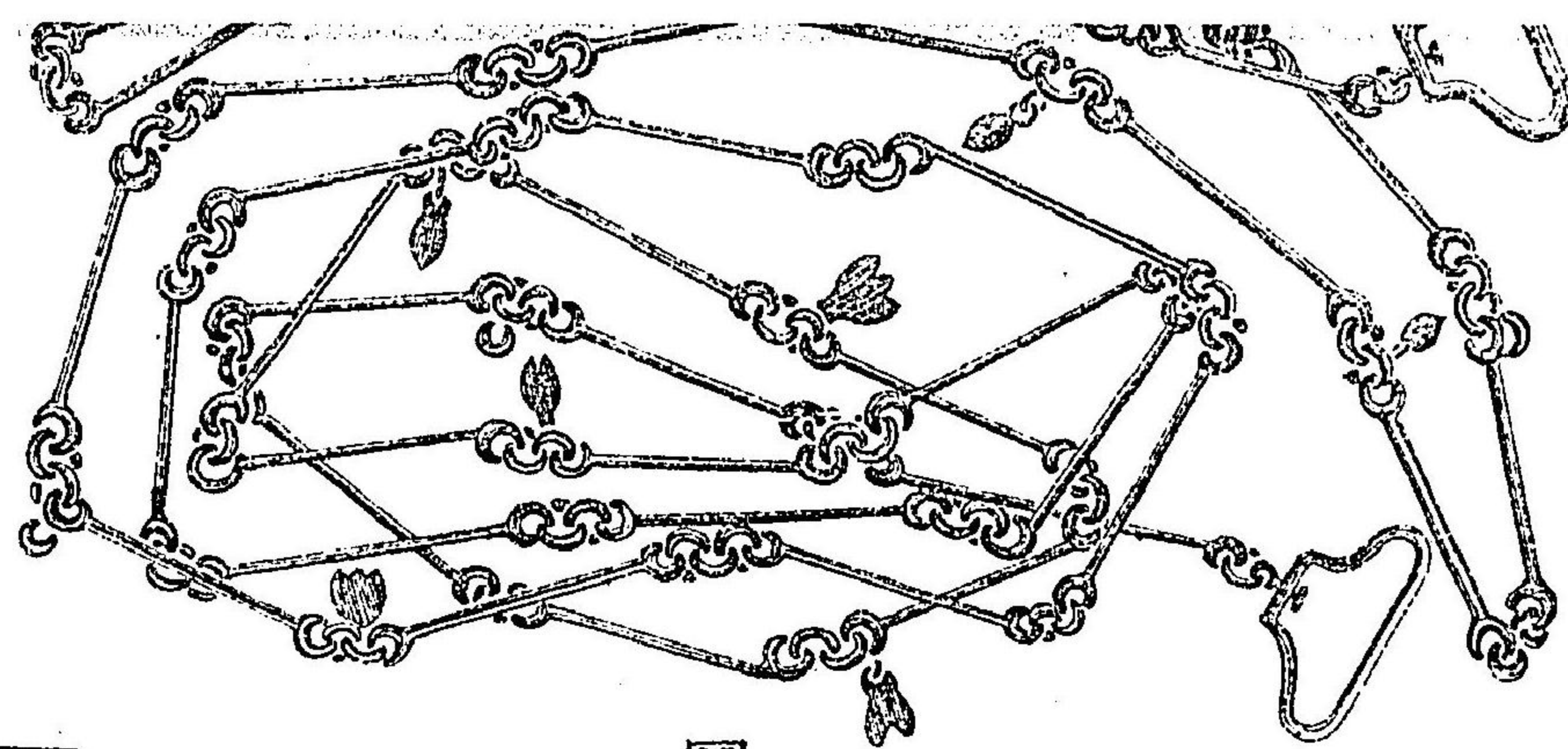
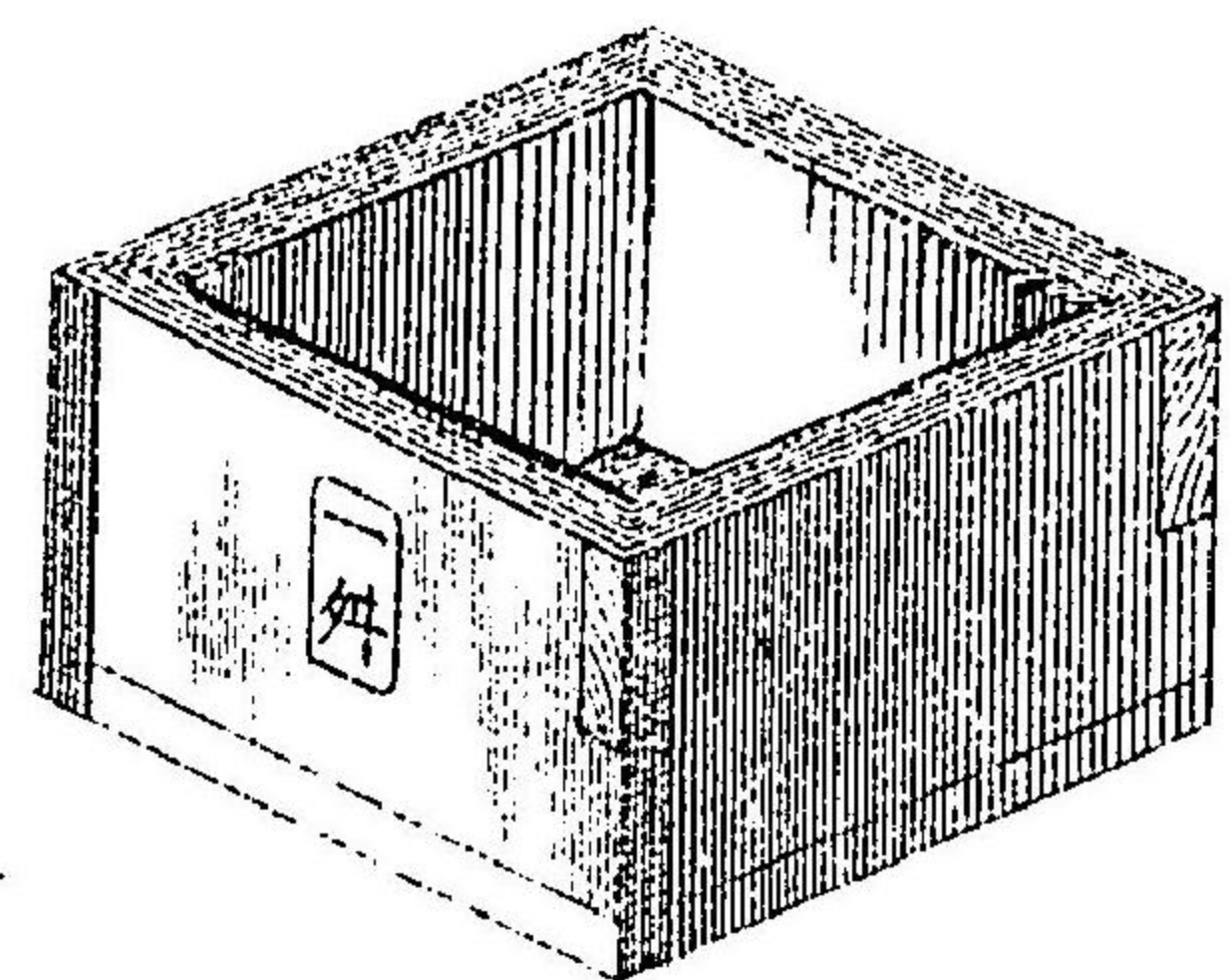
天

立点



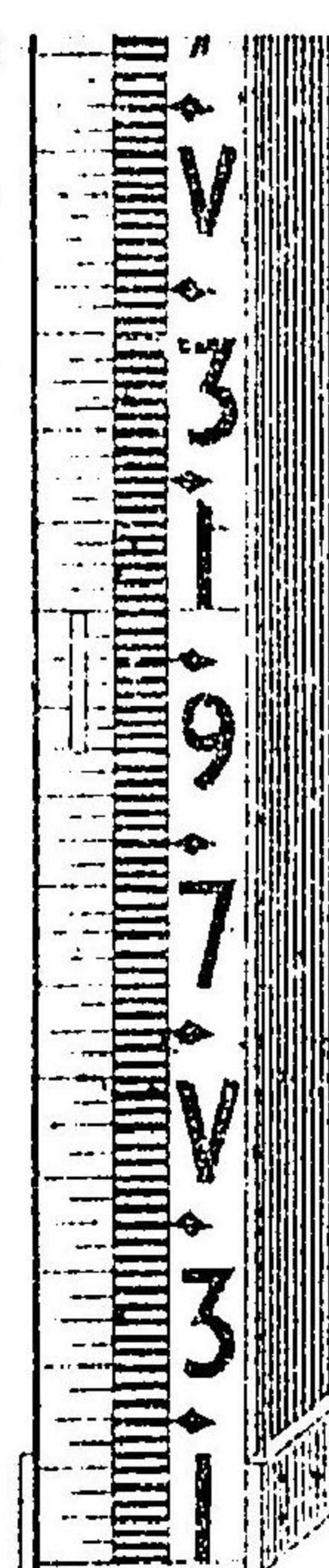
柄

方 形 木 製 枱

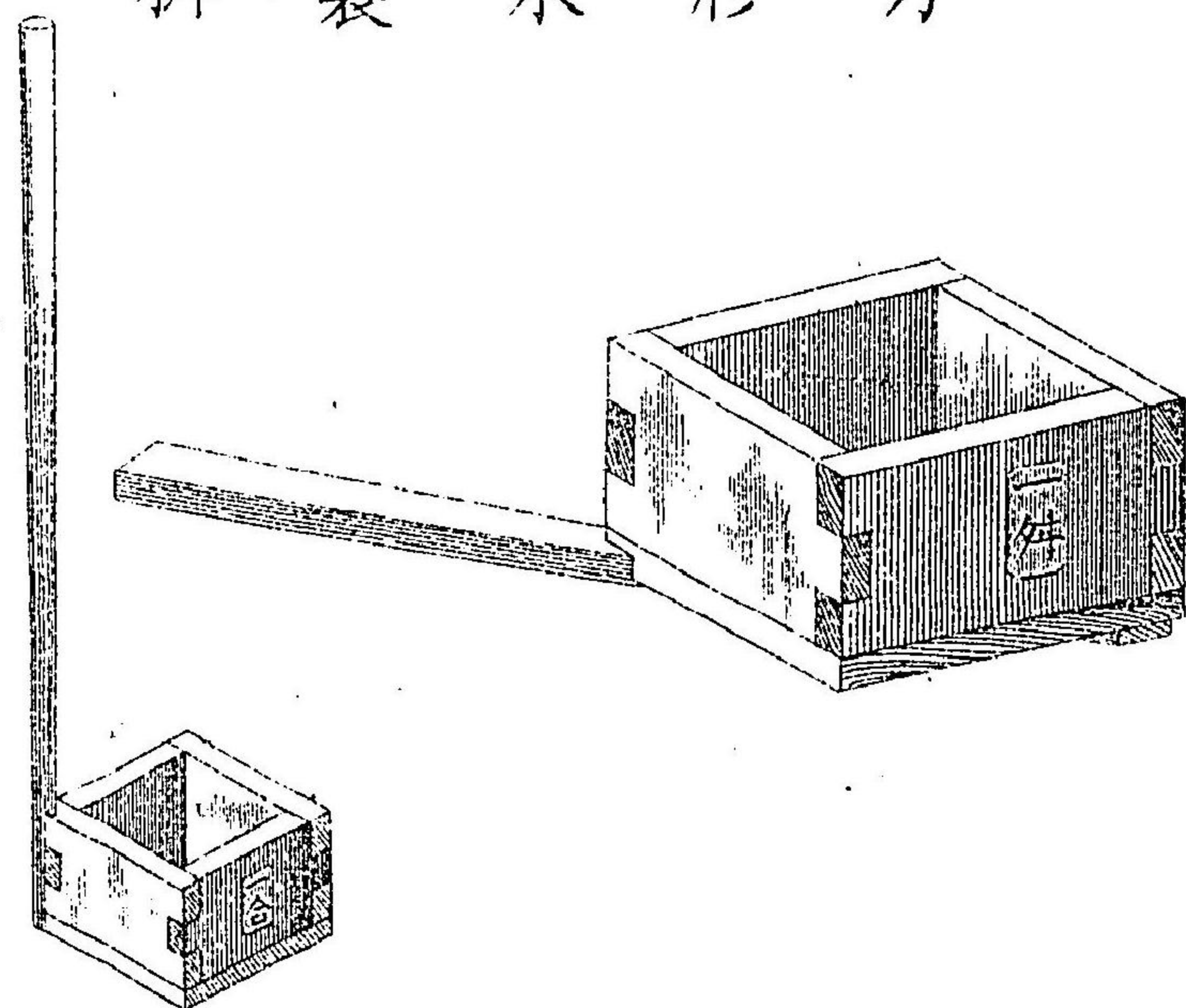


此 尺 (鏈 狀)

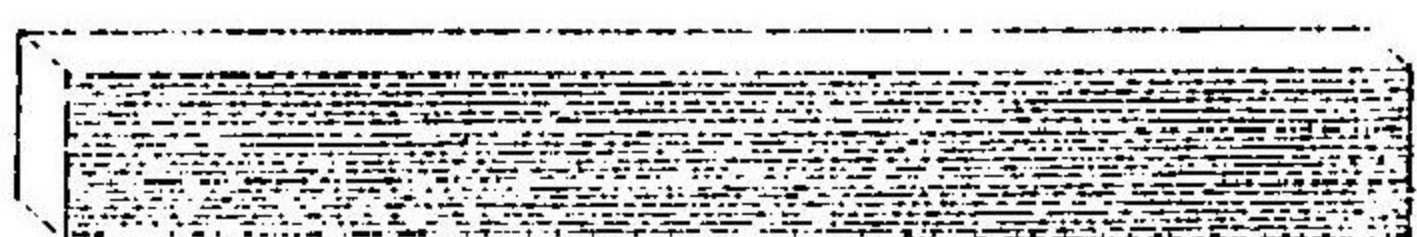
直 形



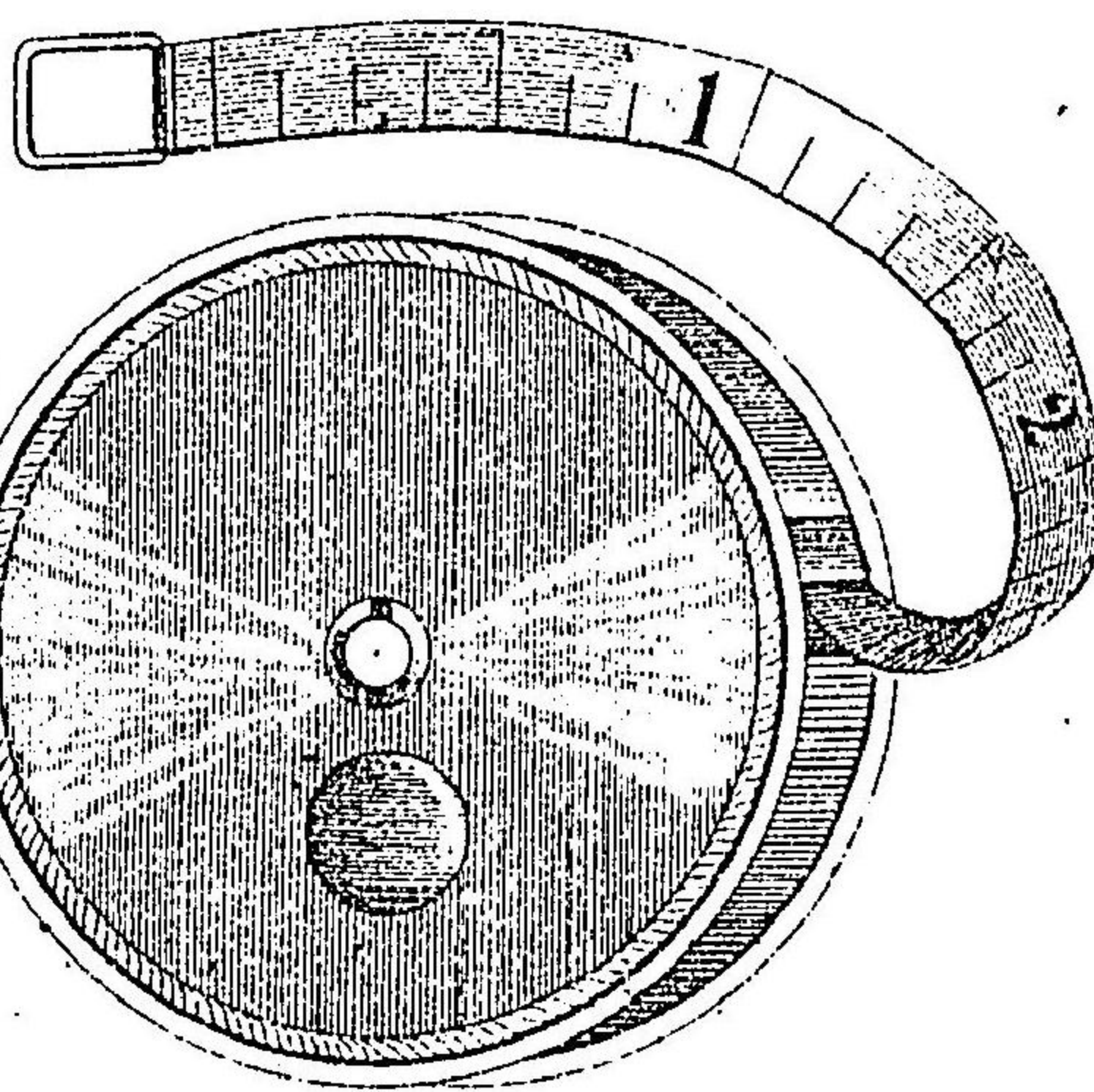
方 形 木 製 枱



板 狀 斗 概

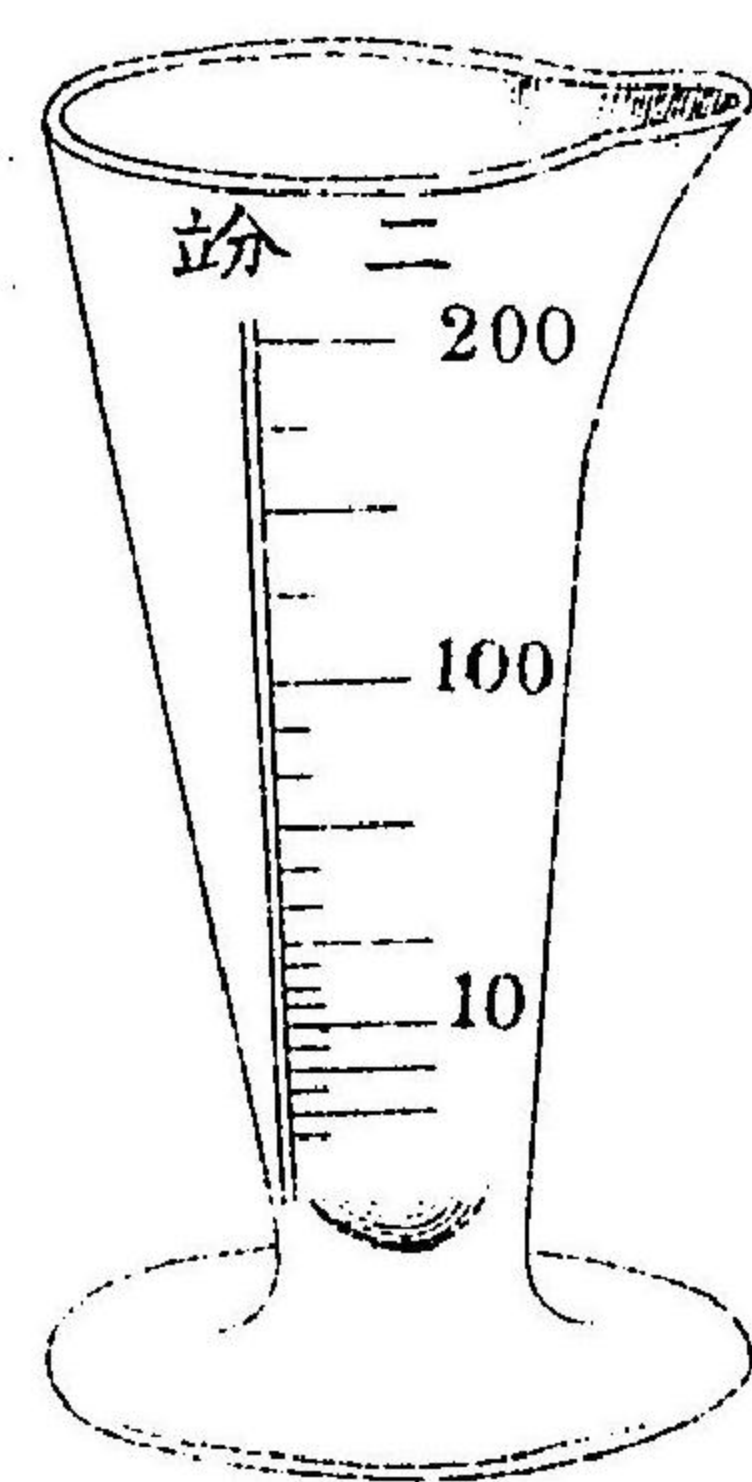
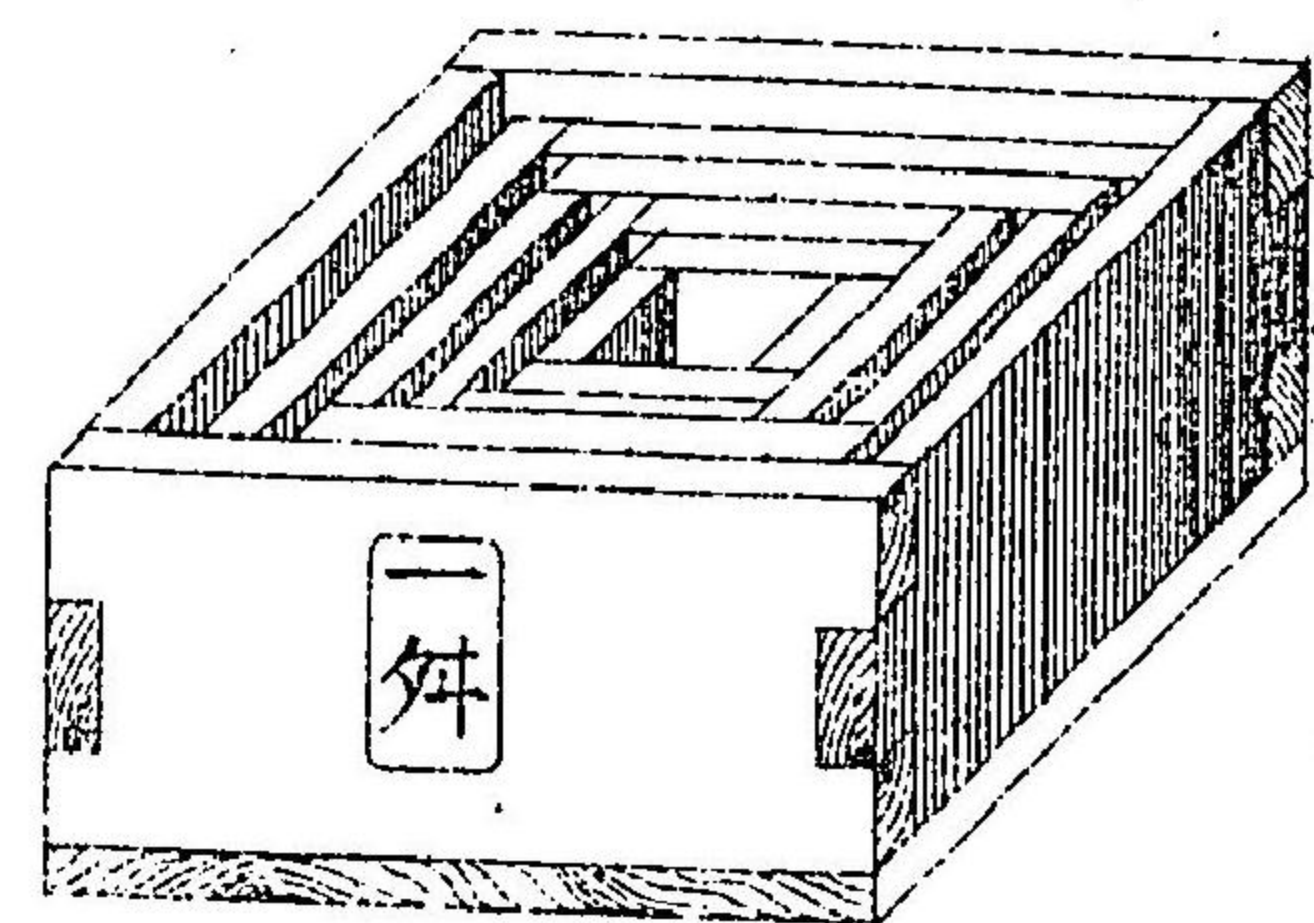


概 斗 形 壩 圓

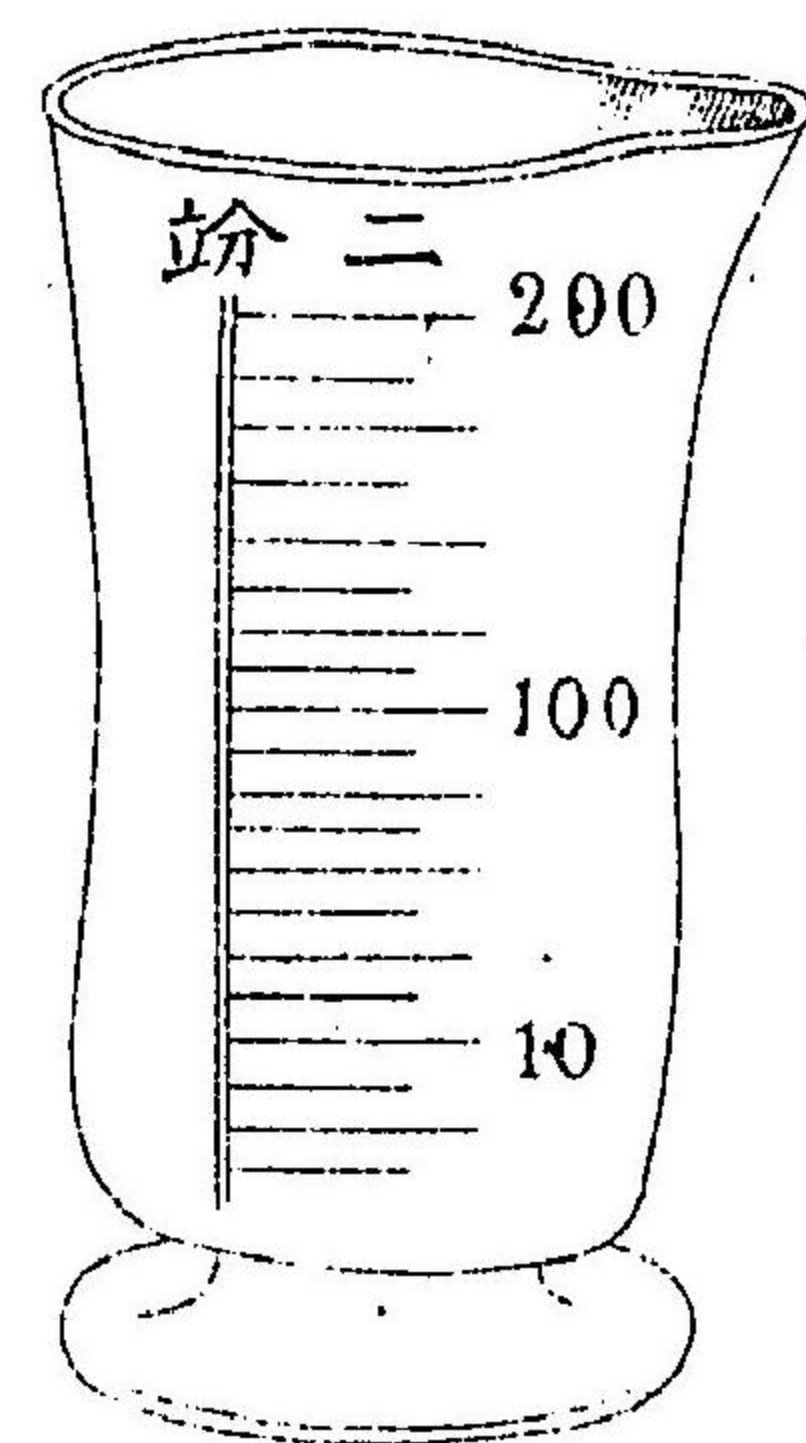


卷 尺 (細 帶 狀)

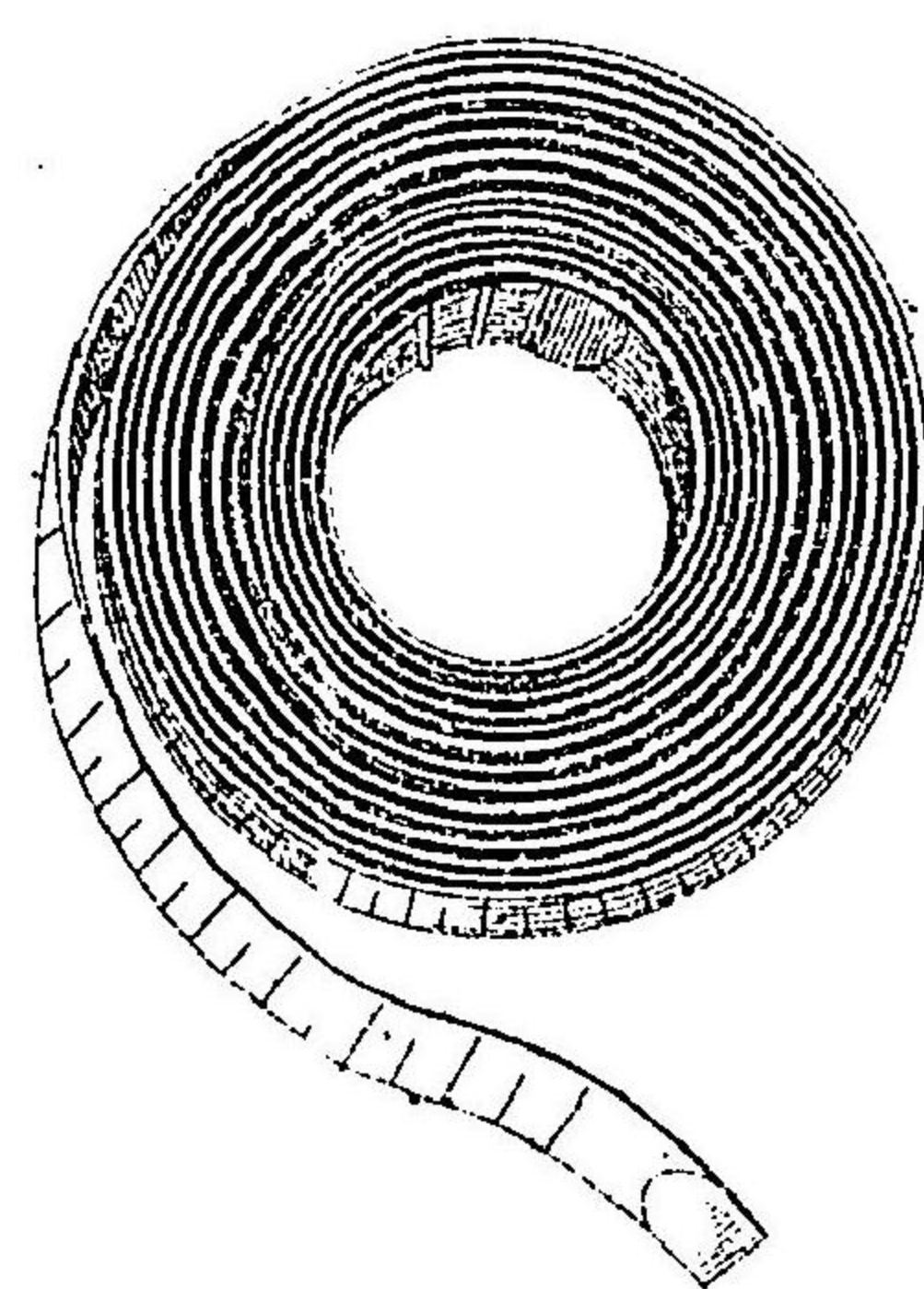
方 形 木 製 枱



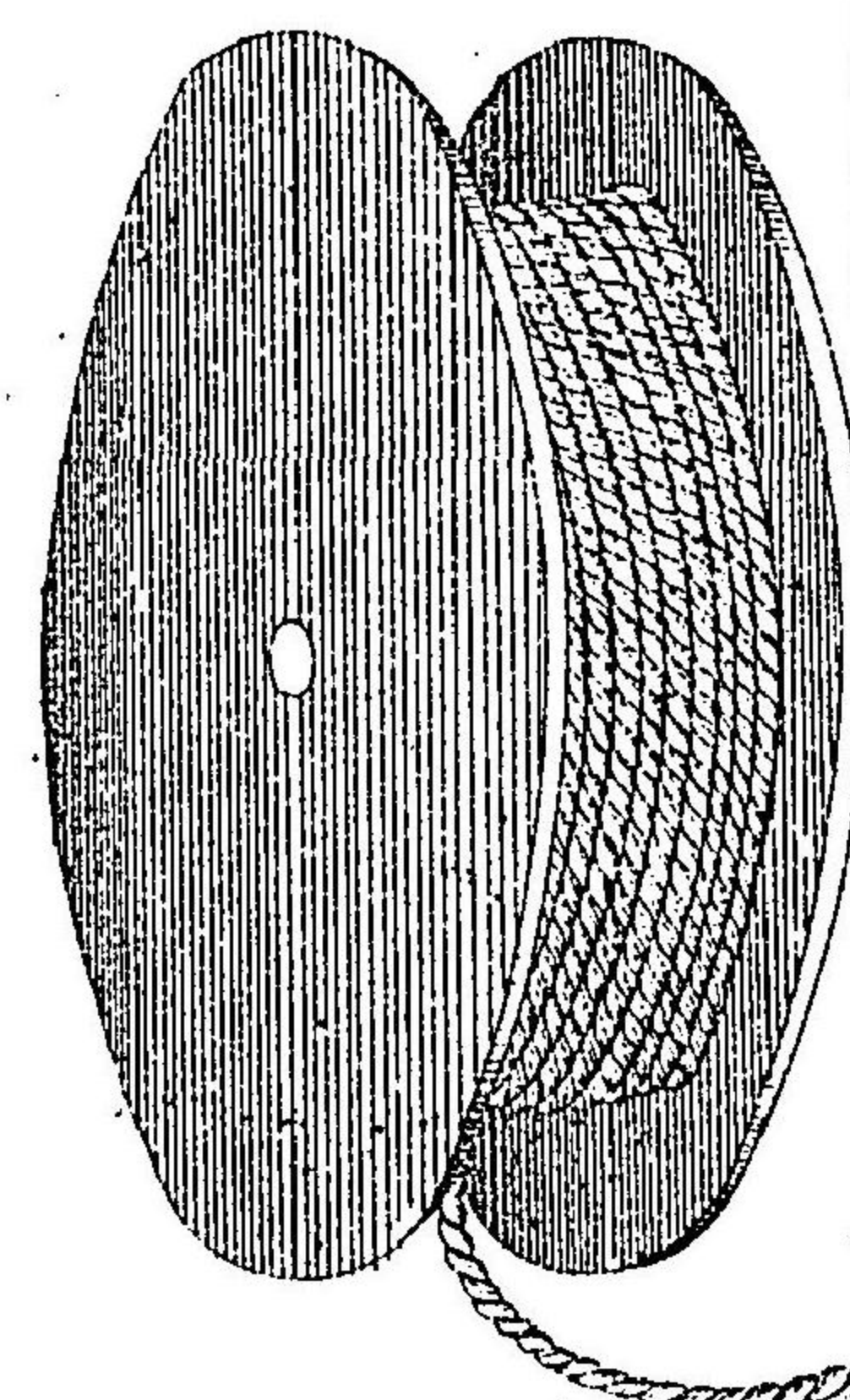
枱 製 玻 璃 錐 形 圓



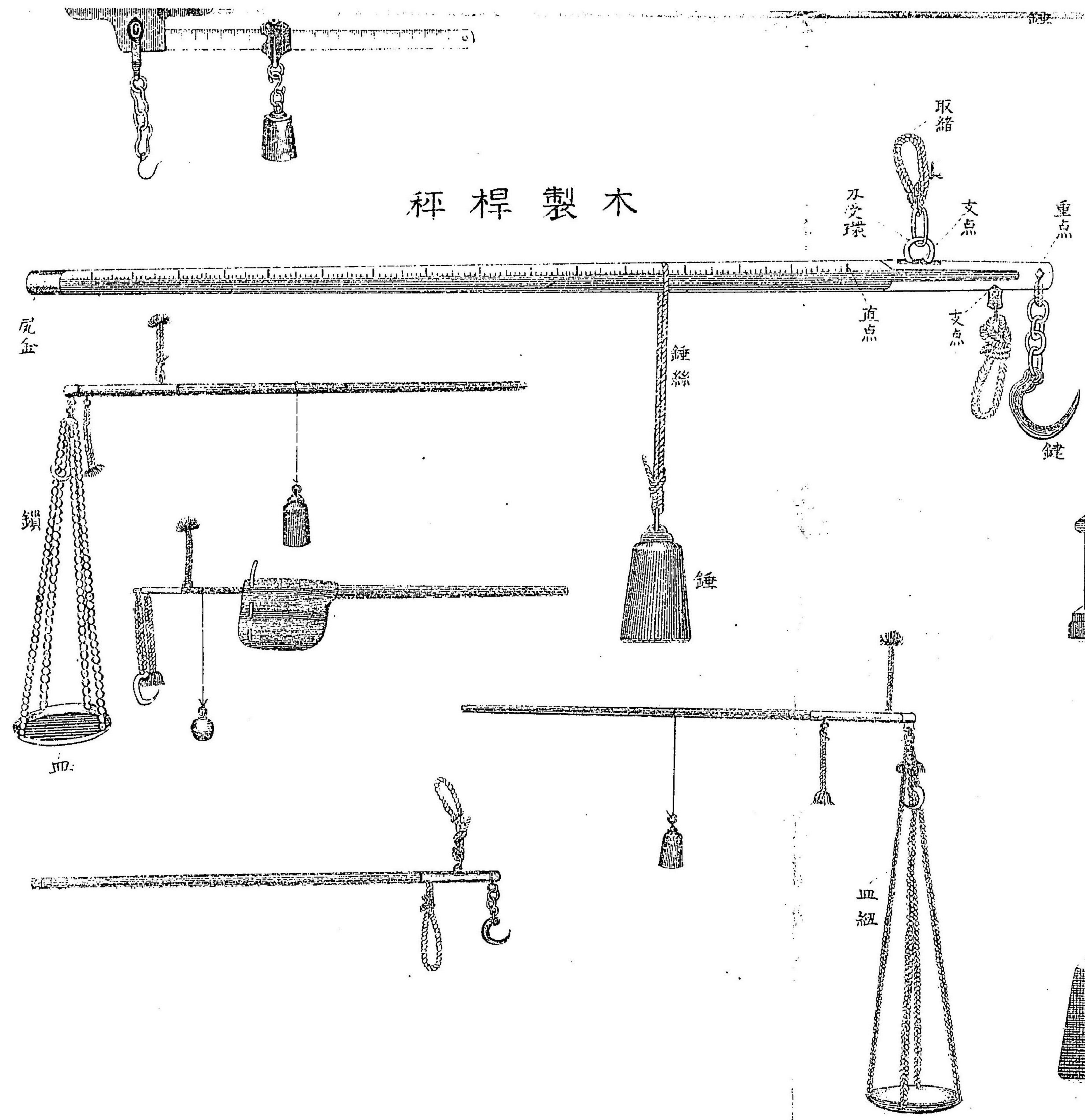
枱 製 玻 璃 形 壩 圓



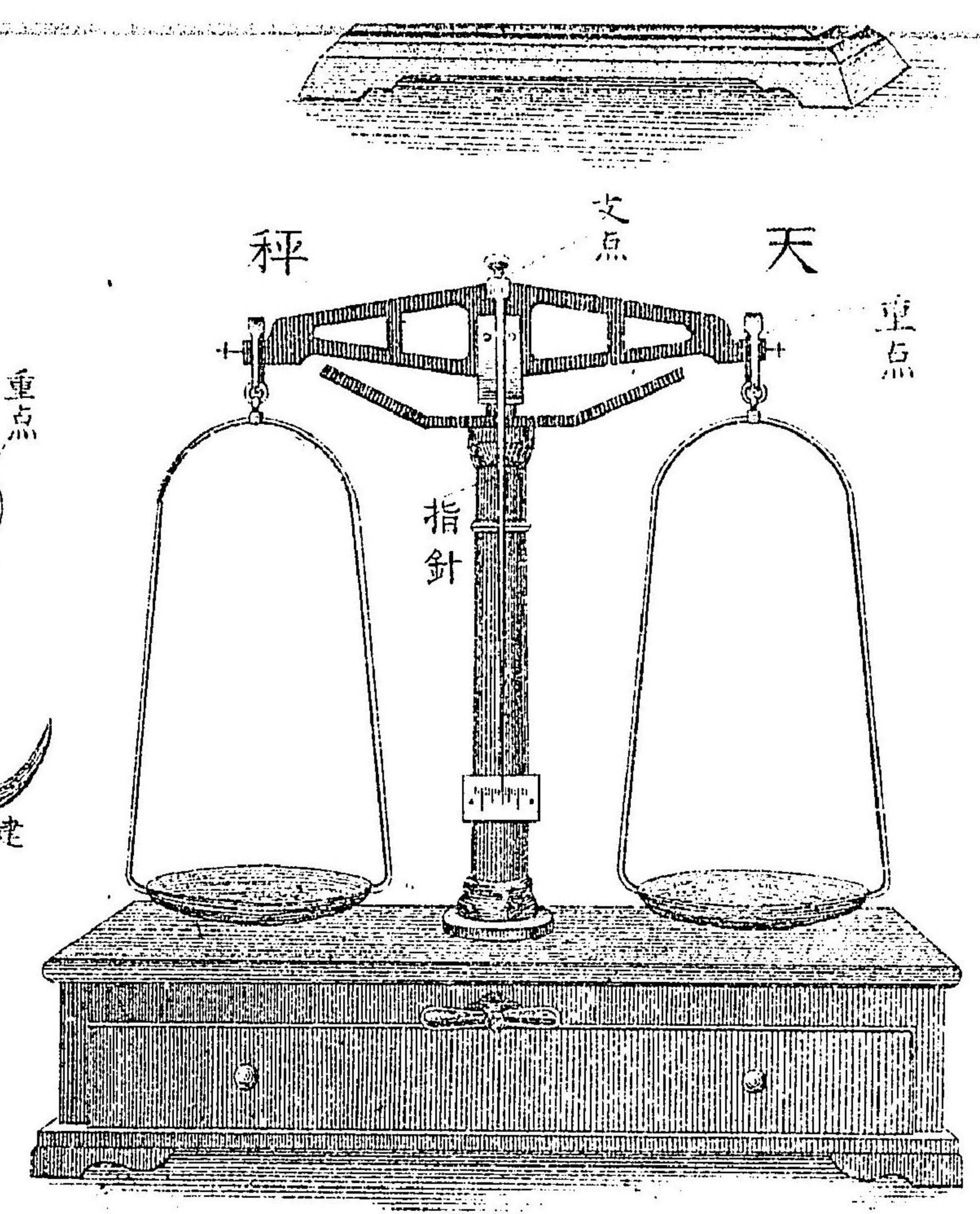
卷 尺 (細 帶 狀)



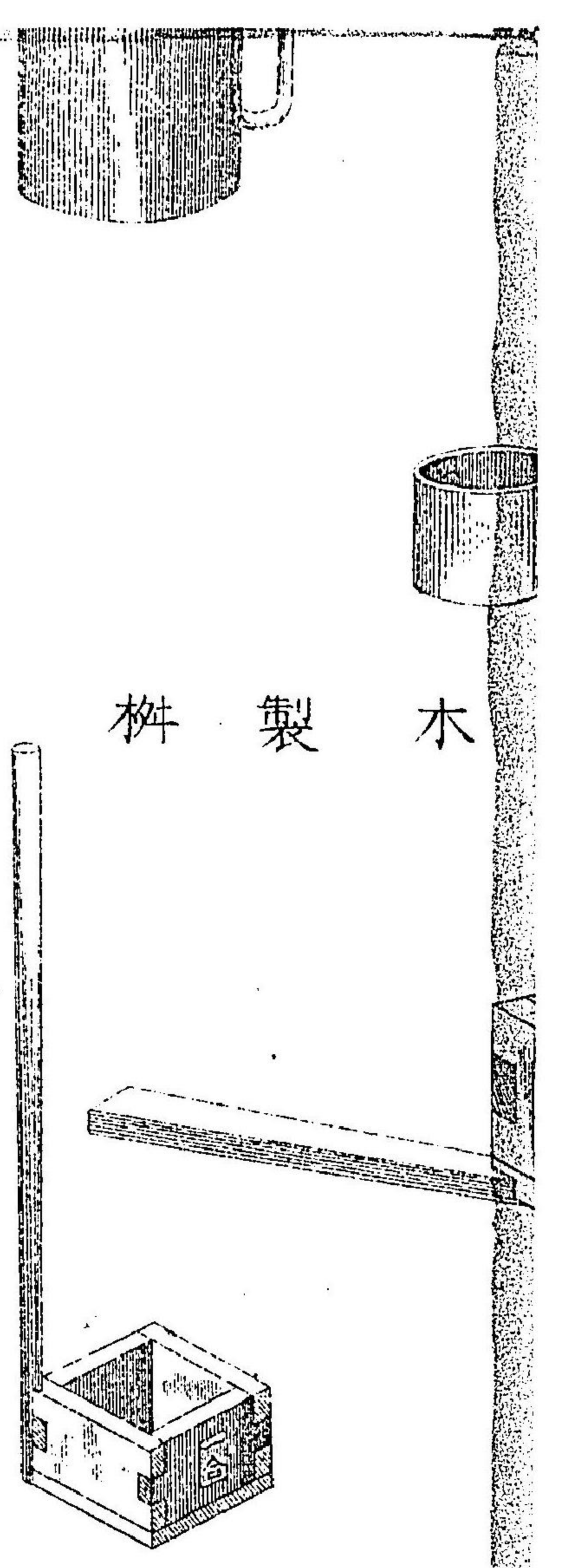
卷 尺 (細 帶 狀)



秤桿製木

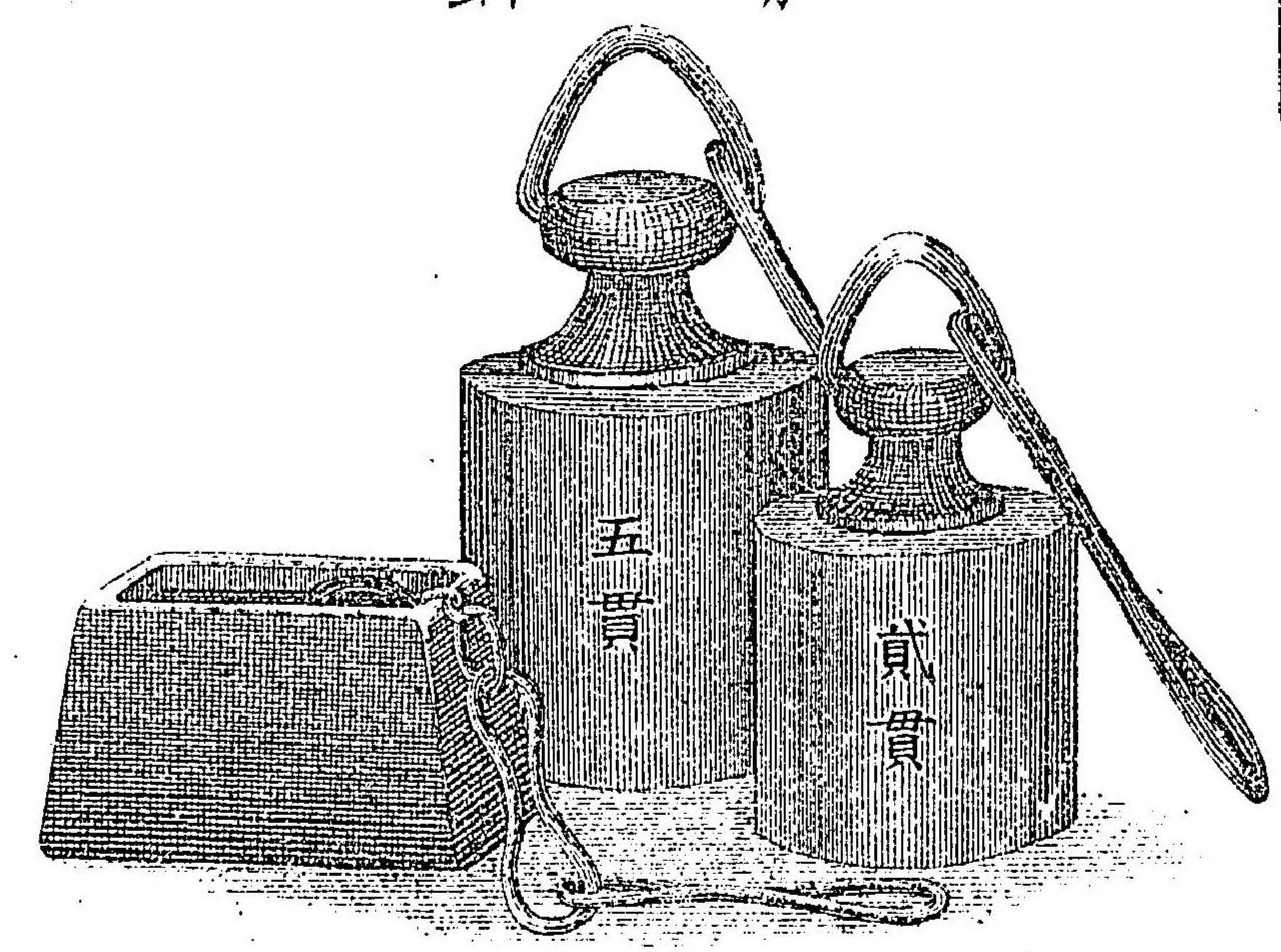


秤 天



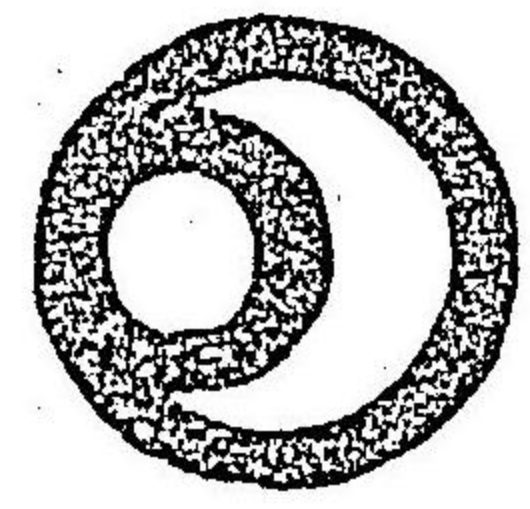
秤桿製木

銅分



秤桿製木

秤



株式會社

津農商銀行

津市地頭領町

南出張店 津市岩田町  
久居支店 一志郡久居町

電話百七番

田丸支店 度會郡田丸町  
朽原支店 多氣郡川添村

量衡器全部製作

並ニ修覆販賣

津市東町

記  
三重



伊藤辨之助

本店

量器製作修覆工場

津市丸之内

記

三重



伊藤支店

度量衡器販賣

工場

支店  
主任

加藤喜平

261

273

明治四十三年三月廿八日印刷  
明治四十三年四月一日發行  
明治四十三年四月十七日增訂再版

(定價金拾五錢)

編輯兼發行人

加藤三四郎

三重縣津市丸之内二番屋敷

印刷人

山村松之助

三重縣津市阿漕町七十二番屋敷

印刷所

伊勢新聞社活版部

三重縣津市丸之内四番屋敷

發行所

伊勢新聞社活版部

本店 河藝郡神戸町

⊖ 小川量器製作所

第一分工場 津市東町  
第二分工場 同 岩田町

本店 河藝郡神戸町



小川量器製作所

第一分工場 津市東町  
第二分工場 同 岩田町

明治四十三年三月廿八日印刷

明治四十三年四月一日發行

明治四十三年四月七日增訂再版

(定價金拾五錢)

編輯兼發行人

加藤三四郎

三重縣津市丸之内二番屋敷

印刷人

山村松之助

三重縣津市阿漕町七十二番屋敷

印刷所

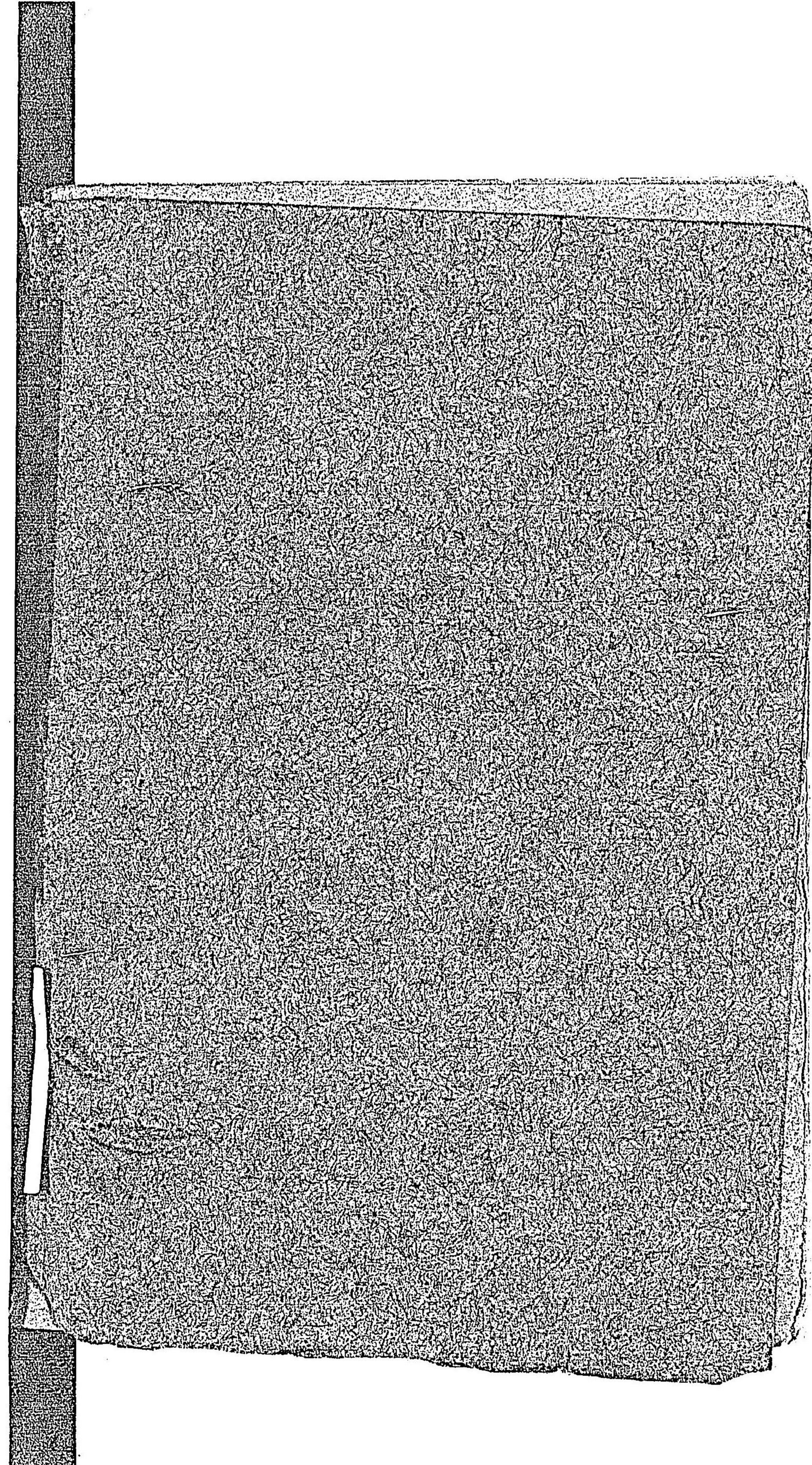
伊勢新聞社活版部

三重縣津市丸之内四番屋敷

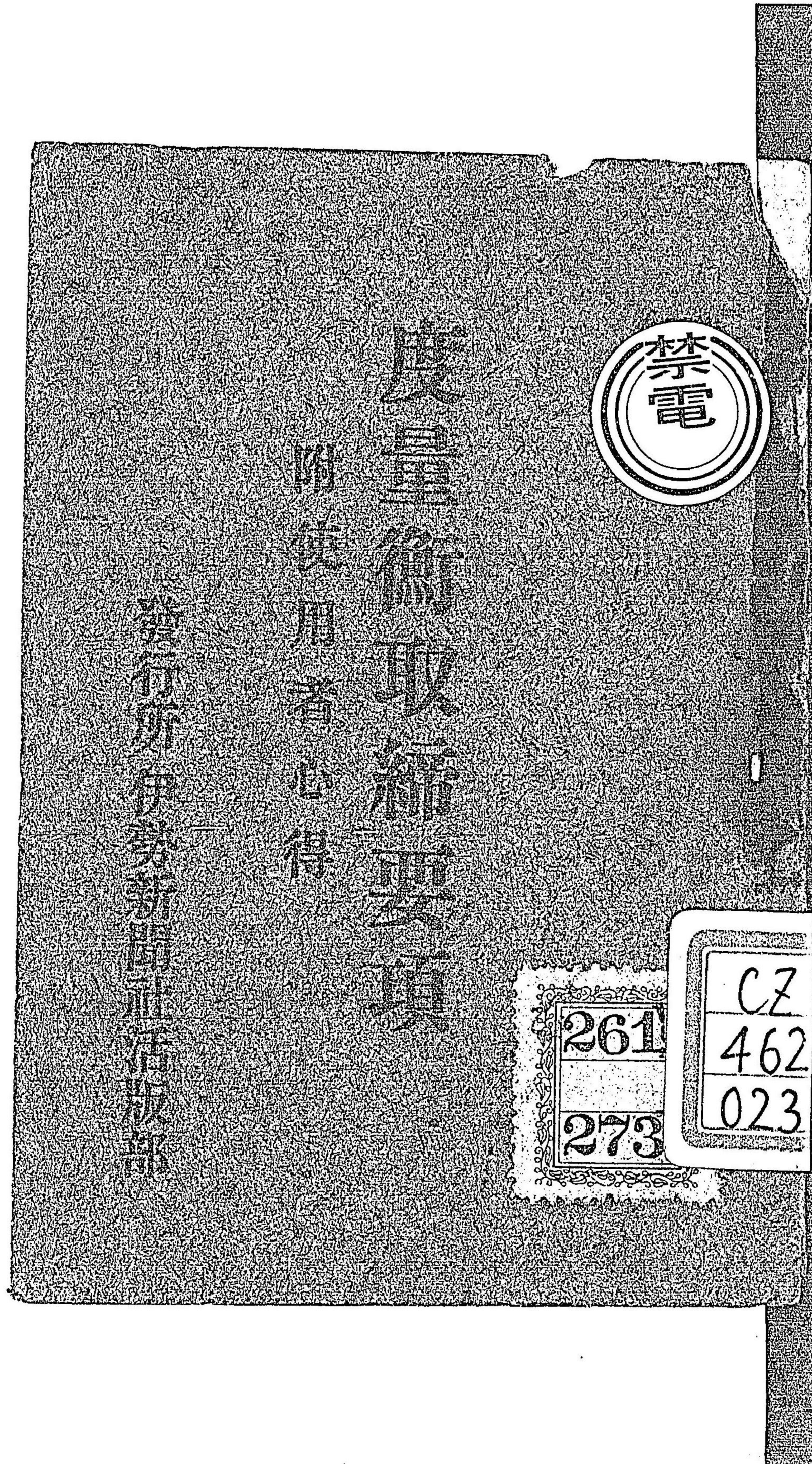
發行所

伊勢新聞社活版部

264  
278



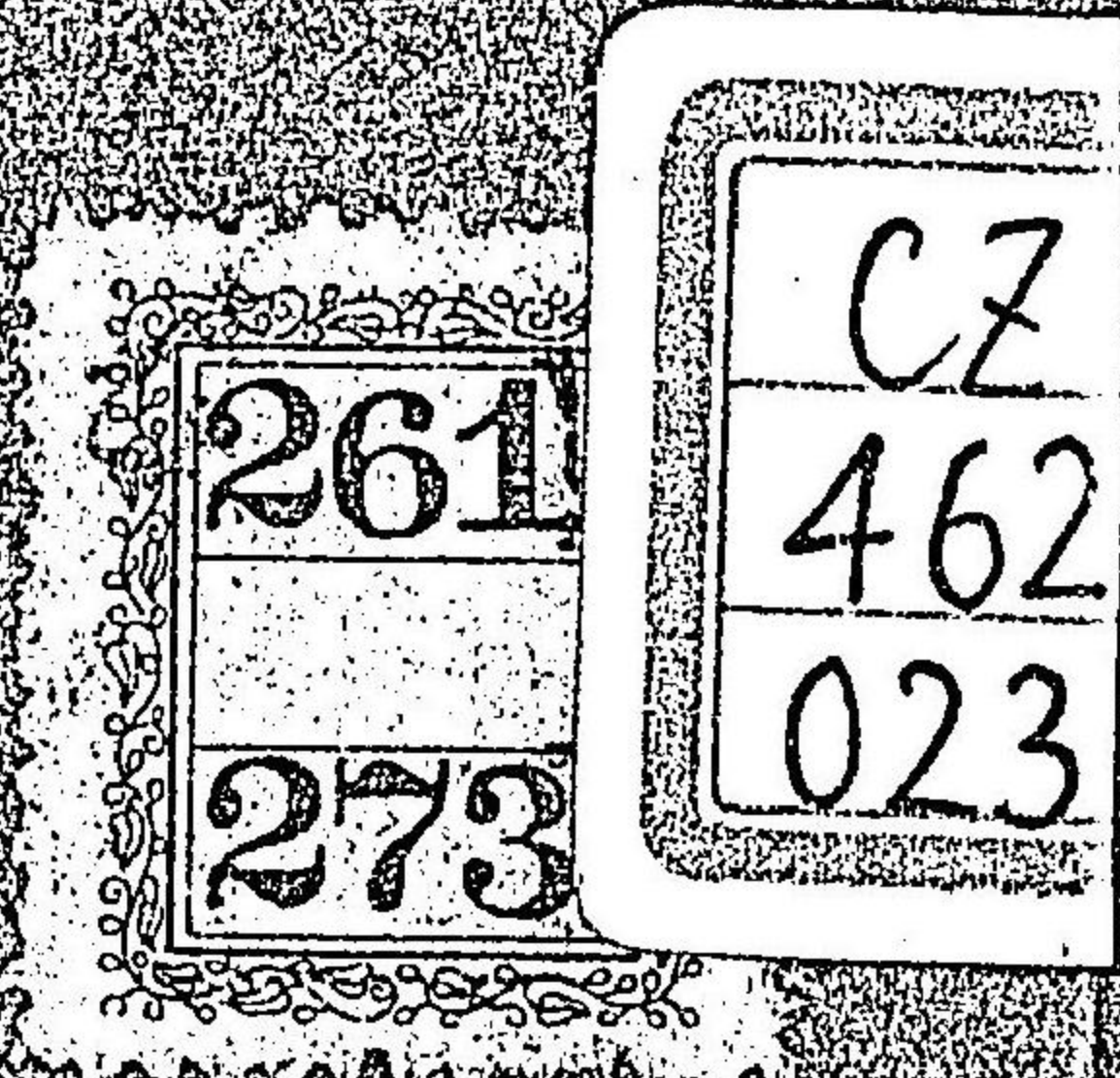




度量衡取締要項

附使用者心得

發行所 伊勢新聞社出版部



261  
273

037718-000-5

CZ-462-023

度量衡取締要項

伊勢新聞社

M43

BBU-0351

